

第二十三回 帝國議會 貴族院議事速記錄第十九號

明治四十年三月二十七日(水曜日)

午前十時六分開議

議事日程 第十九號 明治四十年三月二十七日

午前十時開議

第一 請願委員長報告

第二 明治三十八年度豫備金支出ノ件(議院提出衆)

第三 豫算外支出ノ件(議院提出衆)

第四 明治三十八年度特別會計豫備金支出ノ件(議院提出衆)

第五 算超過支出ノ件(議院提出衆)

第六 明治三十八年度清國事件第二豫備金支出ノ件(議院提出衆)

第七 明治三十八年度臨時事件豫備費支出ノ件(議院提出衆)

第八 明治三十八年度臨時事件豫備費外ニ於テ豫算外支出ノ件(議院提出衆)

第九 料法中改正法律案(議院提出衆)

第十 租稅其ノ他ノ收入徵收處分囑託ニ關スル法律案(議院提出衆)

第十一 國庫出納上一錢未滿ノ端數計算ニ關スル法律案(議院提出衆)

第十二 移民保護法中改正法律案(議院提出衆)

第十三 統監府及關東都督府等在勤官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案 第一讀會ノ續(委員長)

第十四 統監府、關東都督府及樺太等在勤巡査、看守及女監取締ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案(議院提出衆)

第十五 韓國ニ在勤スル居留民團立在外指定

第十六 學校職員ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案(議院提出衆)

第十七 災害地方田畠地租免除ニ關スル法律案(衆議院提出)

第十八 明治三十四年法律第二十七號中改正裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(衆議院提出)

第十九 治安警察法中改正法律案(衆議院提出)

第二十 明治三十四年法律第三十九號中改正法律案(衆議院提出)

第二十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第二十二 函館小樽兩港修築速成ニ關スル建議案(公爵二條基弘外一條名提)

第二十三 郡村宅地ヘ組換ノ請願

第二十四 鐵道敷設線路調査ニ關スル請願

第二十五 鐵道速成ニ關スル請願

第二十六 北海道石狩川治水ニ關スル請願

第二十七 區裁判所管轄區域變更ノ請願

第二十八 區裁判所出張所設置ノ請願

第二十九 區裁判所民事事務復舊並刑事事務開始ノ請願

第三十 揿斐川支流杭瀬、牧田兩川改修ノ請願

第三十一 渡良瀬川河身浚渫ノ請願

第三十二 庄内川改修ニ關スル請願

第三十三 重要物産同業組合法改正ノ請願

第三十四 登記所新設ノ請願

第三十五 韓國横貫鐵道速成ノ請願

第三十六 日露戰役ニ關スル個人損害救濟ノ請願

第三十七 小坂礦山被害地田畠宅地山林原野特別地價修正ノ請願

第三十八 益鳥保護ノ請願

第三十九 停車場設置ノ請願

第四十 電線架設ノ請願

第四十一 登記所新設ノ請願

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

〔宮田書記官朗讀〕

昨二十六日本院ニ於テ議決シタル左ノ豫算案ハ即日裁可ヲ奏請シ及可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

明治四十年度歲入歲出總豫算追加案(第二號)

明治四十年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第二號)

同日本院ニ於テ議決シタル政府提出裁判所、臺灣總督府法院、統監府法務院又ハ理事廳ト關東都督府法院トノ間ニ於ケル法律上ノ共助ニ關スル法律案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

同日本院ニ於テ議決シタル左ノ衆議院提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ及可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

關稅定率法輸入稅表中改正法律案

鑄業法中改正法律案

和歌山縣下郡界變更法律案

煙草專賣法中改正法律案

同日本院ニ於テ修正議決シタル政府提出臺灣ニ於ケル特別ノ輸入稅ニ關スル法律案ハ即日之ヲ衆議院ニ同付セリ

同日衆議院ヨリ本院ノ回付ニ係ル政府提出臺灣ニ於ケル特別ノ輸入稅ニ關スル法律案ハ本院ノ修正ニ同意シ奏上シタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

同日本院ニ於テ否決シタル左ノ衆議院提出案ハ本院ニ於テ第一讀會ヲ開カサルコトヲ議決セル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

北海道ニ市制ヲ施行スル法律案

北海道地方費法中改正法律案

同日本院ニ於テ採擇ヲ議決シタル左ノ各請願書ハ意見書ヲ付シ即日之ヲ政府ニ送付セリ

軍人恩給法ニ基キ扶助料下付ノ請願

島根縣那賀郡和田村郵便局設置ノ請願

占考者資格及監督ニ關スル請願

港灣調查ノ請願

地種組換ノ請願

在外國賣淫婦取締法制定ニ關スル請願

登錄稅法中一部改正ノ請願

漆樹栽培保護ニ關スル請願

畜牛汽車運賃引下ニ關スル請願

牛馬賣買營業者取締規則制定ニ關スル請願

軍人恩給法附則改正ノ請願

高等工業學校設置ニ關スル請願

青森港灣修築ニ關スル請願

同日議員公爵二條基弘君外一名ヨリ五十九名ノ賛成ヲ以テ函館小樽兩港修築速成ニ關スル建議案ヲ提出セリ

同日衆議院ヨリ同院提出明治三十四年法律第三十九號中改正法律案ヲ受領セリ

同日各特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 子爵松平 乘承君 副委員長 柴田 家門君  
裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案特別委員會

委員長 子爵持明院 基哲君 副委員長 子爵池田 証政君  
公共團體課稅ノ制限ニ關スル法律案特別委員會  
委員長 子爵曾我 祐準君 副委員長 男爵松平 正直君  
統監府及關東都督府等在勤官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案外二  
件特別委員會

委員長 伯爵島津 忠亮君 副委員長 男爵小畑 美稻君  
租稅其ノ他ノ收入徵收處分囑託ニ關スル法律案特別委員會  
委員長 子爵内田 正學君 副委員長 子爵山口 弘達君  
國庫出納上一錢未満ノ端數計算ニ關スル法律案特別委員會  
委員長 南郷 茂光君 副委員長 男爵相浦 紀道君  
移民保護法中改正法律案特別委員會

委員長 子爵三島 彌太郎君 副委員長 安廣伴一郎君  
裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案外一件特別委員會

委員長 侯爵大炊御門幾麿君 副委員長 子爵本多忠敬君  
明治三十八年度豫備金支出ノ件外六件承諾ヲ求ムルノ件特別委員會  
委員長 伯爵清 棲 家教君 副委員長 浅田 德則君

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス

〔子爵曾我祐準君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 曾我子爵ハ何デゴザイマス

○子爵曾我祐準君 公共團體課稅ノ制限ニ關スル法律案ノ委員會ヲ開キタ

ト思ヒマスカラ、退席ヲ請求イタシマス  
○議長(公爵德川家達君) 曾我子爵ノ特別委員會へ退席ノ御要求ハ許可シテ  
御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、宜シウゴザイマス

○子爵曾我祐準君 ドウゾ委員ノ御方ハ

〔渡正元君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 渡君ハ何デスカ

○渡正元君 是ヨリ渡良瀬川沿岸地方特別地價修正法律中改正法律案ノ委員會ヲ開キタイト思ヒマスガ、此際退席シテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵德川家達君) 渡君ノ御要求ハ許可シテ御異存ゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、宜シウゴザイマス

○渡正元君 然ラバ委員諸君ハ御退席ヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第一、請願委員長報告、三宅秀君  
〔三宅秀君演壇ニ登ル〕

○三宅秀君 今日ノ報告ハ此議會ノ最終ノ報告デゴザイマスルカラ、前後二段ニ別チマシテ報告ヲ致シタイト存ジマスル、先ヅ其前段ニ御報告申上ゲマスルノハ、三月十六日カラ二十五日マデノ十日間ニ、請願委員會ガ如何ナルコトヲ爲シタト云フコトノ御報告デ、是ハ前々カラ數回ニ切レ切レニ御報告

申上ゲマシタコトノ詰リ續キデゴザイマスル、後段ニ御報告申上ゲタイノハ此二十三回ノ議會ニ請願委員會ハ如何ナルコトヲ爲シタカト云フコトヲ統括イタシマシタ所ノ報告ヲ申上ゲタインデゴザイマス、先ヅ其前段ノ方ノ報告ヲ致シマス、此十日間ニ請願委員會ヲ開キマシタルコトハ二回、分科會ヲ開キマシタルコトハ四回デゴザリマス、此請願委員會ヲ開キマシタ數ト分科會ヲ開キマシタ數トヲ比較イタシテ見マスルト、イツモ分科會ノ方ハ數倍回數ガ多イノデアリマスルケレドモ、追々會期ガ切迫イタシマスカラ、ソレ故ニ請願委員會ヲ頻繁ニ開キマシタモノデゴザイマスカラ、其中間ニ於テ主查會ヲ開イテ居リマスル餘暇ガゴザイマセナシダ爲ニ、主查會ノ方ガ數ガ割合ニ少ウゴザイマシテ、請願委員ノ總會ノ方ガ割合ニ數ガ多イノデゴザイマス、ソレカラ請願文書表ヲ作リマシタルコトハ二回、此請願文書表ハ本院ノ規則百三十三條ニ依リマスルト、皆サン御承知ノ通リ文書表ヲ一回一回、一週ニ一回ヅツ出スコトニナシテ居リマスケレドモ、此文書表ノ出方ガ遲ウゴザイマスルト云フト、請願委員會ヲ開イテ行ク材料ガ出來マセヌノデゴザイマス、ソレ故ニアリマス、此文書表ガ出來マセヌケレバ、ナゼ請願委員會ヲ開クコトガ出來ヌカト云フコトハ皆サン御承知デゴザイマセウガ、本院規則百三十條ニゴザ

リマスル通り、其受付ケマシタ所ノ順序ニ依テ逐次審議シテ參ル筈ノ規定ガゴザリマスカラ、是非請願文書表ガ先キニ出來テ居リマセヌケレバ議事ヲ

進行シテ參ルコトガ出來マセヌカラ、已ムヲ得ズ繰上ゲテ前週ニハ二回文書表ヲ出シテ居ルノデゴザイマス、ソレカラ特別報告ハ三回、即チ第六號、七號八號ト出シマシタ、此八號ハ即チ本日ノ日程ニ上ボッテ居リマスノデゴザイマス、此十日間ニ受付クマシタ請願ノ件數ハ三十九件、通數ニ致シマシテ七十八通デゴザイマス、ソレカラ十日間ニ議シマシタル件數ノ中デ、採擇イタシマシタモノガ四十二件、不採擇ト決メマシタモノガ三十三件ゴザリマス、此度審査未了トナリマシタモノハ即チ此本會期ニ於テ審査未了ニ歸著イタシマシタコトデゴザリマスカラ此後段ノ方デ何ユエ審査未了ト云フモノガ三十三件モ溜ツテ居ルカト云フコトノ理由ヲ申上ゲテ置カウト存ジマス、ソレカラ文書表ハ二回出シマシタケレドモ、其後文書表ヲ作テ仕舞ヒマシテカラ後ニ追ニ後レテ受付ケマシタモノヤ何カガゴザイマスカラ、是ガ詰リ十二件ホド残ツテ居リマス、一一二件四十五通ト云フモノガ残ツテ居リマス、是ハ文書表ニ載セルコトガ出來マセヌカラ、詰リ審議ヲ遂ゲルコトガ出來マセヌノデゴザイマス、餘リ提出者ガ後レテ遲ク提出イタシマシタモノデスカラ、詰リ審議ヲ遂ゲルコトガ出來ヌヤウナ譯ニナツタノデアリマス、ソレガ前段ノ報告デ、是ヨリ後段ノ本會期ニ致シマシタル所ノ請願委員會ノ事蹟ヲ統括的ニ申上ゲマス、請願委員會ヲ開キマシタルコトガ都合十回、分科會ヲ開キマシタコトガ三十一回、文書表ヲ出シマシタル數ハ九回、特別報告ヲ出シマシタコトハ八號、請願ヲ受付ケマシタル所ノ請願ノ總數ガ二百六十六件、通數ニ致シマシテ四百六十通ゴザリマス、其中ニ請願文書表ニ載セマシタノガ二百五十四件ゴザリマス、此二百五十四件ニ付イテソレト、審議イタシマシテ、採否ノ決定ヲ致シマシタノデアリマス、採擇イタシマシタル件數ガ百十四件ゴザリマス、不採擇ニ付シマシタルモノガ百六件ゴザリマス、却下ガ一件ゴザイマス、審査未了ガ先刻報道イタシマシタ通リ二十二件ゴザイマス、此採擇不採擇ノ數ハ請願委員會ガ採擇スベシト決シマシタコト、不採擇ト決シマシタコトノ數ヲ掲グマシタノデゴザイマスカラ、今日ノ議場ヲ全ク終テ見マセヌケレバ、今日出テ居リマスル日程ノ中ニ採擇スベシト致シマシテ特別報告ニ載セマシタモノガ、轉シテ不採擇ノ方ヘ移ルカモ知レマセヌ、前會ニモサウ云フ例ガゴザイマシタカラ、ソレ故ニ採擇ガ變ジテ不採擇トナリマスルコトハ閉院ノ後ニナラナケレバ確タル數ハ申上ゲラレナイノデアリマス、唯ダ請願委員會デ採擇、若クハ不採擇ト決シマシタダケノ數ヲ申上ゲル

ノデアリマス、又採擇ト決シマシタル方ノ件數ハ悉ク特別報告ニ上ボッテ参リサウナモノデアリマスガ、ソレガ悉クハ上ボッテ参リマセヌ、其理由ハ請願委員會ノ方デ採擇スベシト決シマシテモ、其中ニ法律ガ出テ其法律ガ速ニ通過イマス、此モ致シテ仕舞ヒマス場合ニハ、請願者ノ素志ハ達シタ譯デゴザイマスカラ最早特別報告ヲシテ院議ニ付シテ、サウシテ政府ノ方ヘ回スト云フ必要ハ無クナツテ居リマス、其一例ヲ舉ゲテ見マスト、藥品營業並藥品取扱規則ノ如キデアリマシテ、此現行法ヲ改正シテ貫ヒタイト云フ請願ガ二三件モ出テ居リマスガ、何レモ其請願通り政府カラ改正案ヲ出サレテ、今日デハ兩院ヲ通過シテ居ルコトデアリマシテ、全ク請願者ノ素志ヲ貫イテ居ル譯デアリマスカラ、特別報告ニ出シマセヌ、ソレ故ニ採擇スベシト決シタモノノ中カラ特別報告ヘ載セタノハ餘ホド數ガ減ツテ居リマスカラ、左様御承知ヲ請ヒマス、ソレカラ此審査未了デゴザイマス、成ルベク請願委員ハ骨ヲ折ッテ悉ク方ヲ付ケテ仕舞ヒマスル積リテ、採擇不採擇ト云フヤウナ工合ニ右左ニ決著シテ仕舞ヒマスル積リテアリマシタガ、之ヲ審議シテ居リマスル中ニ法律ガ政府カラ提出ニナツタモノモゴザイマスルシ、又或ハ衆議院カラ提出ニナツタモノガゴザイマス、サウ云フ法律ガ此議場ヘ現ハレテ參リマシタ以上ハ、法律ノ審議中ハ請願委員會デハドウモ審議ノ致シ方ガゴザイマスルシ、又或ハ審議スルコトヲ控ヘテ居リマシタ、今日三十三件残ツテ居リマスル審査未了ノモノハ、大概法律ガ出テ居リマシテ法律審議中デアツタリナンド致シマシテガゴザイマス、サウ云フ法律案ガ出テ居リマシテ法律審議中デアツタリナンド致シマシテガゴザイマス、サウ云フ法律案ガ出テ、法律審議中デゴザイマスカラ暫ク控ヘテ居リマス中ニ、昨日本案ハ否決ニナツタノデアリマス、丁度函館ニ市制ヲ施イテ欲シイト云フ請願ガ出テ居リマス、ケレドモ其請願ヲ數ハ誠ニ僅カデ、僅カ一件シカゴザイマセヌカトモ存ジマスガ、昨日、本議場ニ於テ否決サレマシタ所ノ北海道ニ市制ヲ施行スル法律デアリマス、丁度スルニ當ツテ、丁度北海道ニ市制ヲ施行スル法律案ガ出テ、法律審議中デゴザイマスカラ暫ク控ヘテ居リマス中ニ、昨日本案ハ否決ニナツタノデアリマス、又去ル二十一日ニ否決ニナリマシタ郡制廢止ノ法案デアリマス、是モ請願ノ中ニ私ノ記憶シテ居リマス所デハ三件ハ確ニゴザイマス、或ハ郡制ヲ存シテ置イテ貫ヒタイ、或ハ郡制ヲ廢シテ貫ヒタイト云フヤウナ請願ガ三件ハス、又去ル二十一日ニ否決ニナリマシタ郡制廢止ノ法案デアリマス、是モ請願ノ中ニ私ノ記憶シテ居リマス所デハ三件ハ確ニゴザイマス、或ハ郡制ヲ存シテ置イテ貫ヒタイ、或ハ郡制ヲ廢シテ貫ヒタイト云フヤウナ請願ガ三件ハス、又去ル二十一日ニ否決ト云フコトニマリマシタ、控ヘテ居リマス中ニ、去ル二十一日ニ否決ト云フコトニマリマシタノデアリマス、ソレカラ今一つ控ヘテ居リマスルノハ、僅カバカリ

ノコトデアリマスルガ、裁判所管轄區域變更ノコトデ、此裁判所管轄區域變更ノコトモニ三件出テ居リマスルガ、何レモ皆衆議院カラ法律案トナツテ居リ

テ、昨今御討議中デ、タシカドノ部分が出マスルカ今日日程ニ上ボツテ居リ

マスル位ノ次第ゴザイマスルカラ、請願委員會ニ於テハ何トモ決著ノ仕様

ガゴザイマセヌデ、已ムヲ得ズ控ヘテ居リマス、其他マダ澤山出テ居リマス

ル請願デハ、災害地ノ田租ヲ免ゼラレタイト云フ請願、渡良瀬川沿岸ノ地價修

正ノ請願、並ニ家祿賞典祿ニ關係ノ請願、是ハ澤山…數件出テ居リマスル

ガ、何レモ皆法律御審議中ゴザイマスカラ、此決著ノ著キマスルマデハ請

願委員會ハ何トモ致スコトガ出來マセヌカラ、ソレ等ハ御預リニシテ控ヘテ居リマス、是等ノ爲ニ未了ノモノガ三十三件ノ多キニ達シテ居リマスルガ、

ソレ等ハ何レモ唯今申上ゲル通り法律審議中ト云フコトノ爲ニ控ヘテ居リマスルノデ、決シテ請願委員會ガナホザッテ未了ニナツテ居ルノデハアリマセヌカラ、左様御承知ヲ願ヒマス、ソレデ總テソレ等ヲ引残リマシテ、請願文書表ニ載セルコトガ出來ナイモノガ十二件ゴザイマス、全ク請願委員會ノ目ニ觸レテ居リマセヌモノハ僅カ十二件ゴザイマス、其他ハ皆請願委員會ノ議ヲ經テ審查イタシマシタ譯ゴザイマス、ドウカ皆サン左様御承知ヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 此際、諸君ニ御諮詢致シマスガ、議事日程ノ第二ヨリ第八マデハ同一委員ニ付託セラレマシタガ、特別委員長ノ報告モ同一デ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、議事日程第二、明治三十八年豫備金支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、政府提出、衆議院送付、會議、特別委員長報告…清棲伯爵

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

一明治三十八年度豫備金支出ノ件  
一明治三十八年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

一明治三十八年度特別會計豫備金支出ノ件  
一明治三十八年度豫備金支出ノ件

一明治三十八年度清國事件第二豫備金支出ノ件

一明治三十八年度臨時事件豫備費支出ノ件

一明治三十八年度臨時事件豫備費外ニ於テ豫算外支出ノ件  
右承諾スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年三月二十六日

右特別委員長

伯爵清棲家教

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵清棲家教君演壇ニ登ル〕

○伯爵清棲家教君 明治三十八年度豫備金支出ノ件外數件ノ特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ申上ゲマスルガ、此委員會ハ昨日數時間掛リマシテ、政府ヨリ委

シイ所ノ答辯ヲ得マシテゴザイマスルガ、ソレニ付キマシテハソレノ速記ガ附ケテゴザイマスルカラ、滿場ノ諸君ハ必ず御承知ノコトト存ジマスルデ、

其事柄ニ付イテハ私ヨリ申上ゲルコトヲ省カウト存ジマス、此明治三十八年度豫備金支出ノ如キ、其他ニ於キマシテハ、即チ明治三十七八年ノ戰役ノ爲ニ種々ナル事柄ガ起リマシタガ爲ニ、豫算内ニ於テ出來マセヌカラシテ、第一豫備金、第二豫備金ヨリ支出シテ仕事ヲシタト云フコトゴザイマス、又其次ノ明治三十八年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件、是モ矢張リ前同様ノ理由ニ於キマシテ、時局ノ爲ニ發生シタ事柄ニ付イテソレノ支出来シタト云フコトゴザイマス、其他ノ二件三件モ同ジクサウ云フコトニナシテ居リマス、要スルニ是等ノ如キハ總テ或ル事柄ノ爲ニ已ムヲ得ズ第一第二ノ豫備金ノ支出ヲシ、及ビ豫算外支出ヲシタト云フコトニナツテ居リマス、

是ハ總テ大部分ハ事變ニ際シテ事柄ガ發生シテ居ルノデアリマス、其他ハ或ハ天災ニ依リマシテ、或ハ風災トカ、或ハ震災トカ云フ爲ニ已ムヲ得ズ支出ヲシタト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ明治三十八年清國事件云々、是モ時局ノ關係ヨリ致シマシテ清國トノ關係上已ムヲ得ズ支出ヲシテ居ルアリマス、其次、即チ特別云々ト申シマスノハ矢張リ同ジコトゴザイマス、ソレカラ明治三十八年度臨時事件費、是ハ矢張リ明治三十七八年ノ事件ノ關係ト致シマシテ、或ハ種々ノ必要ナルモノヲ捨ヘルト云フコトノ爲ニ其時ニ臨ミマシテ臨時必要ノ場合ガ生ジマシタ爲ニ此等モ總テ支出ヲシテ居ルノデゴザイマス、或ハ又公債ヲ發行スルニ於キマシテノ費用モゴザイマス、或ハ外國ニ於テ公債ヲ募集スル所ノ關係ニ付キマシテ已ムヲ得ヌ支出モアル

ノデゴザイマス、故ニ委員會ニ於キマシテハ斯ノ如キ理由ノモノデアルカラシテ、之ヲ審議スルニ當ツテ、會期ノ切迫デハゴザイマスケレドモ、萬已ムヲ得ザル支出デアルト云フコトヲ認メマシテ、承諾ヲ與フベキモノト議了イタシタ次第ゴザイマス、尙ホ個人トシテ之ヲ議員ノ一個トシテ述ベマスルトキニハ、政府ハ斯ノ如キ事後承諾ヲ求メルトキニ數萬圓ノ金額デアル所ノ大問題デアル所ノ此事柄ヲ當年ノ二月ニ衆議院ニ提出シタサウデゴザイス、ナウシテ會期切迫ノ昨日ナリ今日ニ至リマシテ此大問題ヲ議スルト云フ

ノハ誠ニ遺憾ナ次第ゴザイマス、將來ハドウカ滿場ノ諸君ト共ニ政府ニ望ミマスガ、斯ノ如キ大問題ハ成ルベク早ク議會ニ提出サレムコトヲ私ハ望ムノデゴザイマス、此邊ハドウカ諸君ノ御同意ヲ願ヒタイ、尙ホ此問題ニ付キマシテ數字ニ互ルコトガ隨分ゴザイマス、ソレハ速記ニ留メテゴザイマスカラ皆サンハ御承知トハ存ジマスガ、若シモ數字ニ互ルコトニ付イテ御質問ノコトガアリマスレバ、私カラ申上ゲマシテ若シモ數字ニ間違ヒヲ生ジテハイケマセヌカラ、尙ホ數字ニ互ルコトニ付イテ御質問ガアレバ、政府委員ニ御質問アラムコトヲ望ミマス、此段ヲ御報告イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 尚ホ諸君ニ御諮詢致シマスガ、採決モ一括シテ御異存ハゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕  
○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイモノト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第三、明治三十八年度豫備金外ニ於テ豫算超過反豫算外支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、議事日程第四、明治三十八年度特別會計豫備金支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、議事日程第五、明治三十八年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、議事日程第六、明治三十八年度清國事件第二豫備金支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、議事日程第七、明治三十八年度臨時事件豫備費支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、議事日程第八、明治三十八年度臨時事件豫備費外ニ於テ豫算外支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、政府提出、衆議院送付、特別委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス  
○侯爵黒田長成君 唯今伺ヒ落シマシタカ存ジマセヌガ、第二モ矢張リ同一

ノ委員ニ付託セラレタ案カト思ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 第二ハ前ニ宣告ヲ致シタト心得テ居リマス

○侯爵黒田長成君 ア、サウデゴザイマスカ

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第九、市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年三月二十五日

右特別委員長

伯爵德川 達孝

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵德川達孝君演壇ニ登ル〕

○伯爵德川達孝君 市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案ノ特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報道イタシマス、本案ハ一昨二十五日ニ正副委員長ノ選舉ヲ行ヒマシタ、引續イテ會議ヲ開キマシタ、政府委員ヨリ詳細ノ説明ヲ承リマシタ、本案ハ小學校ノ教員ノ恩給退隱料ヲ是マデヨリハ進メマシテ待遇ヲ厚クスル所ノ爲ニ出來タ所ノ法案デゴザイマス、是マデヨリハ餘ホド其退隱料ガ増ス譯ニナリマシタ、ソレデ此別表ニモゴザイマスル通りニ前ノヨリハ大分増ス譯デゴザイマシテ、満十五年勤続シタ者ハ俸給金額ノ三分ノ一ト云フコトデアル、ソレハ違ヒマセヌガ、先キニ參ツテ四十年ノ所デハ殆ド前ノヨリハ倍額ニモナルト云フコトデゴザイマス、其他ニモ種々改正シタ點モゴザイマスルガ、詰リ目的トスル所ハ別表ニアル所ガ最ニ今回ノ改正ノ趣意ダサウデゴザイマス、委員會ニ於キマシテハ種々質問モゴザイマシタガ、本案ハ小學校ノ教員ヲ待遇スルニ於テ必要ナモノデアルト云フ所ヲ以チマシテ、全會一致ヲ以テ可決ニナッタ次第ゴザイマス、此段ヲ御報告ニ及ビマス

○辻新次君 唯今議題ニナッテ居リマス所ノ法案ハ條項モ少クシテ且ツ明瞭ナ案デアリマスカラシテ、別段ニ御異論モゴザイマセヌケレバ、讀會ヲ省略シテ議決ニナラムコトヲ望ミマス

○伯爵柳原義光君 讀會省略ニ賛成  
○田中芳男君 賛成  
○伯爵德川達孝君 賛成  
○侯爵池田詮政君 賛成  
○中島永元君 賛成  
○男爵野田裕通君 賛成  
○子爵板倉勝達君 賛成  
○子爵本多忠敬君 讀會省略ニ賛成  
○南鄉茂光君 賛成  
○子爵谷干城君 賛成  
○議長(公爵德川家達君) 辻新次君ノ讀會省略ノ動議ニハ定規ノ賛成者ガア  
ツタト認メマス、讀會省略ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案特別委員長報告通  
リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、是デ本案ハ確定イタシマ  
シタ  
○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案特別委員長報告通  
リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十、租稅其ノ他ノ收入徵收處分嘱託ニ  
關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告  
租稅其ノ他ノ收入徵收處分嘱託ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年三月二十六日

右特別委員長

子爵内田正學

明治四十年三月二十六日

右特別委員長

南郷茂光

貴族院議長公爵德川家達殿  
〔子爵内田正學君演壇ニ登ル〕

○子爵内田正學君 本案ノ特別委員會ノ結果並ニ經過ヲ御報道イタシマス、  
昨二十六日午前ニ正副委員長ノ選舉ヲ行ヒマシテ引續イテ委員會ヲ開キマシ  
タ、本案ノ理由ト致シマスル所ハ臺灣、韓國、關東州等ト内地トノ間ニ於キ

マシテ租稅其他ノ徵收處分ニ付キマシテ相互ノ官廳トノ間ニ之ガ囑託ヲ爲シ  
得ルノ規定ヲ設ケマシテ、徵稅ノ取扱ヲ簡便ニナサムトスルノ法案デゴザイ  
マス、委員會ニ於キマシテハ政府委員ヨリモ段々説明モゴザイマシタシ、又  
委員ノ方ヨリモ御質問モアリマシタ末、委員會ニ於キマシテハ全會一致ヲ以  
テ可決イタシマシタ、此段御報告イタシマス、本案ハ斯ノ如キ簡単ナル議案  
デアリマスカラ、讀會ヲ省略セラレテ可決確定アラムコトヲ希望イタシマ  
ス

○男爵西五辻文仲君 讀會省略賛成

○辻新次君 賛成

○男爵金子有卿君 賛成

○男爵山口弘達君 賛成

○男爵川口武定君 賛成

〔其他賛成ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 内田子爵ノ讀會省略ノ動議ニハ定規ノ賛成者ガア  
ツタト認メマス、讀會省略ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案特別委員長報告通  
リデ御異存ゴザイマセヌカ  
〔異議ナシ〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十一、國庫出納上一錢未滿ノ端數計算  
ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告  
國庫出納上一錢未滿ノ端數計算ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年三月二十六日

右特別委員長

貴族院議長公爵德川家達殿  
〔南郷茂光君演壇ニ登ル〕

○南郷茂光君 本案ノ委員會ノ結果ヲ御報道イタシマス、本案ノ趣意ハ説明書ニモアリマスル通り、國庫出納上一錢未満ノ端數ヲ切捨テテ計算スルコト

ハ整理ノタメ大ニ便宜デアルト云フ趣意ニ外ナラヌノデアリマスル、是マデトテモ法律勅令ヲ以テ此事ヲ規定シテハアリマスルガ、至ッテ其圍範ガ狹ウ

アリマスル、本案ハ此圍範ヲ擴メマシテ此第三條第四條ノ場合ヲ除クノ外ハ總テ一錢未満ノ端數ヲ切捨テルト云フ趣意デアリマスル、委員會ハ此事ハ便宜ナリトシテ全會一致ヲ以テ可決イタシマシテゴザイマス、此段御報告ヲ致シマス、但シ此案ハ至ッテ簡單ナ案デゴザイマスニ依ッテ讀會ノ順序ヲ省略イタシマシテ確定アラムコトヲ希望イタシマス

○男爵南岩倉具威君 讀會省略贊成

○岩村兼善君 贊成

○男爵川口武定君 贊成

○松本鼎君 贊成

○男爵中川興長君 贊成

○男爵金子有卿君 贊成

○田中芳男君 贊成

○男爵小野尊光君 贊成

〔其他「贊成」ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 南郷茂光君ノ讀會省略ノ動議ニハ定規ノ贊成者ガアツタト認メマス、讀會省略ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノニ以上ト認メマス、原案特別委員長報告通りデ御異存ゴザイマセスカ  
〔「異議ナシ」ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十二、移民保護法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告告

移民保護法中改正法律案  
右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年三月二十六日

右特別委員長  
子爵三島彌太郎

貴族院議長公爵德川家達殿  
〔子爵三島彌太郎君演壇ニ登ル〕

○子爵三島彌太郎君 移民保護法中改正法律案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告イタシマス、委員會ハ昨日正副委員長ノ選舉ヲ終リマシテ直チニ開會ヲ致シマシタ、ソレカラ質問ニ移リマシテ、政府委員ノ答辯ガ段々ゴザイマシタ、此大要ヲ申上ゲマスルト、此改正案ノ要點ハ二ツノ點デアルト云フコトデゴザイマス、一ハ移民取扱人ノ業務ヲ擴張スルト同時ニ是マデ移民ハ多ク一時的即チ出稼的ノ性質ヲ帶ビテ居ダタノヲ、之ヲ段々變ジテ定住的ノモノニシタイト云フノガ一ツデアリマス、モウ一ツハ取締ノ不備ヲ補ヒタイト云フニト、此二ツノ點ガ主眼デゴザイマス、是マデ移民取扱人タル所ノ會社ハ他ノ業務ヲ兼ネルコトハ出來ナカッタノデアリマス、然ルニ此法律ガ通過スルコトニナリマスレバ、是ヨリ農業デアルトカ、又工業デアルトカ、運送業デアルトカ云フヤウナ種類ノ業務ヲ營マレルコトニナリマスカラシテ、例ヘバ一ノ農場ヲ選定シテ移民ヲ送ルト云フヤウナコトモ出來ルヤウニナリマス、又一ノ島嶼ヲ借受ケテ其所ヘ漁民ヲ移スト云フコトモ出來ルヤウニナルノデゴザイマス、又取締ノ方ノ點ニナリマスルト、是マデハ移民ヲ運送スル所ノ船舶ニ向ッテハ制裁ガ出來ナカッタノデアリマス、ソレ故ニ運賃其他ニ付イテ種々不都合ナ點ガ有ツタノデアリマスガ、此度ハ五十人以上ノ移民ヲ運送スル所ノ内外ノ船舶ニ向ッテ制裁ヲ加ヘルコトニナリマスノデアリマス、ソレカラ又移民ニ對スル金貸業者、或ハ旅店主、或ハ移民ノ乗船ヲ周旋スル者ニ制裁ヲ加ヘルト云フコトニナルノデアリマス、衆議院ハ之ニ向ッテ一個ノ修正ヲ施シマシタノデアリマス、ソレハ此政府ノ原案ニ依リマスルト移民取扱人ノ兼スル業務ハ運送業、農業、漁業、鑛業ト云フヤウナ風ニ列記シテアリマシタノデアリマス、ソレヲ一括シテ業務ト致シマシタノデアリマス、其趣意ハ政府委員ニ尋ねマシタル所、斯ノ如ク列記シテ置クヨリハ寧ロ汎ク業務トシテ置イタ方ガ却ツテ宜カラウ、ト云フノハ或ル場合ニハ列記シテアル業務以外ノコトヲ許シテモ宜イト云フコトガアルカモ知レヌト云フコトデアリマス、ソレカラ又二十六條ノ三ノ末項ニ「前項ノ罰金ハ保證金ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得」トアツタノヲ削ツテ仕舞ヒマシタ、其趣意ハ斯ノ如キコトヲ書イ

テ置カズトモ、必要ノ場合ニハ當然保證金ヲ以テ罰金ニ充テルコトガ出來ル

故ニ、斯ウ云フコトヲ書クニ及バヌト云フノデ削ッタサウデアリマス、此法案ニ就キマシテハ段々質問モゴザイマシタケレドモ、結局採決スルニ至リマシテ、全會一致ヲ以テ可決イタシマシテゴザイマス、此段御報告申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
ス、本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○子爵三島彌太郎君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ請求イタシマス

〔「賛成」ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 三島子爵ノ直ニ第二讀會ヲ開クト云フ動議ニ御異存ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス、全部特別委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、是デ第二讀會ハ終リマンタ

○子爵三島彌太郎君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス  
〔「賛成」ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通りデ御異議ハゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

シタ

○議長(公爵徳川家達君) チヨット諸君ニ御諮リヲ致シマスガ、議事日程第十三ヨリ第十五マデハ同一委員ニ付託ニナリマシタカラ、報告モ束ネテ宜シ

カラウト存ジマスガ、御異存ハゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十三、統監府及關東都督府等在勤官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、議事日程第十四、統監府、關東都督府及樺太等在勤巡查、看守及女監取締ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、議事日程第十五、韓國ニ在勤スル居留民團立在外指定學校職員ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年三月二十六日

右特別委員長

伯爵島津忠亮

貴族院議長公爵徳川家達殿

統監府、關東都督府及樺太等在勤巡查、看守及女監取締ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年三月二十六日

右特別委員長

伯爵島津忠亮

貴族院議長公爵徳川家達殿

韓國ニ在勤スル居留民團立在外指定學校職員ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年二月二十六日

## 右特別委員長

伯爵島津忠亮

貴族院議長公爵德川家達殿  
〔伯爵島津忠亮君演壇ニ登ル〕

○伯爵島津忠亮君 御報告ヲ致シマス、唯今議題ニナツ居ル所ノ法律案外二件ハ一昨二十五日ニ委員ニ付託サレマシテ、昨日委員會ヲ開キマシテ正副委員長ノ互選ヲ致シテ續イテ調査ニ取掛リマシタ、政府委員ノ説明モアリマシテ、此案ハ極簡單且ツ明瞭ナ案デアリマシテ、別段議論モアリマセヌデ全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ、先づ此案ノ大體ノ趣意ト申シマスモノハ、韓國竝ニ關東州ニ於キマシテハ衛生保健ノ設備モ極不完全デアリマシテ、且ツ民族ノ有様ニ於キマシテキ未ダ開ケマセヌデ、斯様ナ土地ニ在勤イタシテ居ル官吏ニ於テハ特典ヲ與ヘテ然ルベキモノデアルト云フ趣意カラ致シテ、目今臺灣ニ行ハレテ居ル所ノ明治三十三年法律第七十五號第一條ノ規定ヲ用キマシテ、統監府竝ニ關東都督府ニ屬スル官吏ニ適用スルト云フ趣意デアルノデアリマス、別段ニ深イ趣意ガ有ルノデハアリマセヌ、併シ茲ニ少々疑ハシイ點ガアリマスニ付イテ政府委員ニ質問ヲ試ミマシタ、ソレハ外ノコトデモアリマセヌ、此本案ノ文デ見マスルト、臺灣ノハ判任以上トアリマスルガ、臺灣ニ用ヰル謂ハユル第七十五號デ見マスルト文官判任以上ト云フコトガアリマスカラ、或ハ統監府ノ下ニ居ル所ノ武官ガ漏レハシナカト云フ疑ガアリマスカラ、政府委員ニ尋ネテ見マシタガ、是ハ本文ニアル通り判任以上ト云ヘバ武官モ自ラ籠ヅテ居ルト云フコトデアリマシタ、ソレカラモウ一つハトノ權衡ガ合ハナイヤウダガ、是ハ如何ナモノデアルカト質問イタシマシタガ、是ハ尤モ今調査中デアルト云フコトデアリマス、大體斯ノ如キモノデアリマシテ、別段申上ゲルマデモアリマセヌガ、此附則ニアリマスル統監府ニ付イテハ三十九年二月以後、關東都督府及其所屬官署ニ在勤スル者ニ關シテハ三十九年九月以降ト云フコトガアリマスルノハ、是ハ兩官廳ノ開廳ノ時日ニ差ガアル故ニ斯様ニ致シタノデアリマシテ、詰リ既往ニ遡リ利益ヲ與フルハ兩官廳ノ時日ヲ標準トスルガ穩當デアラウト云フコトカラ斯様ニ致シタト云フコトデゴザイマス、他ニハ別段申上ゲルコトハゴザイマセヌ、是ハ簡単

ナ案デゴザイマスカラ、讀會ヲ省略ニナツテ可決ニナラムコトヲ希望イタシマス、又外二案モ矢張リ同趣意デゴザイマスカラ、ドウカ三案トモ同様ニ：

○黒岡帶刀君 讀會省略 ニ賛成

○子爵板倉勝達君 賛成

○伯爵廣澤金次郎君 賛成

○子爵本莊壽巨君 賛成

○子爵本多忠敬君 賛成

○男爵西五辻文仲君 賛成

○男爵佐野延勝君 賛成

○磯邊包義君 賛成

〔其他「賛成」ト呼ブ者多シ〕

○議長（公爵德川家達君）諸君ニ御諮リヲ致シマスガ、報告モ三案トモ同時デゴザイマシタカラ、採決モ同時デ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長（公爵德川家達君）御異議ナイト認メマス、島津伯爵ノ讀會省略ノ議ニハ定規ノ賛成者ガアッタト認メマス、島津伯爵ノ動議ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長（公爵德川家達君）三分ノ二以上ト認メマス、三案トモ特別委員長ノ報告通リテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長（公爵德川家達君）御異議ナイト認メマス、三案トモ確定ニナリマシタ

タ

○子爵曾我祐準君 賛成

○子爵本莊壽巨君 賛成

○辻新次君 賛成

「其他「賛成」ト呼ブ者多シ」

○議長(公爵徳川家達君) 曾我子爵ノ議事日程變更ノ動議ニハ御異存ハゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、故ニ議事日程ハ變更セラレマシタ

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ公共團體課稅ノ制限ニ關スル法律案、第一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長報告

公共團體課稅ノ制限ニ關スル法律案

右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

明治四十年三月二十七日

右特別委員長

子爵曾我祐準

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔小字ハ修正〕

北海道、府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ハ特別ノ必要アル場合ニ限リ内務、大藏兩大臣ノ許可ヲ受ケ非常特別稅法第二十二條第一項及第二項ノ制限ヲ超過シテ課稅スルコトヲ得但シ其ノ制限ノ二分ノ一ヲ超過スルコトヲ得ス

附 則

本法ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔子爵曾我祐準君演壇ニ登ル〕

○子爵曾我祐準君 公共團體課稅ノ制限ニ關スル法律案、本議案ハ昨日並ニ今日、兩度委員會ヲ開キマシタ、本案ノ性質ハ御承知デモアリマセウガ、戰時ニ出來マシタ所ノ、即チ非常特別稅法中ノ第二十二條ニ附加稅ノ制限ガアリマス、是ハ戰時種々ナモノヨリ非常特別稅トシテ隨分重キ稅ヲ取立テルコトニナリマシタニ依テ、地方ニ使フ所ノ附加稅等ヲ大ニ制限ヲシテ民力ヲ一方ニ休養シテサウシテ重モニ國家ノ大事件タル戰時ノ方ニ使フト云フ精神デ出來タト云フコトハ今更申スマデモナク諸君ノ御承知ノ通リデアリマス、然ルニ非常特別稅ナルモノハ戰爭ノ後ハ直ニ止メルト云フ約束デアッタノガ、

戰後ノ經營ハ戰爭ノ當時ヨリモ尙更ムヅカシイ、誠ニ困難デアルト云フコトヲ以テ非常特別稅ガ、名コソ非常特別稅デアルガ、平常ノ普通稅ト性質ヲ變ヘマシタヤウナ次第デアリマス、是モ御承知デアリマスガ、而シテ其ニ二十二條ニ制限ヲ置カレタノハ尙ホ依然トシテ無論存シテ居リマスニ依テ、戰爭後段々地方ニ於ケル教育、衛生、土木、勸業等、種々ナコトニ金ヲ使ヒタイケレドモ出所ガ無イ、即チ制限ガアッテ出所ガ無イ、斯ノ如キ有様デアリマスニ依テ、茲ニ政府ハ本案ヲ提出シマシテ此制限ヲ解キタイト云フモカト云フコトヲ承テ見マスト、地方課稅ノ中デ國稅附加稅ノ總額ト云フモノガ、三十六年度ニハ、即チ制限ノ無イ以前ハ四千九百二萬、斯ク多クアッタノガ、三十七年度ニハ三千五百六十三萬、此差ト云フモノガ千三百三十九萬圓、即チ此制限ノ爲ニ千三百三十九萬圓ハ附加稅ガ取ラレナカッタ云フ結果ニナリマス、又地方課稅ノ中、戸數割及其附加稅、即チ戸數割、是ハ三十六年度即チ制限ノ無イトキニハ三千七百五十萬圓デアッタノガ、三十七年度ハ此制限ノ爲ニ三千百四十五萬圓ヲ徵收シタ、此差ハ即チ六百零五萬圓デアル、斯ウ云フヤウナ譯ナンデアリマス、併シ其三十六年度ノ皆ノ高ハドレ位デアッタカト云フト、一億七百五十一萬圓、三十七年度ハ八千五百九十二萬圓、即チ二千五百九十九萬圓ト云フ差ニナリマス、兩方合セマスト、二・ソレハ一億イクラト云フ中ニ付イテ二千五百萬圓ノ差ニナル、斯ウ云フ事實ダサウデゴザイマス、昨日ハ質問ニ終リマシテ今日ハ先刻此所デ請求シマシテ、委員會ヲ開キマシタ、昨日ハ政府委員バカリデアリマシタガ、今日ハ文部大臣大藏大臣モ出席ニナリマシテ、文部大臣ハ此事ニ付イテ説明ヲナレマシタ、戰後ノ經營トシテ地方ハ非常ニ教育ノコトニ熱心ニナッテ居ル、然ルニ今日ノ如クココニ制限ガアッテハ學校ノ教員ノ給料ニシテモ、校舍寄宿舎等ノ建築ノ如キニシテモ、マダ十分力ガアルト信ズル所デモ此制限ノ爲ニ徵收ガ出來ヌニ依テ不本意千萬デ居ル譯デアル、ドウカ是ハ地方ノ富力モ可ナリアルト認ムル所モアルカラ、此制限サヘ解イテ貰へバ人民ノ望ミニ適フ所ノ校舍ナリ教員ノ給料ナリ増スト云フ點ニ於テ教育上大ニ便利ヲ得テ、又人民ノ希望デアラウト信ズルト云フヤウナ親切ナ御詔モゴザイマシテ、大概質問モ盡キマシタニ依テ討論ニ移リマシタガ、是ニ反対ノ論旨モ出マシ

タ、又修正ガ出マシタ、修正ヲ先キニ申上ゲマスト、諸君ノ御手許ヘ 參ッテ居リマセヌカラ此修正ヲ申上ゲマス、一番先キニ「但シ其ノ制限ノ二分

ノ一ヲ超過スルコトヲ得ス」斯ウ云フ修正ガ出マシタ、反対ノ方カラ申シマスト、反対論者ハ曰ク、是ハ非常特別稅ト云フモノハ勿論、名ノ如ク非常ナ時ニ出來タノデアル、ソレヲ普通ノ稅ニ引直シタサヘモ甚ダ其意ヲ得ナイ次第ニ思フノニ、是ハ又尙ホ此制限マデモ解クト云フコトニ至ツテハ、實ニソレハ

餘ホド不都合ナ次第デアル、又政府ハ稅法改正ト云フコトヲ一年ノ後ニヤル、云フ話デアルカラ、ソレマデ此儘制限ヲ解カズニ置イテモ間ヘナイ筈デアル、此單簡ナル理由ヲ以テ絶對ニ之ニ反対スル、何モ一年クラヰ之ヲ延バシタカラトテ間ヘナイコトデアル、又稅法改正調査ト云フコトモ一年ノ後ハ出來上ガルト云フコトデアリマスカラ、ソレマデ待ツノニ何モ間ヘナイ、斯

ウ云フ論デ、否決論デアリマス、修正案ノ論ハ、成ルホド反対者ノ言ハル通リ非常特別稅ノ性質モ遺シテ置キタイ、制限ヲ解カナイコトモ甚ダ同意シタイガ、併シ實際ニ於テハドウモ文部大臣ノ說ナリ、又昨日來ノ内務省ノ說ヲ聽クト、制限ヲ解イテモ別ニ民力ニ障ラナイヤウニ思フ、併シ之ヲ無制限ニ解イテハドウモ甚ダ心配デアルカラ、制限ヲ付ケタラ宜カラウ、少シ話ガ前後シマスガ、一體此案ヲ出サレタ精神トシテ、ドレ位マデ政府ハ課ケル考デアルカト言ヒマシタラバ、即チ五割、今マデ五十錢ノモノナラバ、七十五錢、今マデ三十錢ノモノナラバ、十五錢加ヘテ四十五錢トスル、五十錢ヲ七十五錢ニ、三十錢ヲ四十五錢ニスルト云フ話デアリマシタ、ソレヨリ多

クハ取ラヌ積リデアルト云フ話モアリマシタ、修正案ハソレヲ明文ニ掲ゲテ「二分ノ一ヲ超過スルコトヲ得ス」斯ノ如ク明文ニ掲ゲタイ、斯クスレバ一ハ文部ナリ内務ナリ、即チ地方ノ教育ナリ、若クハ衛生ナリ、土木ナリ、勸業ナリ、人民ノ希望ニ副ウテ出來タコトモ其事業ヲ進メテ行クコトガ出來ル、又ソレト同時ニ、ソレヲ濫用シテ過大ノ附加稅ヲ課ケルト云フコトハナイ、旁以テ是ハ一番都合ガ好カラウ、斯ウ云フ趣意デ修正案ガ提出ニナリマシタ、決ヲ採リマシタトキニハ修正案ヲ可トスル者ガ四人、修正案ヲ可トシナイ否決者ガ二人、斯ウ云フ譯ニナリマシタ、此段御報告申上ゲマス、御質問ガアレバ私ガ知リ得テ居ルダケハ御答イタシマス

○西村亮吉君 此三十六年ノ課稅ト云フモノハ制限ヲドレホド超過スルト云フコトハ御調ベニナリマシタカ、尙又地方ハ今日ハ餘ホド富裕ニナッテ居ル

ト云フ政府ノ御考デゴザイマスルカ、其邊ヲ：

○子爵曾我祐準君 第一ノハ何デゴザイマスカ

○西村亮吉君 第一ハ三十六年ノ制限デアリマス、其地方デ課稅ヲシテ居ルモノガ制限ノ上ニ何ホド課稅ヲシテ居ルカト云フコトハ御調ベニナリマシタノデアラウカ、次ハ政府ハ地方人民ガ今日富裕デアルト云フ御考デ、斯ウ云フモノヲ御出シニナツタカ、ソレダケ承リタイ

○子爵曾我祐準君 第一ニ就イテ委員會デハ調査イタシマセヌ、第二ノコトニ就キマシテモ調査ハ致シマセヌケレドモガ、地方デハ決シテソレハ嫌ヤガラナイ、寧ロ好ンデ學校ナリ何ナリ其事業ノ舉ガルコトヲ好ム、是クラヰノ增稅、附加稅ガ増シテモ苦シマスト云フ意味ノ御答ハアリマシタケレドモ、アナタノ仰シヤルヤウナ、ハツキリシタコトハ二箇條トモ 委員會デハ質問イタシマセヌ

○西村亮吉君 ソレデハ政府ヘ質問ヲ致シマス、全體此地方ノ課稅ノ外ニ夥シク課稅ヲシテ居ル、制限ノ何倍ホド餘計課稅ニナツテ居リマスカ、三十六年、サウシテ三十五年ノ課稅、又三十七年ハ表面デ見レバ、エライ減ジタヤウニ見エマスルケレドモ、平生ノ土臺ガ制限ノ上ニ夥シク課稅ヲシテ居リマス、地方デ是ハヤラヌナラヌト云ウテ出テ來レバ 内務省大藏省ガ止メヌト云フヤウナコトデ殆ド制限ノ倍クラヰモ取ツタモノガアルヤウデゴザイマスガ、其邊ハ：

#### 〔政府委員吉原三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(吉原三郎君) 唯今ノ御質問ニ御答イタシマスルガ、明治三十六年度ニ於キマシテハ平均額ガ四十六錢三厘ト云フコトニナツテ居リマス、而シテ其各府縣ノ中デ平均ハ四十六錢三厘デゴザイマスルガ、縣ニ依リマシテ非常ニ多イ所ト少イ所トガゴザイマスル、是ハ或ハ此事業ノ興ツタ所ト興ラヌ所ト云フ工合モゴザイマセウガ、又一ツニハ地租ノ澤山アリマス所ト、ソレカラ地租ノ廉クシテ地租額ノ少イ爲ニ自然タントノ稅ヲ課サナケレバイケナイト云フ所モゴザイマスルノデ、一番少イノヲ申上ゲマスルト、二十一錢ト云フノガアリマスルシ、ソレカラ即チソレハ鹿兒島デ、一番多ク取ツテ居リマシタノガ七十五錢九厘ト云フノガ一番澤山取ツテ居リマシタノデアリマス、ソレデ平均ガ四十六錢三厘、斯ウ云フコトニナリマス、ソレカラ府縣ノ方デ申シマスルト：唯今申上ゲマシタノハ町村ノデゴザイマス、府縣ノ

デ申上ゲマスルト云フト、平均ガ六十九錢六厘、斯ウ云フコトニナツテ居リマシテ、最モ多ク取ッテ居リマシタノガ三十八錢六厘デゴザイマス、ソレカラ最モ少ク取ッテ居リマシタノガ三十八錢六厘ト一圓一錢トスウ云フノ差ガアリマスルガ、平均イタシマシタ所デ六十九錢六厘ト、斯ウ云フコトニナツテ居リマス

○西村亮吉君 尚ホ御尋ネシマスルガ、此制限ヲ御解キニナリマスルト彼ノ非常特別稅ヲ徵收サレルモノハ國稅ニ課ケル譯デゴザイマスカ、是ヘ制限外ヲ課ケルト、ドレホドマデ課ケマスル御考デアリマスルカ、チヨットソレヲ御尋不致シマス

〔政府委員吉原三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(吉原三郎君)、御答イタシマスル、其增稅ノ分ニハ是ハ課稅イタシヤセヌノデアリマス、御分リニナリマシタカ

○藤田四郎君 御尋ネヲ致シマスルガ、先日衆議院提出ノ案ニ付キマシテ、大藏大臣ハ租稅ニ關スル案ニ付キマシテハ本議會ニハ提出セヌト云フコトノ御説明デゴザイマシタ、是ハ地方稅以下ノコトデゴザイマシテ國稅デハゴザイマセヌガ均シク非常特別稅ガ課カッテ居ル、且ツ稅制調査ノ結果ニ依リマシテ國民ノ負擔力、國家ニ對シ、地方ニ對シ公共團體ニ對シテドレダケ果シテ負擔シ得ベキヤ否ヤト云フコトヲ能ク調査シテ、而シテ後ニ國稅ハ斯ウ云フヤウニナリ、地方稅ハ斯ウ云フヤウニナルト云フコトガ決マルモノデアラウト思ヒマス、然ルニ茲ニ此會期ノ今日迫テ居リマス、兩三日前ニ、何千萬圓ト云フ負擔ヲ生ズルモノヲ出サレルト云フコトハ甚ダ遺憾ニ思ヒマスル次第デゴザイマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ政府ニ於キマシテハ、ドウ云フ御考デアリマスルカ、一應承ッテ更ニ又御尋ネ致シマス

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君) 此法律案ハ詰リ地方ニ於キマシテ餘リ唯今制限ガ窮屈ニナツテ居リマシテ、僅カノコトノ爲ニ或ハ公債ヲ起サナケレバナラヌトガ云フヤウナ此制限アルガ爲ニ却ツテ不利益ノ財政ノ方策ヲ市町村若クハ府縣デ以テ取りマスルヤウナ譯デアリマス、ソレデ此制限ヲ弛メマスレバ、チヨットシタ超過ヲ許シタガ爲ニ其不利益ナル借金公債トカ云フコトヲ避ケテ極地方ノ爲ニ利益アル計算モ取レルト云フヤウナコトデゴザリマスル

シタイト云フ考デゴザイマス、是ハ即チ此國稅ノ中ニハ這入ッテ居ラヌコトデゴザリマスルデ、此戰時中既ニ三年モ全ク緊縮シテアリマシタコトデアリマスルカラ、此際多少ノ弛ミヲ付ケマスルト云フコトハ地方ノ行政ヲ發達セシムル上ニ付イテ必要デアラウト云フ考カラ此法案ヲ提出イタシマシタ、而シテ此法案ガ可決イタシマシテモ何千萬ト云フコトハ決シテゴザリマセヌ、現今ノ制限ヲ政府デハドコマデモ標準ト致シテ居リマス、萬已ムヲ得ザル場合ノ外、此超過ハ認メマセヌ

○藤田四郎君 大藏大臣ガ衆議院ニ於テ御説明ニナリマシタ所ニ依リマスルト云フト、五割ト云フコトデゴザリマスカラ、假ニ四千萬圓トシマスレバ、モウ一ツ御尋ネシタウゴザリマス、今日地方ノ稅制ト云フモノハ非常ニ紊レテ居ルト私ハ考ヘテ居リマス、本員ナドガ親シク目擊イタシテ居ル所ニ依リマスルト、内務大臣ノ認可ヲ得テ地方ノ町村等ガ賦課イタシテ居リマスル所ノモノガ屢々違法デアリマシテ、毎年行政裁判所ヘ訴ヘマシテ毎年人民ノ方ガ勝チマスガ、尙ホ大藏、内務省ノ認可ヲ得テ其町村ニ課稅ヲスルト云フコトガ屢々アルコトデゴザイマス、之ニ付キマシテ訴訟ヲ致シマス者ハ一度納メマシタモノハ一年カ一年半ノ後ニハ返リマスルガ、他ノ訴訟ヲ致サヌ所ノモノハ皆コレハ済フ呑ンデ拂ツテ居ルト云フ譯ニナリマス、是等ノ租稅、地方法ノ租稅ノ調査モ極必要ナコトト思ヒマス、即チ俗ニ孫稅ト云フ名前ヲ以テ屢々課稅ヲ致シテ居リマス、是ハ政府ニ於キマシテモ御調ペノアルコトト思ヒマス、斯ウ云フ制限ヲ更ニ茲デ解クト云フヤウナコトデアリマスレバ、是等ノコトモ共ニ能ク調ベテ相伴ツテ行カナケレバナラヌコトト考ヘマスガ、是等ニ付キマシテハ政府ハドウ云フ御考デゴザイマスカ

〔政府委員吉原三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(吉原三郎君) 唯今御尋ネノ行政裁判所ニ於テ判決ノアリマスルモノハ之ニ從フヤウナコトニ訓令ヲ致シテゴザイマスル

○藤田四郎君 ソレハ何年デゴザイマス

〔政府委員吉原三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(吉原三郎君) 唯今ノ御尋ネハ何年ニ訓令ヲ致シタカト云フ……

○藤田四郎君 ハイ

○政府委員(吉原三郎君) 唯今チヨット年ヲ覺エテ居リマセヌガ直キ調ベテ

申上ダマス

○男爵船越衛君 本案ニ付イテハ先刻、委員長カラ委員會ノ經過ヲ委シク述ベランマシタガ、本員ハ此法案ニハ贊成ヲ致サヌ、又委員會ノ多數ノ御方ガ容レルト云フ方ニモ贊成ハ致シマセヌ、其理由ハ先刻委員長ノ述ベラマシタ通り、軍事ニ付イテ非常特別稅ヲ五分五厘モソレニエ地方デハ元ノ二分五厘ノトキノ制限ヲ弛メル、所ガ此非常特別稅ト云フモノハ戰爭ト云フモノハ熄ンダガ矢張リ非常特別、非常ト云フ字ガ加ハッテ居ル、是モ其當ヲ得ヌ、併シ大藏省ニ於テハ稅法ノ調査モアルコトデアル、是等ノ終結ノ上、非常特別稅モ廢止ニナルシ、又至當ノ稅法ニ改正ニナラウ、然ルニ此地方稅ハ特別稅トハ關聯シテ居ル、關聯シテ居ルト見レバ折角稅法ノ調査會ヲ開イテ

今年一バイデ終結ニナル以上ハ、其上ニ此制限ヲ解キ又付ケルナラ付ケテ然

ルベシト思フ、併シ地方ノ事情ヲ聞イテ見ルト隨分、縣ニ依テハ此制限ガアルガ爲ニ事ヲスルコトガ出來ナイ、殊ニ文部省ニ於テハ小學生徒ノ就學年限モ増サレテ六年、就イテハ別シテ費用モ要ルデ已ムヲ得ヌ所ガアルデアラ

ウ、アルデアラウガ、必ズ其來年カラ直グ悉ク就學シナクテモ就學ノ出來ル所ハ、サウシラ勿論然ルベシト思フ、ドウモ費用ガ堪ヘヌ爲ニ出來得ヌト

云フ所ハ宜シキヲ計ツテ一年ヤ一年半後レタ所ガ晚シトセヌト思フ、私ハ教育ノ六年ノ二年間増シタニ付イテハ大ニ贊同スルコトデハアルガ、是ハ永遠

ノ事デアルカラ、ドウカ其調査ガ濟ンダ上ニ是等ノ事モシタラ宜カラウト思

フ、ソレユエ是ハ先づ稅法ノ調査ト共ニ尙ホ能ク調ベラレテ一度ニ方法ガ付カムコトヲ私ハ希望スル、ドウカ是ハ廢案ニナツテ十分、内務大藏ノ調査ノアラムコトヲ希望イタシマス

○伯爵廣澤金次郎君 最早採決ニナリマセウガ、其前ニ特別委員長ニ伺ッテノ事デアルカラ、ドウカ其調査ガ濟ンダ上ニ是等ノ事モシタラ宜カラウト思

フ、ソレユエ是ハ先づ稅法ノ調査ト共ニ尙ホ能ク調ベラレテ一度ニ方法ガ付

カムコトヲ私ハ希望スル、ドウカ是ハ廢案ニナツテ十分、内務大藏ノ調査ノアラムコトヲ希望イタシマス

○子爵曾我祐準君 廣澤伯爵ノ御要求ニ應シマシテ修正ノ文字ヲ讀ミマス「但シ其ノ制限ノ二分ノ一ヲ超過スルコトヲ得ス」斯ウ云フ文字ガ本文ノ一  
番、尻ニ這入リマス、序デニ一言申シテ置キマスガ、此修正ニハ無論政府ハ  
同意ヲ表サレマシタ  
○議長(公爵德川家達君) 採決ヲ致シマス、本案ヲ第二讀會ニ移スベシトス  
ル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵德川家達君) 少數ト認メマス、本案ハ否決セラレマシタ  
事日程ノ第二十、明治三十四年法律第三十九號中改正法律案ハ衆議院ヨリ送付ニ相成リマシテ本日委員ニ付託セネバナラヌ案デアリマス、此際、議事日程ヲ變更シテ其議事ヲ致シテハ如何デアリマスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、故ニ議事日程ハ變更セラレマシタ

○議長(公爵德川家達君) 明治三十四年法律第三十九號中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

明治三十四年法律第三十九號中改正法律案  
右本院提出案及送付候也

明治四十年三月二十六日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 杉田 定一

明治三十四年法律第三十九號中左ノ通改正ス

第二條ノ二 永代借地權ノ競賣ニ付テハ本法ニ別段ノ定メアルモノヲ除クノ外民事訴訟法及競賣法中不動產ノ競賣ニ關スル規定ヲ準用ス

第二條ノ三 競賣ノ申立書ニハ永代借地券ヲ添附スヘシ申立人地券ヲ提出置キタインハ、委員會テ修正ニナリマシテゴザイマスガ、委員會ノ修正文ヲ今一應御朗讀ヲ願ヒタウゴザイマス

第二條ノ四 裁判所ハ競賣開始ノ決定ヲ爲スト同時ニ職權ヲ以テ競賣ノ申立アリタルコトヲ地方廳ニ通知スヘシ  
地方廳ニ於テ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ競賣手續中地券ニ移轉ノ記載スルコト能ハサルトキハ地方廳ノ認證アル地券ノ謄本ヲ添附スヘシ  
第二條ノ五 競落ヲ許ス決定カ確定シタルトキハ裁判所ハ其ノ決定ノ謄本ヲ添へ競落入カ取得シタル永代借地權ノ移轉ノ記載ヲ地方廳ニ囑託スヘシ

第二條ノ五 競落ヲ許ス決定カ確定シタルトキハ裁判所ハ其ノ決定ノ謄本ヲ添へ競落入カ取得シタル永代借地權ノ移轉ノ記載ヲ地方廳ニ囑託スヘシ

前項ノ場合ニ於テ申立人ヨリ提出シタル地券アルトキハ囑託書ニ之ヲ添附スヘシ

第二條ノ六 地方廳ニ於テ前條ノ囑託ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク地券ニ永代借地權ノ移轉ノ記載ヲ爲シ之ヲ裁判所ニ返還スヘシ

第二條ノ七 地方廳カ第二條ノ五ノ囑託ヲ受ケタル場合ニ於テ囑託書ニ地方券ノ添附ナキトキハ地券名義人ニ對シ地券ノ提出ヲ命スヘシ

地券名義人カ地券ヲ提出シタルトキハ遲滞ナク其ノ地券ニ永代借地權ノ移轉ノ記載ヲ爲シ之ヲ裁判所ニ送付スヘシ

第二條ノ八 地券名義人カ地券ヲ提出セサルトキハ地方廳ハ競落人ニ對シ更ニ新地券ヲ發給スヘシ

提出セサル地券ハ新地券ノ發給ニ因リテ其ノ效力ヲ失フ

第二條ノ九 前條第一項ノ規定ニ依リ發給スヘキ地券ハ地方廳ノ記録ニ基

キ原地券ノ全文ヲ掲ケテ之ヲ作成シ且競落人ノ氏名、國籍、住所、新地券發給ノ原因、其ノ日附及地方長官ノ官氏名ヲ記入シ官印ヲ押捺スヘシ

第二條ノ十 地方廳カ第二條ノ八第一項ノ規定ニ依リ新地券ヲ發給スルトキハ其ノ地券ニ永代借地權ノ移轉ノ記載ヲ爲シ遲滞ナク之ヲ裁判所ニ送付スヘシ

第二條ノ十一 地券カ第二條ノ八第二項ノ規定ニ依リ其ノ效力ヲ失ヒタルトキハ地方廳ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ舊地券名義人ニ通知シ且官報及新聞紙ヲ以テ公告スヘシ

第二條ノ十二 地方廳ニ於テ永代借地權ノ移轉ヲ地券ニ記載シタルトキハ遲滞ナク其ノ永代借地ノ所在地ヲ管轄スル登記所ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

前項ノ通知書ニハ地券ノ謄本ヲ添附スヘシ

第二條ノ十三 管轄登記所ニ於テ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ職權ヲ以テ永代借地登記簿ニ永代借地權移轉ノ登記ヲ爲スヘシ

第二條ノ十四 裁判所ハ第二條ノ六ノ規定ニ依リ地券ノ返還ヲ受ケタルトキ又ハ第二條ノ七第二項及第二條ノ十ノ規定ニ依リ地券ノ送付ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ競落人ニ交付スヘシ

第二條ノ十五 競落ヲ爲シテ競賣手續ヲ完結シタルトキハ裁判所ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ地方廳ニ通知スヘシ

○議長(公爵徳川家達君) 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉、此特別委員ハ議長ガ選定ヲ致シテ御異存ゴザイマセヌカ  
「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、直ニ此特別委員ノ氏名ヲ書記官長ヲシテ御報告イタサセマス  
〔太田書記官長朗讀〕

明治三十四年法律第三十九號中改正法律案特別委員

桑田 熊藏君 道源 権治君 宮崎 喜久太郎君

日高 榮三郎君 森廣 三郎君 下郷 傳平君

下村辰右衛門君 伊藤 長次郎君 河田與惣左衛門君

○議長(公爵徳川家達君) 會期切迫ノ今日デアリマスカラ、速ニ正副委員長ノ選舉ヲ行ハレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十六、災害地方田畠地租免除ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告、諸君ニ御諮詢ヲ致シマスガ、議事日程ノ十七ノ法律案モ同一ノ特別委員ニ付託ニ相成テ居リマスカラ、委員長ノ報告モ東ネテ宜カラウカト考ヘマスガ、御異議ハゴザイマセヌカ  
〔異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、伊達男爵  
災害地方田畠地租免除ニ關スル法律案  
右否決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年三月二十五日

右特別委員長

男爵伊達 宗敦

貴族院議長公爵徳川家達殿

意見

右貴族院規則第五十條及第四十二條ニ依リ提出候也

明治四十年三月二十五日

災害地方田畠地租免除ニ關スル法律案特別委員

西村亮吉

宮島誠一郎

鳥越貞敏

貴族院議長公爵德川家達殿

災害地方田畠地租免除ニ關スル法律案特別委員會ノ報告ニ對スル少數者意見

本案ハ可決スヘキモノトス

明治三十九年青森縣下ニ於ケル災害ハ同三十八年ニ於ケル同縣ノ災害ヨリモ多大ナルヲ以テ明治三十九年三月法律第十號ト同一ナム災害地田畠地租免除ニ關スル法律ヲ設クヘキモノトス

明治三十四年法律第二十七號中改正法律案

右否決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年三月二十五日

右特別委員長

男爵伊達宗教

貴族院議長公爵德川家達殿

明治三十四年法律第二十七號中改正法律案特別委員會ノ報告ニ對スル少數者意見

右貴族院規則第五十條及第四十二條ニ依リ提出候也

明治四十年三月二十五日

明治三十四年法律第二十七號中改正法律案特別委員

西村亮吉

宮島誠一郎

鳥越貞敏

明治三十四年法律第二十七號中改正法律案特別委員會ノ報告ニ對スル少數者意見

○男爵伊達宗教君 災害地地租免除ニ關スル法律案及明治三十四年法律第二十七號中改正法律案ノ委員會ノ結果ヲ御報道ニ及ビマス、此委員會ハ本月ノ二十五日ニ開キマシテ即日決議ニ至リマシタ譯デアリマス、此案ハ同ジヤウナモノガ今日マデ度ニ提出ニナツテ居リマスルノデ、別ニ深イ質問モアリマセズ、又ヒトイ討論モアリマセヌデシタ、依ッテ賛否ノ御方ノ御意見ヲ搔イ摘ンデ御報道ヲ致サウト思ヒマス、ソレデ昨二十五日ニ開會ヲ致シマシテ、サウシテ即日ニ賛成者三ニ對スル反対者四名ト云フ數ヲ以テ委員會ニ於テハ否決ト云フコトニナリマシタ、尤モ委員ノ中一名缺席者ガアリマシタ、ソレカラ政府委員ノ説明ニ於キマシテハ、是ハ前々カラ説明セラレルト殆ド同ジ説明デアリマシテ延納法ト云フモノガ地租條例ニ設ケテアルノデアルカラ、本年ノ青森縣ノ如キ、本年デハアリマセヌ誤リマシタ、三十九年度ノ青森縣ノ災害ナドニ於テモ無論、延納法ニ依ツテ十分ニ救濟ガ出來ル譯デアル、決シテ免除ナドヲスルニハ及バヌ譯デアルト思フ、斯ウ云フノガ大體ノ趣意デアリマス、ソレカラ或ル委員ノ中カラ政府委員ニ對シテ質問ガアリマシタ、ソレハ斯ウ云フ質問デアッタノデ、三十八年ニ於ケル東北、即チ宮城、巣手、福島、此三縣ノ大凶作ノ時ニ於テハ政府ハ地租免除ト云フモノヲ許シタデハナイカ、ドウ云フ譯デ三十九年度ニ於ケル青森縣下ノ大慘害ニ對シテハ不同意デアルカト云フ、斯フ云フ質問ガアッタ、ソレニ對シテ政府委員タル主税局長デアッタカト思ヒマスガ櫻井氏ト云フ方ノ答辯ニ、ソレハ第一ハ三十八年度ニ於ケル東北三縣ノ災害ト云フモノハ非常ニ區域ガ廣イ殆ド三縣全部イケナイト言ツテモ宜イ、ソレカラ時ハ恰モ戰爭中デアッタ、因ツテ農業ニ從事スル所ノ壯丁ガ少カッタ、ソレガ爲ニ政府ハ免除ト云フコトヲ許シタガ、昨年ニ於ケル青森縣下ノ凶作ト云フモノハ區域モ非常ニ狭イ、東北ノ三縣下ニ

對シテ見ルト、非常ニ區域ガ狹イノミナラズ、災害ノ程度モ彼ノ東北三縣下ノ災害ニ比シテ見ルト輕イ、裏カラ申セバ三縣下ノ災害ノ度ノ方ガ強クアッタ、斯ウ云フ理由デアリマス、マダ他ニモ色ニ理由ガアリマスガ、大體ハ先ヅサウ云フ理由デアリマス、ソレカラ贊成者ト反対者ノ重モナル御議論ヲ大要申上ゲヤウト思ヒマス、是モ唯今申上ゲマス通り毎々地租免除ト云フコトニ付イテノ御議論ハ大分アツタノデアリマシテ、大シタコトハアリマセヌガ、要領ハ矢張リ贊成者ノ側ニ於キマシテハ、三十九年度ノ即チ青森縣下ノ災害ト云フモノハ、成ルホド政府委員ノ述ベル通り巖手、宮城、福島ノ三縣下ニ比シテ見レバ確ニ輕イ、併ナガラ災害ノ程度、度合ト云フコトニ至ッテハ三十八年度ニ於ケル宮城、巖手、福島ノ災害ト或ル場所ニ依ツテハ優ツテ居ルトモ劣テ居ラナイ、唯ダ區域ガ狭イノミデアッテ、其土地ノ農民ガ害ヲ被ツタト云フ程度ニ至ッテハ同ジコトデアル、ソレデ其地方ハドウ云フ狀況デアルカト云フト、諸君モ御存ジノ如ク、モウ收穫時ニナレバ雪ガ降ツテ其雪モ五寸トカ六寸トカ云フ雪デナイ、殆ド數尺ノ雪ガ積ルト云フノデアル、稻ヲ刈ルコトモ能ハスト云フ位デアル、平年ノ歲デアッテモサウデアル、ソレデ收穫ガ皆無トナツテ來タル場合ニ於テハ何モスルコトガ出來ナイ、例ヘバ道路ヲ直ス人足ニナラウト思ツテモ、或ハ其他ノ事ヲシャウト思ツテモ、スル仕事ガ無イ、實ニ唯ダ雪ノ中ニ飢エテ居ルト云フ有様デアル、因ツテ斯ウ云フ慘害ノアリマス所ハ延納法グラヰデハ逃モ救助ノ途ガ出來ナイニ依ツテ、速ニ免除ニ依ツテ此窮民ヲ九死ノ中カラ救ハナケレバナラヌト云フ、斯ウ云フ御意見ガアツタ、ソレカラ反対ノ御方ノ御議論ハ稍、政府委員ノ反対セラル所ト似寄ツタ所ノ御論旨デアリマシテ、矢張リ地租條例ノ中ニ延納法ト云フモノガ設ケテアルカラ、ソレニ據ツテヤツテ宜シイノデアル、若シ此免除ト云フコトヲ一トタビ許シタ場合ニハ、年々歲々、アチラカラモ、コチラカラモ、免除免除ト云フコトガ出テ來ル、サウナツテ來ルト云フト、地租條例ト云フモノハ殆ド根本カラ毀レテ仕舞フモノデアル、地租條例ヲ改正シテ免除法ヲ設ケレバ免モ角モ、サウデナイ以上ハ現行ノ地租條例ガアル以上ハ、サウ云フ免除ヲ續々サルルト云フコトニナツテハ、ドウシテモ地租條例ハ行ケルモノデナイ、毀シテ仕舞フ譯デアルカラ、是ハドウモ氣ノ毒デアル、窮民ニ對シテハ誠ニ氣ノ毒デアルケレドモ、他ニ方法モ無イカラ矢張リ延納法ニ據ツテ救助ヲスルホカ途ガ無イト云フ、斯ウ云フヤウナ大體ノ御趣意デ、若シ何カ其以

對シテ見ルト、非常ニ區域ガ狹イノミナラズ、災害ノ程度モ彼ノ東北三縣下ノ災害ニ比シテ見ルト輕イ、裏カラ申セバ三縣下ノ災害ノ度ノ方ガ強クアッタ、斯ウ云フ理由デアリマス、マダ他ニモ色ニ理由ガアリマスガ、大體ハ先ヅサウ云フ理由デアリマス、ソレカラ贊成者ト反対者ノ重モナル御議論ヲ大要申上ゲヤウト思ヒマス、是モ唯今申上ゲマス通り毎々地租免除ト云フコトニ付イテノ御議論ハ大分アツタノデアリマシテ、大シタコトハアリマセヌガ、要領ハ矢張リ贊成者ノ側ニ於キマシテハ、三十九年度ノ即チ青森縣下ノ災害ト云フモノハ、成ルホド政府委員ノ述ベル通り巖手、宮城、福島ノ三縣下ニ比シテ見レバ確ニ輕イ、併ナガラ災害ノ程度、度合ト云フコトニ至ッテハ三十八年度ニ於ケル宮城、巖手、福島ノ災害ト或ル場所ニ依ツテハ優ツテ居ルトモ劣テ居ラナイ、唯ダ區域ガ狭イノミデアッテ、其土地ノ農民ガ害ヲ被ツタト云フ程度ニ至ッテハ同ジコトデアル、ソレデ其地方ハドウ云フ狀況デアルカト云フト、諸君モ御存ジノ如ク、モウ收穫時ニナレバ雪ガ降ツテ其雪モ五寸トカ六寸トカ云フ雪デナイ、殆ド數尺ノ雪ガ積ルト云フノデアル、稻ヲ刈ルコトモ能ハスト云フ位デアル、平年ノ歲デアッテモサウデアル、ソレデ收穫ガ皆無トナツテ來タル場合ニ於テハ何モスルコトガ出來ナイ、例ヘバ道路ヲ直ス人足ニナラウト思ツテモ、或ハ其他ノ事ヲシャウト思ツテモ、スル仕事ガ無イ、實ニ唯ダ雪ノ中ニ飢エテ居ルト云フ有様デアル、因ツテ斯ウ云フ慘害ノアリマス所ハ延納法グラヰデハ逃モ救助ノ途ガ出來ナイニ依ツテ、速ニ免除ニ依ツテ此窮民ヲ九死ノ中カラ救ハナケレバナラヌト云フ、斯ウ云フ御意見ガアツタ、ソレカラ反対ノ御方ノ御議論ハ稍、政府委員ノ反対セラル所ト似寄ツタ所ノ御論旨デアリマシテ、矢張リ地租條例ノ中ニ延納法ト云フモノガ設ケテアルカラ、ソレニ據ツテヤツテ宜シイノデアル、若シ此免除ト云フコトヲ一トタビ許シタ場合ニハ、年々歲々、アチラカラモ、コチラカラモ、免除免除ト云フコトガ出テ來ル、サウナツテ來ルト云フト、地租條例ト云フモノハ殆ド根本カラ毀レテ仕舞フモノデアル、地租條例ヲ改正シテ免除法ヲ設ケレバ免モ角モ、サウデナイ以上ハ現行ノ地租條例ガアル以上ハ、サウ云フ免除ヲ續々サルルト云フコトニナツテハ、ドウシテモ地租條例ハ行ケルモノデナイ、毀シテ仕舞フ譯デアルカラ、是ハドウモ氣ノ毒デアル、窮民ニ對シテハ誠ニ氣ノ毒デアルケレドモ、他ニ方法モ無イカラ矢張リ延納法ニ據ツテ救助ヲスルホカ途ガ無イト云フ、斯ウ云フヤウナ大體ノ御趣意デ、若シ何カ其以

外ニ互ツテ細カイ所ノ御尋ネガアリマスレバ、答ヘラレルダケハ御答ヘヲ致シマスガ、大略サウ云フ譯デ否決ニナリマシタ、此段ヲ…  
○子爵曾我祐準君 前年免シテ當年ハ免サヌト云フノハ、私ドモノ頭ニハ一番要領ヲ得ナイ趣意デアリマス、理窟ガ分ラヌ、其邊ハドウ云フ譯デアリマスカ、昨年ハ戰サ中デアツタカラ免シタガ、今年ハ戰サガ無イカラ許サヌ、斯ウ云フ譯デ、ソレヲドウゾ今一應…大分委シイ御説明ガアツタガ、ソレガ一番必要ナ點ト考ヘマス

○男爵伊達宗敦君 御尤モノ御尋ネト私モ考ヘル、政府委員ノ申サレタ所ハ唯今申上ゲマスル通り窮民ヲ救助スルト云フコトハ申スマデモナク救助シナケレバナラヌガ、併ナガラ明治三十八年ニ於ケル彼ノ宮城、巖手、福島ノ三縣下ノ如キ災害ニ於テハ唯今述ベル如ク區域モ廣イ、ソレカラ害ヲ被ツタ程度モ比較的三十九年ニ於ケル青森縣下ノヨリハ害ガヒトイ、斯ウ云フ意味デ申サレマシタ、ソレカラ戰役中デアルカラ免シタ、戰役中デナイカラ免サヌト云フコトニ付イテハ、細カイコトハ述ベラレマセヌデアリマシタガ、要スルニ戰役中デアルカラ、先キホド申シタ如ク壯丁、若イ農夫ガ稼グコトガ出来ナイ、譬ヲ取ツテ言ヘバ、一家ノ中ニ老人夫婦ガ居ルグラヰノ有様デアルト察スル、斯ウ云フ意味デアリマシテ、ソレヨリ外ニ政府委員カラ答ヘモアリマセズ、委員カラモ別段質問モアリマセヌ

○子爵曾我祐準君 大ニ御説明デ分リマシタガ、地租條例ハ戰サ中デモ同ジデアリマスガ、戰サ中ノ地租條例ト平時ノ地租條例ト云フモノハ別ニ無イ、同ジ條例ニシテ一方ガ違フト云フコトハナイ、ソレハ別段其邊ノ御調べハゴザイマセヌカ

○男爵伊達宗敦君 御答ヘシマス、私モ一個ノ意見トシテハ曾我子爵ト同ジ考ヲ持ツテ居リマスガ、唯今ハ委員長ノ資格ヲ以テ報告ヲ致シマシタノデアリマスカラ、私一個ノ意見ハ述ベル譯ニイキマセヌ、又地租條例ハ同ジモノデアル、然ルニ戰サ中デアルカラ、ナイカラト云フ區別ハドウカト云フ御質問ハ委員長カラハ何トモ御答ヘが出來兼ネマスカラ、宜シク是ハ大藏大臣ニ御尋ネニナツタラ能ク分ラウト思ヒマス

○伯爵德川達孝君 チヨツト私モ曾我子爵ト同様ノコトデアリマスガ、委員長ニチヨツト御尋ネシタイト思ヒマス、ソレハ災害地方田畠地租免除ニ關スル速記録ヲ讀ンデ見マスルト、其中ニ政府委員ノ櫻井鐵太郎君ガ言ハレル

ノニ「當時政府ハ矢張リ地租ヲ免除スルト云フコトニハ不同意デアルト云フコトヲ唱ヘテ居リマシタ」此當時ト云フノハ昨年ノコトデゴザイマセウ、斯ウ書イテアリマス、今ノ委員長ノ御報告デ略、分リマシタガ、昨年ノ委員會ノ速記錄ヲ見マスルト云フト、全ク不同意ト云フ譯デモナイ、據ナイト云フ意味ハアリマセウガ、兎ニ角政府デハ同意シテ居ルト云フ風ニ書イテアル、ソレカラ此所ニ其速記錄モゴザイマスガ、此本會議ノトキニモ大藏大臣ハ同意ヲスルト云フコトガ書イテアル、サウシテ見マスルト云フト此速記錄ガ誤リデアリマスカ、私ノ見方ガ惡イカ知レマセヌデスガ、其邊ハドウ云フモノデゴザイマセウカ、モウ一應委員長ノ御説明ヲ伺ッテ其模様ニ依ッテ大藏大臣ニ質問シタイト思ヅテ居リマス

○男爵伊達宗教君 大分長イ御質問デアリマシタガ、斯ウ云フ御質問デアツタ承レバ宜シウゴザイマスカ、モウ一應述ベマスカラ若シ御質問ノ御趣意ニ違ツテ居リマスレバ御繰返シニナッテ戴キタイ

〔伯爵德川達孝君「宜シウゴザイマス」ト述ブ〕

德川伯爵ノ御質問ハ政府ニ於テ地租免除ト云フコトハ本年モ又昨年……昨年ト云フノハ即チ明治三十八年度ノコトデ宮城、巖手、福島三縣下ノ大凶作ノ時ヲ指サレタト思ヒマスガ、其時ハ兩度共ニ政府ハ同意シナイ、反対シテ居ル、斯ウ云フヤウニ委員會ノ速記錄デハ見エルガ、サウデアツカト云フ、斯ウ云フ御尋ネデゴザイマスカ

〔伯爵德川達孝君「サウデゴザイマス」ト述ブ〕

ソレハ委員會ニ於キマシテ櫻井局長ノ或ル委員ノ質問ニ對シテ述ベラレタトキハ斯ウ云フ譯デアリマシタ、政府ニ於テハ昨年モ本年モ同様ニ之ニ反対ヲ致シテ居マス、斯ウ述ベラレタ、御分リニナリマシタカ、昨年モ本年モ不同意デアルトスウ云フコトデアリマス

○男爵野田裕通君 唯今、委員長カラ御報告ノ中ニ三十八年度ノ宮城其他ノ二縣ノ災害ニ比ベマスト三十九年度ノ青森縣ノ災害ハ比較的ニ輕イト云フコトデゴザイマスルガ、其輕イト云フ程度ハ政府ニ於キマシテハ段別ニ對シマス所ノ收穫ノ實收高ハ如何ニナツテ居ルカト云フコトガ調べガ出來テ居リマスレバ伺ヒタイト存ジマスガ、或ハ委員長ヨリ御答ガ出來マセネバ政府委員カラ御答ヲ得タインデアリマス

○男爵伊達宗敦君 御答ヲ致シマス、唯今ノ御問ヒハ少シ私ニハ分リカネタ

所モアリマスガ、可ナリ巨細ノ調ベモ持ツテ居リマスガ、餘リ長クナリマスニ依ツテ、寧ロ政府委員ニ御尋ネニナツタ方ガ明ニ御分リデアラウト思ヒマス、私カラ御答シテモ宜シウゴザイマスガ……

○男爵野田裕通君 ドナタカラデモ宜シウゴザイマス、唯ダ總高ノ上ニ於キマシテ段別ニ對シマスル實收額ノ割合ダケヲ伺ヘバ宜シイノデゴザイマス

○男爵伊達宗教君 ソレハ政府委員ニ御尋ネニナル方ガ御便利デゴザリマス

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 唯今御尋ネニナリマス所ノ明治三十八年ノ東北ノ凶作ト云ヒマスノハ福島カラ以北、東海岸ニ沿ヒテ殆ド各縣ニ亘ツテ居リマシタガ、本年ハ青森縣ノミノヤウニ思ハレルノデ、其點ガ三十八年ヨリ三十九年ハ凶作ノ範圍ガ狭イト云フコトダケハ明ニ言ハレルト思ヒマスガ、反別等ノコトニ至リマスト、實ハ此問題ハ青森縣ノ本年ノ凶作ハ一部ニ矢張リ相當ノ被害ガアツタノデアリマスカラ、サウ云フ場合ニ於テハ地租延納法ガアルカラ此法律ニ基イテ延納ヲ出願シタラ宜カラウト云フコトヲ當該稅務署長カラ人民ニ皆其趣ヲ諭シタノデアリマス、此法律ニ依ルト被害ノ存シテ居ル間ニ願ハナケレバ願フ期限ヲ失フノデアルカラ、斯ウ云フヤウナ損害ノ時ニハ斯ウ云フ延納ノ法ガアルカラ出願ヲシタラ宜カラウト申シテ其趣ヲ能ク諭シマシタケレドモ、出願イタシタ者ハ極メテ少ウゴザイマシタ、ソレガ爲ニ政府ノ所デハ、チヨット反別ガドレ位アルト云フ明ナコトハ唯今ハッキリ致シテ居リマセヌ、併シ其出願シナカッタ事情ハ如何ナル譯デアリマシタカト云フコトハ、チヨット私ハ了解イタシマセヌガ、サウ云フヤウナ關係デアリマシタノデ、併ナガラ此問題ガ衆議院ニ出マス前ニハ隨分大藏省モ聞キマシタノデ、ソコマデ當該官吏ガ親切ニ注意シマシタケレドモ、出願ガ無カッタト云フノハ、ドウ云フコトデアツカ知ラナイガ、併ナガラ凶作ノ被害ハ異常ノコトデアルカラ此異常ノ際ニ於テ規則ヲ餘リ固守シテ折角難儀シタモノノ救助ノ法律ノ適用ガ無イヤウナコトデアツテハイカヌカラト云フノデ、更ニ又大トデゴザイマスルガ、其輕イト云フ程度ハ政府ニ於キマシテハ段別ニ對シマス所ノ收穫ノ實收高ハ如何ニナツテ居ルカト云フコトガ調べガ出來テ居リマスレバ伺ヒタイト存ジマスガ、或ハ委員長ヨリ御答ガ出來マセネバ政府委員定シテ租稅ヲ徵ルト云フ主義ヲ定メタ以上ハ、ドウモ免租ト云フモノデ斯ウ云フ場合ニ救濟ヲ與ヘルト云フコトハイカヌト云フ趣意ヲ以テ、ドウモ延納法ヲ設ケタ以上ハ今日問題ニナツテ居ル免租法ニ付イテハ政府デハ不同意ヲ

言フ積リデアル、併ナガラ不同意ヲ言ッタ結果、既ニ出願スル期限ヲ失ッタヤ  
ウナ者ハ全然救助ノ途ガ無イヤウデハ宜シクナイカラ、斯ウ云フ場合ニ處シ  
テハ幾ラカ政府デモユトリヲ取ッテ法規ヲ適用スルコトニシテ、若シ免除法ガ  
成立シナイトキハ延納法ニ依ッテ出願シ來レバ十分認メテ實際被害ノアル所  
ニ向ッテ延納ノ許可ヲスルヤウニセイト云フコトヲ唯今内訓シテアルノデ、若  
シ延納法ニ依ッテ出願シテ參リマスレバ之ニ依ッテ政府ハ調ベラシテ、延納ノ  
許可ヲ與ヘル積リデアリマス、唯今ノ所デハ反別ガドレ位ト云フ調ハ未ダ運  
ンデ居リマセヌ

○議長（公爵徳川家達君） 是ヨリ少數意見提出者ノ登壇ヲ請ヒマス苦デゴザ  
イマスガ、是テ暫ク休憩イタシマス

午前十一時五十九分休憩

午後一時十二分開議

○議長（公爵徳川家達君） 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス

〔男爵伊達宗敦君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長（公爵徳川家達君） 伊達男爵ハ何デスカ

○議長（公爵伊達宗敦君） 報告漏レガアリマスカラ、チヨット……

○議長（公爵徳川家達君） 何ノ報告漏レデスカ

○議長（公爵伊達宗敦君） 三十四年法律第二十七號中改正法律案デ、コレガ否決ニ  
ナリマシタコトヲ御報告スルコトヲ落シマシタ

○議長（公爵徳川家達君） サウ云フコトデゴザイマスナラ議事日程第十六ノ  
議事ヲ終ツタ時ニ願ヒマセウ、其方ガ宜カラウト思ヒマス

〔西村亮吉君演壇ニ登ル〕

○西村亮吉君 諸君、私ハ委員會ノ少數ノ意見ヲ茲デ申述ベマスル、此委員  
會ノ少數ハ本案ヲ可決スペキモノト認メマシテ、少數者意見ヲ提出シテ置キ  
マシタ、御一覽クダサレタコト存ジマス、此三十九年ニ天候不良ノ爲ニ青  
森縣下ノ災害ト申スモノハ、三十八年ニ同縣下ガ同様ノ天災デ災害ニ罹ッテ  
内務大臣ヘ具申ニナツテ居マスルト云フ所ノ收穫皆無ノ反別ハ一萬四千八百  
九十三町餘ニアリマス、三十八年ニ大藏省デ收穫皆無ト認メテ免租ニナリマ  
シタ反別ハ、田反別ガ九千五百七十三町餘、畑反別三千百四十一町餘デ、合

計一萬二千七百十四町餘デアリマス、ソレデ同縣知事カラ三十九年ノ災害ヲ  
届ケテ居マスルノト比較シテ見マスルト、三十九年ハ二千百七十九町餘、多  
ク皆無ニナツテ居リマスル、又農商務省ノ統計ニ依リマシテ調べテ見マスルト  
同縣ノ三十八年ノ收穫ハドレ位デアルカト云フト五十四萬三千九百五十石、  
三十九年ハドウカト申スト、三十九年ハ四十五萬九千八百三十四石デアリマ  
ス、サウスルト三十九年ニ災害ニ罹ッテ收穫ノ減ッテ居ルコトハ前年ニ比シ  
テ八萬四千百十六石減ッテ居リマス、シテ見ルト愈ニ三十九年ノ災害ハ三十八  
年ノ災害ヨリハ多大デアルト云フコトハ是デ信ゼラレマスル、同縣ハ三十五  
年ニ天候不良ノ爲ニ災害ニ罹リマシタ、ソレデ即チ地租延納法ニ依ッテ延納  
ヲ許サレテ居ルノデアリマス、ソレデ引續イテ三十八年ハ唯今申上グタ如キ  
大災害ヲ受ケマシテ、是ハ免租ニ相成リマシタカラ、先ツ三十八年ハソレデ  
ドウカ過去ツタ、所ヘ尙又三十九年ニ引續イテソレヨリモ多大ノ災害ヲ受ケ  
マシタノデアリマス、實ニ同縣ノ災害ト云フモノハ引續イテ甚シイ災害デア  
リマスル、斯ウ云フ譯デアリマスルカラ、明治三十九年三月ニ發布ニナリマ  
シタ法律ト同一ナル災害地方田畠地租免除ニ關スル法律ヲ制定シテ、前年同  
様ノ處分ヲ受タルヤウニスルト云フコトハ、實ニ已ムヲ得ヌ次第デアリマス  
ル、故ニ少數ノ委員ノ意見ヲ提出イタシテ置キマシタ譯デアリマス、是マデ  
ガ少數意見ノ御報告デアリマスル、是カラ續イテ私ノ意見ヲ簡單ニ申上グヤ  
ウト存ジマスル、委員會ニ於キマシテ政府委員ノ反對ノ御說モ、又反對諸君  
ノ御說モ承リマシタ、其反對ニナツタ譯ハ先刻、委員長ガ御報告ニナリマシ  
タカラ御承知モゴザイママセウ、要スルニ地租條例ノ原則ヲ破ルトカ精神ヲ  
要スルニ詰リ是ダケノコトデアリマス、其地租條例ヲ破ルヤウナコトヲ地租  
延納法ガアルカラ其延納法デ押付ケテヤレバソレデ宜イデヤナイカ、災害ガ  
有ラウガ構フコトハ無イト云フ冷淡ナル御考カラ右ノ様ナ反對ノ御意見ガ出  
ルノデハナイカト思ヒマス、此三十九年ノ同縣ノ災害ト云フモノハ、前年免  
租ニナツタ災害ヨリモ多大ナ災害デアル、サウ云フ譯デアルカラ同様ノ處分  
ニナツテ然ルベキモノデアル、又サウセネバナラヌモノデアラウト考ヘルノデ  
ゴザイマス、然ルニ是ガ出ルト地租條例ヲ破ルト云フノ御說デゴザイマスガ、  
テ已ムヲ得ズ一年限リノ法律ヲ拂ヘテ免除スルノデアリマスカラ、チヨットモ

地租條例ヲ破ルコトニハナリマセヌ、三十四年發布ニナリマシタル水害地方田租地租免除ニ關スル法律、即チアノトキニ第二十七號デ發布ニナリマシテ行ハレテ居リマス、即チ此三十四年四月ニ發布ニナリマシタル水害地方田畠地租免除ニ關スル現行法律第二十七號ハ確ニ地租條例ヲ破ツテ居ルモノト認メテ居リマス、是ハ貴族院ニ於テハ贊成ニナリマシテ今日行ハレテ居ル法案デアリマス、此二十七號ノ法律ニ依ツテ年々免租ニナッテ居ルモノハ些細ナ被害地マデモ免租ニナッテ居ルノデアラウト思ヒマス、三四年前ニ大藏省ニ就イテ其調べヲ見マシタガ、僅カ三十圓内外ノモノヲ免租ニナッテ居リマス、其時ニ私ガ大藏省ニ其調べヲ見マシタトキニハ唯今ノ政府委員ノ菅原君ニ見セテ御貴ヒシタカト覺エテ居リマス、即チ地租條例ヲ破ツタト云フモノハ此三十四年ノ二十七號ガ確ニ破ツテ居ルノデアリマス、此地租條例ハ明治十七年ノ三月ニ制定ニナッタモノデゴザイマシテ、地租條例ノ第一章ニ第一回ノ議會ニ於テハアリマセヌ、第二章、第三章、第四章、第五章、第六章ニ基イテ制定ニナッタモノデアリマス、其當時ニアツテハ地租條例ノ二章ト六章ノ趣旨ヲ失ハヌヤウニ政府ハ努メラレテ居タヤウニ思ヒマス、所ガ此日清ノ戰後ニナリマシテハ、其趣旨ハ最早失却シテ仕舞ツテアルト存ジマス、五年間ノ増租ヲシテ満期ニ至ツテ年限ヲ削除シテ永久稅ニスルト云フコトヲ議會ニ持出シテ、ソレガ爲ニ衆議院ハ解散ニナリマシタ、地租條例ノ精神ハ此時ニモウ既ニ破レテ居ル、又三十七八年ノ戰役ノ爲ニ非常特別稅、即チ戰時稅ヲ起サレマシタ、此非常特別稅ニ依ツテ地價ハ尙ホ百分ノ三・五ヲ負擔シテ居リマス、是モ戰時稅ナルヲ以テ已ムヲ得ヌ次第アリマス、ソレデ戰爭ガ終ツタナラバ是ハ總テ廢止ニナル筈デアツタモノガ前回ノ議會ニ於テ其年限ヲ削除サレテ永久稅ト相成リマシタ、モウ是デ地租條例ノ原則ト云フモノハ破壊シタノデアル、然ルニ獨り免租ノコトニ對シテ地租條例ノ第二條ヲ楯トシテ反對セラルコトハ實ニ私ハ何タル譯デアルカ、了解ヲ致シ兼ネマスル、又此地租特免ノ法律ガ出生第十七議會ノ解散ヲセラレタ其時ニ、東北地方、即チ其時ハ青森、巖手等ガ殆ド饑饉デアツタノデアリマス、即チ昨年同様ノ天候不良ノ爲メニ非常ノ灾害デアツタ、ソレデ議會ガ解散サレテ居ラナンダナラバ即チ地租特免ノ法律ガ出タデアラウト思ヒマスガ、議會ハ解散セラレマシタ故ニ政府ハ延納法ヲ緊急勅令デ出サレマシタ、所ガ其延納法ハ財產ノ有ル者ニハ及バヌ、無財產ノ水呑百姓デナケレバ延納ヲ許サレヌ法デアツタノデアリマス、ソレモ年限ハ僅カ

三年ノ年限デアツタト思ヒマス、第十八議會ニ於テ此延納法ヲ事後承諾ヲ得ル爲ニ衆議院ヘ提出サレマシタ、衆議院ハ之ヲ握ツテ災害地地租免除ニ關スル法律ト云フ案ヲ提出ニナリマシテ、直ニ議決シテ貴族院ヘ送付ニナリマシタ、ソレハ三十六年三月二十八日デアリマシタ、此法律ニ付イテハ緊急勅令ガ發布ニナッテ居リマスルカラ、ナカナカ貴族院デ議論ガ喧マシウゴザイマシタ、其御話ヲ委シウ致シマセウトスルト、第十六議會ニ立戻ツテ御話ヲシナケレバナラヌコトニナリマシテ、大層長ウナリマスカラ、モウ是デ止メマシテ、此延納法ハ三十六年ノ六月ニ制定ニナリマシタルモノデゴザイマシタ、地租條例ニ依ツテ徵收セラル地價百分ノ二箇半ニ向ツテ適用セラルレバ決シテ喧マシイコトハ無イト思ヒマス、然ルニ非常特別稅法ニ據ツテ徵收サルル稅ニマデモ此延納法ヲ推及ボシテ行クト云フコトハ實ニ苛酷千萬デアルト思ヒマスル、今日ノ地租ハドウナッテ居ルカト云フト、地價百分ノ五箇半ヲ徵收サレテ居リマスル、ソレデ此延納法ト云フモノハ非常特別稅法ニ依ツテ徵收スペキモノマデニモ推及ボスト云フ、モトノイ丁簡デ出來タモノデハナイノデアリマス、ソレヲ今日延納法ヲ以テ災害地ニ適用スルト云フコトハ實ニ甚シイ殘酷ナコトデアルト思ヒマス、前回ノ議會ニ於キマシテハ大藏大臣ハ本案ト同一ノ法律案ニ衆議院デ御同意ニナッテ居リマスル、ツレハ非常ノ戰爭後デアルカラ已ムヲ得ヌト云フヤウナコトノ譯デ御同意ニナッテ居ルヤウデアリマスルガ、是ハ非常特別稅法ヲ永久稅ニスルト云フ場合デアツタカラ、其邊ノ御掛引デ御同意ニナッタモノデアリマセウガ、ドウカ尙ホ前回ニ御同意ニナッタ如ク今回モ御同意ニナルコトヲ切望シマスルノデアリマスル、此三十年ノ青森縣下ノ災害ハ前年ト同一ノ災害ニ罹リ、其被害ハ殊ニ前年ヨリモ甚シイ譯デアリマスルカラ、何卒農ハ國ノ本ト云フコトヲ御考ヘニナリマシテ、本案ヲ御贊成ニナラムコトヲ切望イタシマス、尙ホ一言申述ベテ置キマスコトハ、戰後ノ經營ハ實ニ今日ノ急務デゴザイマス、然ルニ稅法改正ハ急務中ノ急務デアルト考ヘマスル、稅法改正ガ結了シテ發布ニナラヌデハ國民ガ安堵イタシマセヌ、又財政ノ基本モ確定セヌ譯デアルト思ヒマスル、前回ノ議會ニ於テ非常特別稅法ノ施行年限ヲ削除シテ兩院ヲ通過シタトキハ、殆ド稅法改正ガ條件ニナッテ通過シタヤウニ考ヘテ居リマス、過日豫算委員會デモ大藏大臣ガ稅法改正案ハ次回ノ議會ヘ提出スルト仰セラレテ居リマスル、此稅法ガ改正ニナリマスレバ、此二十四年前ニ制定ニナッタ地租條例モ

三十五年ノ水害地方地租特別免除法モ三十六年ノ地租延納法モ廢セラルルコトデアルト私ハ信ジマスデアリマス、サスレバ本案ノ如キ一年限リノ免租法ト云フモノハモウ此度限リデアルト信ジテ居リマス、何卒本案ニ御賛成アラムコトヲ切望イタシマス

○男爵伊達宗敦君 私ハ少數意見ニ對シテ賛成ノ意見ヲ述ベヤウト思ヒマス  
○議長(公爵德川家達君) 御登壇ヲ願ヒマス

「男爵伊達宗敦君演壇ニ登ル」

○男爵伊達宗敦君 諸君、私ハ災害地ニ對スル地租免除ト云フコトニ付キマシテ熱心ニ賛成ヲスル者デゴザイマス、即チ唯今西村君ヨリ御述ベニナッタト同ジ趣意デアリマシテ、少數意見ニ賛成ヲ致シマスノデアリマス、先キホド委員長ノ資格ヲ以テ御報道申上ゲマシタル如ク、去ル二十五日ニ於テ此委員會デハ一票ノ差デ否決ニナリマシタノハ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、私ハ決シテ議論ヲスル積リデハ更ニナイ、滿場ニ居ラル公明ノ諸君ニ對シテ寧ロ情ニ於テ青森地方ノ窮民ヲ代表スルト申シテ宜カラウト思ヒマス、懇願ヲスルノデアル、述ベル私ハ甚ダ詰ラナイ人間デアリマスルケレドモ、併シ其情ニ於テ、御笑ヒニナル御方々ガアルカ知レマセヌガ、アナタ方ハ暖ク衣、飽クマデ食フト云フ御方デアルカラ差支ハ無イノデアリマスガ、如何デゴザイマスカ、此雪ニ埋モレテ二日ニシテ僅ニ一食ヲ得ルト云フヤウナ窮民ノ情ヲ御察知クダサッタナラバ、如何ニシテコレガ否決ト云フヤウナコトガ出來ルデアリマセウ、決シテ是ハ私ハ堂々タル諸君ニ向ッテ議論ヲスルノデモ何デモナシノデアリマスガ、如何ニモ憫ムベキ窮民ノ情ヲ察シテ見ルト、ドウシテモ此案ヲ否決スルナドト云フコトハ出來ナイト思フノデアリマス、成ルホド地租ヲ免除スルト云フコトハ困ル、地租延納デ救助ヲシタイト云フ政府ノ意見モ一應尤モデアルト思ヒマスル、併ナガラ此青森縣ノ如キハ三十五年以來、凶作ガ續イテ居ルノデアリマス、三十七年ソレカラ三十八年ノ彼ノ東北ノ宮城、福島、巖手ニ於ケル凶作ノ時ニモ同ジャウナ害ヲ被ッテ居ッテ、既ニ其時ハ青森縣下ニ於テモ免除ヲ蒙ッテ居ルノデアリマス、若シ之ヲ延納ニスルト云フコトハ、私ガ申シマセヌデモ諸君ハ御存ジト思ヒマスガ、雪ノ外ニ尙ホ霜ノ害モニナリマスト、延納ニ重ヌルニ延納デアッテ、詰リ一回ダケノモノデアレバ或ハ延納ニ依ッテ拂ヒ得ルコトガ出來ルカモ知レヌガ、重ナリ重ナリシテ來タトイ、ソレデ同ジ凶作ガアリマシテモ、關西地方デアリマスレバ、雪ノ害、氷ノキニハ實ニ窮民ハ如何ニ困却スルカト云フコトハ諸君ニ於テモ御察シヲ願ヒ

害ト云フヤウナモノハ無イノデアリマス、ソレデアルカラ農民ガ多少收穫ヲ失ツテモ他ニ活路ヲ求メル途ガアルノデアリマス、例ヘバ山ニ行ツテ薪ヲ伐ルトカ、其他道路ノ工作、其他ノ事業ニ就イテ貯錢ヲ取ルコトガ出來ルノデアルマス、所ガ悲シイカナ、東北ノ方ハ收穫時ニ至ツテ既ニ早イ年ハ雪ガ降ルト云フ有様デアリマス、昨年ノ如キモ先キ程チヨット申上ゲマシタガ、何尺ト云フ暖爐ヲ置キ、或ハ火鉢ニアタッテ尙ホ寒シトスルヤウナ有様デアルノデアリマス、ソレデアルノニ實ニ憫ムベキ瀕死ノ民ハ著物ヲ著ルドコロデハナイノデアリマス、綿入ヲ著ルコトモ場合ニ依ツテハ出來ヌノデアリマス、其中デ比較的ニ樂ナ者ガ殆一枚著ルト云フヤウナ状態デ、甚シイモノニ至ツテハ嚴寒、雪ノ中デ單衣ヲ著テ居ルト云フ有様デアル、ソレカラ食物ハドウカト言ヘバ三度ノ食事ガ出來兼ネルト云フドコロデハナイ、中デ多少都合好ク食事デモ爲シテ居ルト云フ者ガ一日ニ一回ノ食事、其食事ト申シテモ都府ニ居ル中以上ノ人ノ口ニスル如キ満足ナ食物デハナインデアリマス、私ハ現ニ三十八年ニ於ケル東北饑饉ノ際ニ其窮民ノ用ヰテ居ル所ノ食物ヲ送ツテ貰ツテ現ニ親シク見タノデアリマス、定メシ國家ヲ憂フル諸君、國民ヲ愛スル、民ハ國ノ本ナリト云フ賢明ナル諸君ハ、必ズ御調べニナッテ居ルト固ク信ジマスガ、其食物ハドウデアリマス、私ナドノ飼ツテ居ル犬ヤ猫ニヤツテモ食ハヌヤウナ物デアリマス、如何デセウ、サウ云フ物ヲ食べテ居ル、其食物ヲ僅カ二日ニ一食、實ニ憐レナ有様デハアリマセヌカ、唯今モ申上ゲマシタ通リデアッテ、關西地方ノ暖地ト寒國ノ青森アタリノ状態トハ、平作ノ年ニ於テモ餘ホド差ガアルト思フノデアリマス、何トナレバ平年作デアッテモ農民ハ雪ヲ掘ツテ稻ヲ刈ルトカ、水ヲ履ンデ稻ヲ刈ルトカ云フヤウナ状態デアル、所ガ關西地方ノ暖地ニ於テハサウ云フ憂ハ更ニ無イノデアリマス、殊ニ東北アタリニ於キマシテハ、私ガ申シマセヌデモ諸君ハ御存ジト思ヒマスガ、雪ノ外ニ尙ホ霜ノ害モアル、誠ニ豊作ト稱スル年ハ稀ニアルノデアリマス、所ガ三十七年、三十八年ノ凶作、申セバ前年ノ災害ノ傷ノ未だ癒エザル中ニ又モヤ三十九年ノ大ナル災害ヲ被ツタト云フ譯ニナッテ居ル、如何デセウカ、唯今西村君カラ地租條例ノ事ニ付イテ堂々ト御議論モアリマシタ、私ハ最早此所デサウ云フコトヲ議論スル必要モアリマセヌ、政府ガ申サルルニハ三十八年ノ時ハ戰サガアッタカラ免シタ、先キホド曾我子爵カラ私ニ御尋ねガアリマシタガ、戰サガアッ

タカラ免シタ、サウスルト三十九年ハ戰サガ無イカラ免サンストホカ思ハレ  
ヌノデアリマス、先キホド曾我子爵ノ御尋ネニナッタ通り同ジ千人ノ窮民ヲ  
救フニ戰サガアツタ時ニハ窮民ヲ救ウテヤル、戰サノ無イ時ニハ救ツテヤラヌ、  
サウ云フ道理ガ立チマセウカ、如何デセウ、ソレカラモウ一ツハ宮城、巖手、  
福島、三縣下ノ凶作ノ時ハ區域ガ大デアツタ、此度ノ青森ノハ區域ガ狭イ、人  
間ノ數ニ於テ言ヘバ東北三縣ノハ千人ノ窮民ガアツタ、ソレデ青森縣下ノハ  
百人デアル、千人ノ窮民ハ救フガ百人ノ窮民ハ救ハヌト云フコトガ言ヘマス  
カ、此所ニ大藏大臣モ居ラレルガ、現ニ昨年ノ東北三縣ノ地租免除ト云フ折  
ニ於テ、私モ委員ノ一人トナッテ、其時若槻政府委員ハ、政府ハ已ムヲ得ヌ  
ト思フカラ同意シマスト云フコトヲ確ニ聽イテ居リマス、先キホド曾我子爵  
ノ御尋ネ、徳川伯爵ノ御尋ネノアツタ如ク、既ニ政府ハ同意スルト申シダメノデ  
アリマス、而シテ本年ハ之ニ同意スルコトガ出來ナイ、何故ニ同意スルコト  
ガ出來ヌカト云フト、前年ハ戰サガ有ツタカラ同意スル、サウスルト三十九  
年ニハ戰サガ無イカラ同意スルコトガ出來ヌト云フコトニナルノデアリマ  
ス、ドウカ慈愛ニ富ム所ノ諸君、憐ミノ深イ所ノ諸君、私ハ訥辯デアツテ十  
分災害地ノ情況ヲ諸君ニ御分リニナルヤウニ述べ盡スコトガ出來ヌノハ誠ニ  
遺憾ニ思ヒマスケレドモ、唯今此所ニ於テ述ベマシタノハ慘害ノ千分ノ一ク  
ラボナモノデアラウト思ヒマス、實地ニ就イテ御調ベニナリ、若クハ其地方  
カラ上京シタ者ニ御聞キニナツダナラバ、ナカニ此議場デ御考ヘニナルヤウ  
ナモノデハナイト思ヒマス、成ルホド地租條例ニ延納ノ法ガアルカラ、ソレ  
デ救ヘバ宜シイ、併ナガラ、ドウデゴザイマセウ諸君、今現ニ青森縣下ノ狀  
態ハ何百人、何千人ト云フモノガ、唯今申シマシタ如ク僅カ二日ニ一食、少  
シ宜イモノニシテ日ニ一食デアル、ソレモ稗デアルトカ、粟デアルトカ、甚  
シキニ至ツテハ芋ノ皮デアルトカ云フモノヲ煉リ集メテ、僅ニ口ノ中ニ入レテ  
漸ク空腹ヲ凌グニ止マル、食物トハ決シテ言ヘナイ、試ニ諸君之ヲ味テ見  
ラレタナラバ直ニ分ルダラウト思ヒマス、僅ニ一時間カ二時間、此議場デ議  
事ガ延ビタト云ウテ空腹デ堪マラナイト云フ人ガ澤山アル、如何デセウ、一  
時間ヤ二時間食ベナイ爲ニ空腹デ堪マラヌト云フノニ、少シモ食ツテ居ラヌ  
デ差支ナイト云フコトガ言ヘマスカ、決シテ私ハ、人情アリ、血アリ、涙ア  
ル人間トシテハ斷ジテ斯様ナ事ハ出來ヌト思ヒマス、言ヘヌト思ヒマス、ド  
ウカ能ク御考ヘヲ願ヒマス、是ハ御笑ヒニナル諸君モアルケレドモ、ヲカシ

イト思フ御方ハ別ノ話デアル、六百人若クハ千人ノ人ガ饑餓ニ迫ツテ雪ノ中  
ニ埋マツテ今ニ餓死セムトスル有様ヲ見テ笑フト云フ御方ハ、ソレハ別ノ御  
話デ、何ガヲカシイカ私ニハ分ラヌ、斯ウ云フ状態ニ目下ナツテ居ルノデア  
リマスカラ、ドウカ諸君ハ憫ムベキ青森地方ノ窮民ノ情ヲ御察シニナリマシ  
テ、何卒少數意見ノ如ク、即チ衆議院カラ回ツテ居リマス地租免除ニ御同意  
アラムコトヲ偏ニ私ハ諸君ニ向ツテ懇願ヲ致スノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 若槻大藏次官

〔子爵谷干城君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 唯今、若槻大藏次官ガ發言ヲ…

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 段々原案ニ御賛成ノ御意見ガアリマス故ニ、政  
府デ原案ニ御同意申上ゲヌデ居ルコトニ付イテ一言イタシタイト思ヒマス、  
元來災害ノアツタ場合ニ殊ニ頻繁ニ災害ヲ受ケタ地方人民ニ對シテ租稅ヲ免  
除シテヤルト云フ事柄ハ如何ニモ氣ノ毒ナ人民ニ對シテ救濟ヲ與ヘルト云フ  
コトデアリマスカラ、ソレニ向ツテ不同意ヲ申上ゲルト云フト人情ヲ解シナ  
イガ如ク御考ヘニナルカモ知レマセヌガ、併シ此稅法ノ問題ト云フモノハ又  
一方ニ於テハ十分諸種ノ關係ヲ考ヘナケレバナリマセヌノデ、ソレ故ニ政府  
デハ不同意ヲ申シテ居ル次第デアリマスカラ、其點ヲ簡單ニ申上ゲタイト思  
ヒマス、從前收穫ノ多少ニ依テ租稅ノ增減ヲシテ居リマシタ時ニ於テナラバ、  
凶歲ガアリマシタトキニ稅制デ減免スルト云フコトハ當然デアリマス、歴史  
モ屢々減租ノコトナドガ書イテアリマスノハ、租稅ヲ取ルノニ收穫ノ多少ニ  
依ツテ取ルト云フトキニ於テハ、ドウシテモ、サウナラナケレバナラヌコトデ  
アリマス、今日ノ稅制ハ收穫ノ多少ニ依ツテ稅ヲ取ツテ行クト云フコトノ弊ニ  
堪ヘズシテ、凶歲、平年、豐年、均ラシタ所定メテ、ソレニ據ツテ稅金ヲ  
取ツテ行カウト云フノガ是ガ地租改正ノ大方針ニナツテ居リマスノデ、ダカラ  
モ無カツタカト申上ゲルト云フト、サウデハアリマセヌノデ、サウ云フ場合ニ  
ハ租稅ノ延納ヲ許シテ凶作ノ時ニ稅ヲ納メズニ置イテ、豐年ノ時ノ餘裕ヲ以  
テ租稅ヲ納メルト云フ救濟法ニナツテ居リマシタ、其後、備荒儲蓄法ト云フモ  
ノガ出マシテ、地租ノ延納ト云フコトハ止メテ、更ニ斯ウ云フヤウナ時代ニハ

政府カラ租税ヲ貸與ヘルシ、貸與スルト云フコトニナッテ居リマス、地租ヲ  
貸與シテ納メサセル、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、地租ヲ今貸シテ置イテ先  
キニ取ルト云フノデアリマスカラ、延納スルト云フコトト同ジコトニナルノ  
デアリマス、ソレデ凶歳ナドニ於ケル租税ノ救濟ト云フコトハ濟ンデ參ッテ  
居ッタノデアリマスガ、先年明治二十九年ニ全國ニ大ナル水害ノ有リマシタ  
時カラ、初メテ此特別免租法ト云フ法案ガ出マシタガ、併シ此特別免租法ニ  
ハ既ニ御承知ニナッテ居ル如ク、甚ダ弊害ガ有ルノデアリマス、コレノ施行上、  
官民ノ間ニ争ヒノアルコトハ勿論ノ話デアリマス、其上ニ詰リ免租ノ高ガ豫  
期シタヨリ非常ナ高ニ上ボルト云フコトハ、是マデ何回モ特別免租法ガ成立  
イタシマシタ時ニ御承知ニナッテ居リマス通リデアリマス、ソレデハ、ドウシ  
テモ此場合ニ處スル善良ナル救濟法デ無イト云フコトデ、ソレデ前年凶作ノ  
際ニ政府デ延納規則ト云フモノヲ作ラレテ、緊急勅令デ設ケマシテ延納ニ依ッ  
テ救濟ヲ與ヘルト云フコトニ致シタ所ガ丁度先キホド西村サンノ御述ベニナ  
リマシタ如ク、其承諾ヲ求メマス際ニ衆議院デハ却テ免租法案ヲ起草セラ  
レタノデアリマス、併シ其免租法案ハ當院へ參リマシテカラ矢張リ免租ニ依ッ  
テ救濟ヲ與ヘルコトハ適當デナイト御認メニナッテ、今日ノ延納法ガ當院ノ  
御修正ニナッテ出來タ關係ニナッテ居リマス、政府デハモト々從來ノ特別免  
租法ノ弊ニ堪ヘズシテ延納規則ヲ出シマンタ、其延納規則ノ趣意ト同ジ延納  
法ト云フモノガ當院ノ御修正ニ依ッテ出來タモノダカラ、是ガ即チ此場合ニ處  
スル最モ適當ナ案ト信ジテ居ル次第デアリマス、ソレデ租税ガ其時ニハ二箇  
半デアッタ、今日ハ五分半ニナッテ居ル、ソレカラ事情ガ違フト云フヤウナ御  
論モ有リマスヤウデアリマスガ、併ナガラ政府デ初メ案ヲ設ケマシタ時ニハ  
三年間ノ延納デアリマシタケレドモ、當院ニ於テハ十年間ニ延納スルト云フ  
御修正ニナッテ居リマスカラ、此點ニ於テモ納メ易イヤウニ規則ガ出來テ居ル  
ト申上げテ宜カラウト思ヒマス、ソレカラ先年、災害ノ時ニ延納法アルニモ  
拘ラズ免租法案ニ政府ガ同意シタノデハナイカト云フコトデアリマス、サウ  
シテ戰爭ガ有レバ同意ラスル、戰爭ガ無ケレバ同意シナイト云フ理由ガ無イ  
ト云フ御言葉ガ有ツタヤウニ思ヒマスガ、前年免租法案ノ衆議院ノ提出ニ對シ  
テ政府ハ已ムヲ得ナイモノデアルトシテ同意イタシマシタコトハ、丁度御述  
ベニナル如ク三十八年ニハ全國ノ壯丁ガマダ戰場ヘ行ッテ居ルト云フヤウナ  
關係ニナッテ居リマシテ、耕作ニ從事スルコトガ出來ヌ、天候ノ不良ニ加ヘテ

天然ノ災害ニ加ヘテ、又壯丁ガ戰場ニ行ッタト云フヤウナ特別ナ事情ガ有ル、  
其際ニ免租ヲシナケレバイクマイト云フ御論ノ時ニ、根本法ハ有リマスケレ  
キニ是ハ特別ノ事情ヨリ成ルノデアル、ソレナラバ已ムヲ得ズ御同意スル外、  
仕方ガ無イト云フノデ、先年ハ御同意申上ゲタノデ、今日之ニ不同意ヲ唱ヘル  
ノハ強ヒテ今年ノ災害民ニ特ニ惡ルクスル意思デ言フノデハアリマセヌガ、  
今年カラドウカ此根本法ニ據リタイノデアル、昨年ハ已ムヲ得ズ御同意ヲ申  
上ゲタケレドモ、根本法ヲ置キナガラ更ニ他ノ法規ヲ作ラレルト云フコトデ  
ハ根本法ノ有ル趣意ガ立タヌコトニナリマスカラ、ソレデドウゾ此根本法デ  
實行ノ出來得ルトシタナラバ根本法ヲ適用シタイト云フノガ政府ノ考デアリ  
マスカラ、誠ニ災害ヲ受ケタ人民ニ對シテハ氣ノ毒ナ場合ガ生ジテ本案ニ付  
イテ反對ヲ申上ゲルト云フコトハ心苦シイ譯デアリマスガ、道理ガ左様アル  
トスレバ此道理ニ從フ外、仕方ガ無イノデアリマス、政府ノ考デアリマスカ  
ラ此コトヲ一言申上ゲマス

○男爵伊達宗敦君 チヨット質問ヲ致シマス、唯今政府委員ノ御述ベノ中ニ  
昨年ハ如何ニモ私ノ述ベタヤウニ戰爭中デアル、壯丁ガ戰地ニ多ク赴イテ居  
タカラ已ムヲ得ヌト云フ事情ガアル、斯ウ云フコトニ裏カラ考ヘルトスウ云フ  
壯丁ナル者ハ其地ニ居ルノデアル、斯ウ云フコトニ裏カラ考ヘルトスウ云フ  
コトニナル、ソレデ政府委員ノ今述ベタ言葉ニ依ッテ考ヘテ見ルト、三十八  
年ノ時ニハ壯丁ガ戰地ニ行カズシテ若シ其土地ニ居ツタモノナラバ、ア、云フ  
慘害ハ來ナカッタノデアルト、斯ウ云フ意味デアルガ、一體天候ノ不良ニ依ッ  
テ來タ所ノ凶作ト壯丁ノ在不在トハ如何ナル關係ヲ持テ居ルモノデアルカ、  
能ク分ラヌカラ、モウ一遍説明ヲ願ッテ置ク

○政府委員(若槻禮次郎君) 昨年ノ所デハ東北地方ハ大變天候ガ不良デゴザ  
イマシタ、ソレデ非常ニ慘害ナル凶作ヲ來タシマシタ、其天候ノ不良ノ際ニ  
殊ニ又加ヘテ耕作ニ從事スベキ壯丁ガ、普通ノ徵兵ニ取ラレルミリモ以上、  
非常ニ澤山、戰地ニ出陣スルト云フヤウナコトデ、耕作ニ從事スルコトガ出  
來ナカッタ、天候ノ惡ルイ時ニハ、セメテ人工デモ之ヲ補フト云フコトデ、成  
ルベク災害ヲ輕クスルヤウニ務ムベキガ當リ前デアルノニ、人爲デ務メル方  
ノ力ガ戰地ニ行ッテ居ッタ爲ニ少カッタト云フ、誠ニ掬スベキ諒スベキ事情ガア  
シテ、ソレデ昨年ハ御同意申上ゲタト、斯ウ云フ譯デアリマス

縷々ト實地ノ事情ヲ御陳述ニナツタ其中ニ、殆ド千人バカリノモノガ死ニ瀕シテ居ル、粟ヤ稗ヤ芋ノ皮ノヤウナモノヲ食ベテ漸ク凌イデ居ルト云フコトデアル、私ハ福島ノ饑饉ノ時分ニハ段々諸方カラノ寄附金ヤナドモ集マツテ、段々救濟ノ方法モ立ツタト云フコトヲ聞イテ安心シタガ、青森ノ方ハ救助ノコトハドウ云フ風ニシタ積リデアルカ、實ニ芋ノ皮ヤ稗ヤデ、ヤウノヽ凌イデ居ルト云フノヲ見テ居ラルルト云フコトハ無イト思フ、其救濟ノ方法ハドウ云フ方法ニナツテ居ルカ、御扱ヒノ所ヲ伺ヒタイ

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 唯今ノ御質問ハ所管ガ内務省デアリマスカラ、内務省ノ委員カラ答ヘル方ガ相當デアリマスガ、丁度折惡シク茲ニ内務省ノ委員ガ出テ居リマセヌカラ、私カラ御答イタシマス

〔内務大臣ガ居ラレマスト呼ブ者アリ〕

私ノ承知シテ居ル所デハ窮民ガ路頭ニ迷ウテ居ルト云フヤウナ狀態デハナイト思ヒマス、芋ヲ食ベテ居ルトカ稗ヲ食ベテ居ルトカ云フコトハアルカモ知レマセヌガ、是ハアノ地方ノ或ル所デハ常食ニシテ居ル所モアリマスガ、ソレ程ニ酷イ狀態ト云フコトハ、大藏省デハ報告ヲ得テ居リマセヌ、罹災救助基金法ニ依ツテ縣當局者ハ種類ヲ買ッテ昨年出來ナカツタ地方ニ散布スルヤウナ方法ヲ講ジテ居リマスカラ、今年ノ作柄ニ對スル種ニ要スルモノハ供給ノ出來ヌヤウナコトハナイヤウニ政府デハ方法ヲ講ジテ居リマス

○男爵伊達宗敦君 チヨット質問ガアリマス、餘り事、枝葉ニ涉ルカラ度々言フモ如何ト思ヒマスガ、若槻大藏次官ノ唯今本員ノ問ニ對シテノ答ハ少シモ要領ヲ得ナイト思フ、寧ロ自ラ矛盾シタコトヲ述べテ居ラレル、其譯ハ無論天候ガ不良デアルケレトモ、多少人工ヲ加ヘテ以テ收穫ヲ助ケルト云フコトヲ述ベラレタ、然ラバ三十八年ノ時ニハ人工ヲ以テ耕作ヲ助ケ得ル壯丁ガ居ナカツタカラデアル、斯ウ云フコトニナル、所ガ三十九年ニハ其壯丁ガ居サヘモ尙ホ斯ノ如キ凶作ヲ來タスコトニナツタト云フコトハ全ク是ハ人工ニ依ツテ救ヒ得ベカラザル天災デアル、全體昨年ノ委員會ニ於テハ、若槻政府委員モ同意ヲ表セラレテ居ルノニ、今年ハ何ノ意カ如何ナル譯カ、慘酷極マルコトヲ言ハレル、大藏大臣モ居ラレルケレドモ、是ハ實ニ慘酷極マル譯デ、先刻モ述ベタ通り千有餘ノ人間ガ死ニ瀕シテ居ルノニ、ソレヲ救ハヌト云フノハ實ニ慘酷ナ政府デアルト云フコトヲ茲ニ明言シテ置キマス

○子爵谷干城君 之ヲ多數デ御決メニナツタ、即チ衆議院案ヲ潰スト云フ方ノ委員ノ御方ガドナタカ御登壇ニナツテ、十分其意見ヲ御述ベニナルコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 採決イタシマス、本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○子爵谷干城君 チヨット伺ヒマス、モウ一ツ明瞭ニ…

○議長(公爵德川家達君) 少數ト認メマス

○子爵谷干城君 モウ一ツドウゾ…甚ダ…

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ反対ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマセウ

○子爵谷干城君 チヨット伺ヒマス、モウ一ツ明瞭ニ…

○議長(公爵德川家達君) 起立者…

○議長(公爵德川家達君) 甚ダ不明瞭デアリマスカラ、氏名點呼ヲ行ヒマス、念ノタメ諸君ニ御注意イタシマスガ、本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ハ賛成、第二讀會ニ移スベカラズトスル諸君ハ反対ト御述ベヲ願ヒマス…是ヨリ氏名點呼ヲ始メマス

○議長(公爵德川家達君) 氏名點呼ノ結果ヲ御報告ニ及ビマス、出席總數二百、第二讀會ニ移スベキトスル者七十五、第二讀會ニ移スベカラズトスル者百二十五、本案ハ否決セラレマシタ、此際伊達男爵ニ申シマスガ、明治三十年法律第二十七號中改正法律案ノ特別委員會ノ經過結果ヲ御報告漏レニナツタト云フコトデアリマスカラ、此際御登壇ヲ願ヒマセウ

○男爵伊達宗敦君 是カラデ宜シウゴザイマセウカ

○議長(公爵德川家達君) 御登壇ヲ願ヒマセウト申上グマシタ

〔男爵伊達宗敦君演壇ニ登ル〕

○男爵伊達宗敦君 「明治三十四年法律第二十七號中左ノ通り改正ス、第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ、本法ニ依リ免除シタル地租ハ法律上總テノ納稅資格コトヲ言ハレル、大藏大臣モ居ラレルケレドモ、是ハ實ニ慘酷極マル譯デ、

○鳥越貞敏君 私ハ委員ノ一人デアリマスル、就キマシテハ此法案ノ少數意

見ヲ提出シテ居リマスル、之ニ就イテ極簡單ニ一應自分ノ意見ヲ兼ネテ申上  
ゲタイト考ヘマス、デ此法案ハ明治三十四年法律第二十七號、即チ水害地租免  
除法ノ中ヘ「本法ニ依リ免除シタル地租ハ法律上總テノ納稅資格中ヨリ控除  
セス」ト云フ項ヲ加ヘルト云フノデアリマスガ、就キマシテ唯今マデ一般ノ災  
害ニ付イテ免租ヲスルト云フコトニ出マシタル所ノ法案ガ種々アリマスルガ、  
今其種類ヲ大略舉ゲテ見マスルト、明治三十一年法律第二十六號水害地方地  
租特別處分法、同ク三十二年法律第十三號水害地方地租特別處分法、同年法律  
五年法律第二十五號蟲害地地租特別處分法、同年法律第二十二號水害地方地  
租特別處分法、及三十九年法律第十號災害地方田畠地租免除ニ關スル法律、斯ノ  
如キ災害免租ニ關スル所ノ法律ノ中ニハ其年分ニ限テ免除シタル所ノ地租  
ハ法律上總テノ納稅資格中ヨリ控除セズト云フ明文ガアリマス、然ル所ガ本  
案ノ即チ明治三十四年法律第二十七號水害地方田畠地租免除ニ關スル此法律  
中ニハ此明文ガ無イノデアリマス、デソレガ爲ニ種々ナ紛議ヲ地方ニ起シタ  
コトガアリマシテ、現ニ唯今マデ明治三十一年法律第二十二號及明治三十二  
年法律第十三號ノ水害田畠地租處分法ト云フヤウナモノニ就イテ處分サレテ  
居ル所ノモノハ總テ其納稅資格中ヨリ控除セヌコトニナツテ依然トシテ資格  
ヲ持來ツタノデアル、然ル所ガ其後、制定サレマシテ永久ニ据置カレル所ノ此  
明治三十四年法律第二十七號ノ水害ノ免租ノ法ニ依テ處分サレタルモノハ、  
此納稅資格中ヨリ控除スルト云フコトニナツテ居ルノデアリマシテ、  
ソレガ爲ニ非常ノ紛議ヲ起シマシテ、今マデハ控除セズニ依然資格ノ有<sup>ツ</sup>  
タモノデアルカラ、此度モ矢張リ免租ノ恩典ハ受ケテモ其資格ノ控除ニナル  
コトハアルマイト云フ所デ、郡役所ヘ抗議ヲ申込ンダ所モアリマス、ソレガ爲  
ニ郡役所デハ唯今マデ控除セズシテ資格ヲ持ッタモノデアリマスカラ、其方  
針ヲ執ツテヤッタ所モアル、又申込ラシナイ所ノ郡役所ハ矢張リ此法律ニ明文  
ガ無イカラ資格ヲ控除シテ、無資格ト云フヤウナ方針ヲ執ッタ所モアリマス、  
デ此間違ノ結果ト云フモノハ元ガドウ云フ所カラ出タカト私ガ想像シマスル所デハ  
總テノ災害ノ法案ハ衆議院ノ提出ニナツテ居リマス、トヨロガ單リ此二十七  
號ノミガ政府ノ提案デアリマシタカラ、其際ニ政府ハ殊更ニ此條項ヲ削除シ  
テ發案セラレタモノデアラウト云フ考デアリマス、就キマシテハ政府及反對  
者ノ御意見ハ如何デアルカト見マスレバ、詰リ地租ヲ免除サレタル者ガ其免

除サレタルダケノ地租納額ヲ實際納メズシテ其資格中ニ算入スルト云フヤウ  
ナコトハ理窟上甚ダ穩當デナイト云フ御議論デアリマシテ、簡單ナ理由デア  
リマス、併ナガラ此水害或ハ其他ノ害ニ於テ收穫皆無トナツタト云フモノハ  
自己ノ惰慢ニ依ツテ決シテ斯ノ如キ結果ヲ來タシタノデハアリマセヌ、全ク  
農民ハ朝カラ晩マデ孜々汲々トシテ働イタ後、イザ收穫ト云フ場合ニ至<sup>ツ</sup>テ  
天變地異ノ災害ニ依ツテ皆無トナルト云フヤウナ、實ニ悲慘ナ境遇ニ沈淪シ  
テ居ルノデアリマス、ソレデ其情狀ト云フモノハ實ニ懲ムベキモノデアリマ  
ス、斯ノ如キ悲境ニ沈淪シテ居ル所ノ人民デアレバ、其地租免除ノ恩典ヲ  
蒙<sup>ツ</sup>テ、假令ヒ納稅セザルニモセヨ、ソレダケノ地所ノ所有者デアルト云フコ  
トガ確實デアル以上ハ、十分其事情ヲ酌量シテ其資格中ヨリ控除セズシテ依  
然トシテ總テノ選舉資格ヲ與ヘテヤルト云フノガ即チ國民相憐ムノ趣意デハ  
ナイカト私ハ考ヘマス、況ヤ前申上ゲマシタル所ノ同種類ノ總テノ法律中ニ  
ハ此條項ガ總テ載ツテ居ルノデアリマス、是ガ若シ載ツテ居ラヌト云フコトデ  
アツタナラバ或ハ御議論モ之ニ付イテハアルカモ知レマセヌケレドモ、他ノ  
モノニハ載ツテ居ッテ是レヒトリ載ツテナイ爲ニ、是ハドウモ理窟上控除セヌト  
云フ譯ニハイカナイト云フ議論ハ甚ダ了解ニ苦ムノデアリマス、且又一時的  
ノ法律デアルカラ是ハ控除シテモ宜シイ、控除セヌ或ハ永久的据付ノ法律デ  
アルカラ資格中ヨリ控除スルトカ云フヤウナ區別ガアラウ筈ガ無イト思フノ  
デアリマス、却ツテ永久的ノ法律ニ處分サレルト云フヤウナ不幸ノ人民デア  
レバ、尙サラ同情ヲ寄セテ、サウシテ之ニ選舉等ノ資格ヲ與ヘルト云フノガ是  
ハ至當ノコトデアラウト私ハ考ヘルノデアリマス、ソレデ本案ハ又此歲入豫  
算ニ關係スル案テハ決シテ無イノデアリマス、單ニ是ハ控除スルカ、セヌカ、  
或ハ農民ニ恩澤ヲ與ヘルカ、與ヘヌカ、ト云フ此ニ止マルノデアリマシ  
テ、決シテ豫算等ニ關係スルノデモアリマセズ、前後矛盾スルノハ之ヲ入レ  
レバ矛盾シナイコトニナルノデアリマスカラ、其點ハドウシテモ入レタ方ガ  
至當デアラウト考ヘマス、又政府委員ノ御答辯ヲ伺<sup>ツ</sup>テ見マスルト云フト、  
此衆議院ノ委員會ノ速記錄ニ依リマスレバ、大藏省ノ政府委員ガ種々辯明セ  
ラレタル最後ノ結末ニ斯ウ云フコトヲ言ウテ居ラレル、「併ナガラ之ニ付イテ  
大藏省ノ政府委員トシテ強ヒテ反對スルト云フ考ヘモアリマセヌ」と言ウテ  
居ラレマス、又内務省ノ政府委員モ首藤陸三君ノ言葉ノ中ニ「此改正案ニ不  
同意デハナイト云フコトハ茲ニ表白シテ置キマス」と云フコトモ言ウテアリ

マスカラ、政府ニ於キマシテモ此法案ニ對シテハ強ヒテ反対スルト云フ譯デハ無イ、又不同意デ無イト云フコトデアリマスルカラ、サウシテ見レバ已ムヲ得ズ賛成シ、又不同意デ無イト云フ以上ハ同意スルト云フ御意見デアルカニ承リマスカラ、前ノ案トハ是ハ關係ヲ有シテ居ラヌ案デアリマスカラ、單ニ之ヲ入レナイト云フト矛盾スルト云フコトニナリマスルカラ、是非諸君ニ於テモ原案ニ御賛成アラムコトヲ希望イタシマス、此段ヲ……

○伯爵正親町實正君 私ハ委員長ニ少シ質問ガゴザイマス、唯今委員長ノ御報告デ本案ヲ否決シタト云クコトヲ承リマシタガ、其否決ノ理由ハ拜聴シマセヌカラ、少シ本員ハ贊否ニ苦ミマスカラ、コレハドウ云フ理由デ否決サレタガ、其理由ヲ單簡デ宜シウゴザイマスカラ伺ヒタウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 委員長ハ退席サレテ、居リマセヌカラ……

○伯爵正親町實正君 委員長ガ居ラレマセヌケレバ、委員ノ中ノ御方デモ宣シウゴザイマス

○鳥越貞敏君 唯今委員長ガ退席シテ居リマスカラ、今ノドウ云フ譯デ否決ヲシタカト云フ御間ヒデアリマスルカラ、私ノ知ッテ居ルコトダケヲ御答ヘヲスル考デアリマスガ、今モ演壇デ述ベマシタ通り此免除サレテ居ル所ノ金額ヲ實際納稅セザルニ其資格中ノ金額ニ算入スルト云フノハ理窟上ニ於テ甚ダドウモ其當ヲ得ヌト云フダケノ簡単ナ理由ニ止マツテ居ルヤウニ考ヘマス、此段ヲ……

○伯爵正親町實正君 唯今、否決ノ理由モ極簡單デゴザイマシタガ、一應分リマシタ、本員ハ此案ニ對シマシテハ唯今少數意見ヲ鳥越君カラ縷々述ベラレマシタ理由ニ依ツテ是ハ矢張リ控除シナイト云フコトガ穩當デアルト思ヒマス、段々是マデ單行法律ノ上ニ於テモ、斯ウ云フ例モアリマスカラ、權衡ヲ保ツ上ニ於テ却ツテ原案ノ方ガ穩當ト思ヒマスカラ、本員ハ此原案ヲ贊成イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 採決ヲ致シマス、本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○鳥越貞敏君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ……

〔賛成ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 直ニ第二讀會ヲ開クト云フ、鳥越君ノ動議ニハ賛成者ガアッタヤウデアリマスカラ、問題ニ供シマス、直ニ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長公爵德川家達君 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直ニ第二讀會ヲ開キマス、特別委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ガアリマスト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 是ハ誤リマシタ、原案御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、是デ第二讀會ハ終ハリマシタ

○鳥越貞敏君 引續イテ第三讀會ヲ開カレムコトヲ……

〔賛成ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 鳥越君ノ直ニ第三讀會ヲ開クト云フ動議ニハ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、本案ハ確定イタシマシタ

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十八、裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年三月二十六日

右特別委員長  
子爵持明院 基哲

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ以上ト認メマス、原案御異存ゴザイマセヌ  
カ

貴族院議長公爵德川家達殿

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○子爵持明院基哲君 本案ノ特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報道イタシマス、委員ハ昨二十六日午前ニ集會イタシマシテ、正副委員長ノ選舉ヲ行ヒ、

引續イテ會議ヲ開キマシタ、本案ハ極簡單ナ案デアリマシテ、大體ヲ申シマスルト、靜岡地方裁判所管内掛川區裁判所管轄遠江國榛原郡中川根村及上川根村ヲ同地方裁判所管内藤枝區裁判所ノ管轄ニ變更イタスノデアリマス、兩村ヨリ掛川裁判所ヘハ最近ノ距離ガ十四里バカリアリマシテ、藤枝裁判所ヘハ最近距離ガ十二里デアリマス、其差ハ僅ニ二里バカリニ過ギマセヌガ、便利ノ點ハ登記所ニ近クナルコトデアリマス、從來登記ヲ致スニハ十里以上モアル金谷マデ行ッテシナケレバナラナンダガ、本案ガ通過イタシマスレバ僅カ川向ノ德山ニ於テ登記ヲ致スコトガ出來マスノデアリマス、兩村民ノ便利ヲ得ルト云フコトハ言フマデモナイコトデ、且ツ村民ヨリ請願モ出テ居ルコトデゴザイマス、政府モ之ニ同意デアルト云フコトデアリマシタ、別段委員會デハ議論無ク全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ次第デアリマシタ、右御報告ニ及ビマス、此案ハ前申シマシタ通り極簡單ナ案デアリマシテ、明瞭ナコトデアリマスカラ、讀會ヲ省略シテ直チニ可決アラムコトヲ諸君ニ希望イタシマス

○子爵大田原一清君 讀會省略ニ賛成

○宮崎喜久太郎君 賛成

○子爵本多忠敬君 賛成

○伊澤修二君 賛成

○男爵赤松則良君 賛成

○子爵高野宗順君 讀會省略ニ賛成

○南郷茂光君 賛成

○子爵山本實庸君 賛成

〔其他「賛成」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 讀會省略ノ動議ニハ定規ノ賛成者ガアツタト認メマス、讀會省略ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

貴族院議長公爵德川家達殿

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、是デ本案ハ確定イタシマシタ

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十九、治安警察法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

右否決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年三月二十六日

治安警察法中改正法律案

右特別委員長

侯爵德川 賴倫

貴族院議長公爵德川家達殿

〔侯爵德川賴倫君演壇ニ登ル〕

○侯爵德川賴倫君 唯今議題ニナリマシタル治安警察法中改正法律案ノ特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告イタシマス、委員會ハ二回開キマシテ、第一回ハ一昨二十五日ニ正副委員長ノ互選ヲ行ヒマシタ、二回ハ昨二十六日ノ本會散會後ニ開キマシタ次第デゴザイマス、此案ハ既ニ諸君モ衆議院ノ速記録ニ依テ御承知ノ通り、治安警察法第五條ノ第二項ニ「女子及未成年者ハ公衆ヲ會同スル政談集會ニ會同シ若ハ其ノ發起人タルコトヲ得ス」ト云フ條項中ノ「女子及」ノ三字ヲ削ルト云フノデゴザイマス、其理由ハ衆議院ノ速記録ニ依リマシテ大體ヲ申上グマスレバ、女子ハ從來政談集會ニ會同スルコトモ出來ズ、尙ホ政談演說會ヲ聽クコトモ出來ナイノデアルガ、今日ハ帝國議會ノ議事ヲ傍聴スルコトモ出來ルヤウニナツテ居リ、又隨分女子トシテハ是カラ之ヲ聽クト云フ必要モアツテ、之ヲ聽イタカラ強チ危険ト云フ程ノ今日、女子ハ不能力ノモノデハナイカラ、詰リ今日デハ知識思想モ大ニ發達シテ居ルカラ、東洋一般ノ舊習ヲ破ツテ我ガ國ノ婦女子ニ自由平等ノ空氣ヲ吸ハセルヤウニシタイト云フ所カラシテ、此三字ヲ削ルト云フノニ外ナラヌヤウデゴザイマス、委員會ニ於キマシテハ本案ニ對スル第一ニ政府ノ意見ヲ求メマシタ所ガ、政府デバ絕對ニ之ニ反対ノ意見デゴザイマス、其意見ノ大意ヲ申シマス

レバ唯今申シマシタ通り「女子及」ノ三字ヲ削ッテ、政談集會ニ會同シ又ハ發起人タルコトヲ許シタナラバ、女子ノ淑徳ヲ失シ、無論延イテハ家庭及親屬間ノ圓滿ヲ缺イテ、主婦トシテ一家ヲ經營シナケレバナラヌ任務ガアリナガラ、之ニ餘リ政治思想ヲ發達セシメタナラバ、夫ト妻トノ間ニ意見ノ衝突ガアリ、其衝突ノ爲ニ第一ニ家庭ノ圓滿ヲ維持スルコトガ出來ヌ上ニ、又兒童ノ教育上ニモ常ニ多數ノ害ヲ及ボスコトニナルデアラウ、又女子ニ政治思想ヲ與フルノ利益ヲ以テシ女子ニ政治的自由ヲ存スルノハ是ハ却ッテ害ノ多ク生ズルコトデアラウカラ政府之ニ反對スルノデアルト云フコトヲ申サレテ居リマシタ、委員會デハ別段之ニ付キマシテ質問ハゴザイマセヌ、一二ノ質問ガゴザイマシタガ、直ニ討議ニ移リマシテ一二ノ賛成ノ意見ヲ述ベラレタ方モゴザイマシタガ、多數ハ反對ノヤウデゴザイマシタ、其意見ノ即チ贊成ノ意見ヲ一ツ申シマスレバ、日本ノ女子ノ美德トスル所ハ、女子ハ家庭ニ在ツテ、家ニ在ツテ家庭ヲ調理シ、以テ夫ノ業務ヲ援助シ、夫ヲシテ内顧ノ憂ヲ無カラシムルノデアル、彼ノ三十七八年戰爭ニ於テ我が國ガ大勝利ヲ得タト云フモノハ、畢竟唯今申シタ女子ノ美德ニ存スル所以デ、之ニ加フルニ大和魂ト相並行シテ日本特長ノ美トシテ誇ルベキモノデアル、若シ女子ニ政治的ノ自由ヲ與フルトキニハ政府委員ノ陳述セラレタル如ク家庭及親戚間ノ圓滿ヲ缺クノミナラズ、女子ノ美德ト云フモノハ遂ニ破壊セラルルノデアル、又若シ之ヲ許シタナラバ遂ニハ選舉權ヲ享有スル本ヲ造ルヤウナモノニナルノデアルカモ知レヌ、若シ之ヲ許シタナラバ彼ノ當時英國ニ於テ一般女子ニ政治的自由ヲ許シテ居ツタ今日ハソレガ進ンデ、選舉權ヲ享有シヤウト云ツテ、再三再四議會ニ請求ヲシテ殆ド强迫シテ居ル、所ガ警察官ノ手ニ依ツテ漸ク之ヲ退場セシメタルト云フ事實ガ今日有ルカラ、斯ノ如クナツテ見ルト前ノ女子ノ美德ト云フモノハ遂ニ破壊スルヤウニナルカラ、此案ニハ反對スルノデアルト云フ話デゴザイマシテ、又贊成ノ方ノ御意見ノ大要ヲ申シマスレバ、現行法ノ下ニ女子ニ議會及裁判等ノ傍聽ヲ許シテ居ルハ畢竟政治的意味ヲ有スル爲デアッテ、本案ハ其趣味ヲ享有セシメテ擴張シャウト云フノニ過ギナイノデアルカラ、此點ニ於テ女子ノ美德ヲ缺クト云フコトハ、今日女子ガ政治的利害、社會的活動ヲ有セルニ照合シテモ、敢テ反對者ノ言ハレタ如ク害ハ無ク、女子ニハ夫其他ノ監督者ガアッテ是等ノモノノ許可ヲ得ルニ於テハ家庭ノ圓滿ヲ缺クコトハ無ク、又選舉權ヲ云々セラルルケレ

ドモ是ハ別問題デアルカラ、之ニ對シテハ…假ニ又若シ選舉權ニ付イテ心配セラルルナラバ方法ヲ講ズル手段モアラウ、是ハ要スルニ女子ニ斯ノ如キ自由ヲ許スノハ時勢ノ要求デアルカラ許シテモ差支ナカラウト云フ大意デゴザイマシタ、其他格別ノ御意見モゴザイマセヌデゴザイマシタノデ、採決ヲ致シマシタ所ガ、ニニ對スル五ノ多數ヲ以テ委員會デハ本案ヲ否決イタシマシタ次第デゴザイマス、附加ヘテヨット一言申上げテ置キマスガ、此案ハ唯今申上ゲタ通り「女子及」ト云フ三字デ、極表面カラ見マスレバ簡単ナルヤウデゴザイマスガ、大要ヲ申シマスルト、ナカ／＼三字ト云フ容易イ案デハ無カラウト存ジマス、ト申シマスルノハ是ハ本員ガ申スマデモナク、皆様ノ御承知ノ通リ此案ハ社會ノ單位トモナルベキ家庭ニ深イ關係ヲ持ツテ居リマスシ、尙ホ進ミマシテハ國家、社會ニモ隨分關係ノ深イ、ナカ／＼輕視スベカラザル問題ト存ジマスルカラ、私ハ不慣レデ報告モ十分ニハ申シテ居リマセヌデアッタカ存ジマセヌガ、不慣レヲ顧ミズ一應委員會ニ於テノ贊否說ヲ御報告イタシタ次第デゴザイマス

### ○鎌田榮吉君 意見ヲ述ベマス

〔鎌田榮吉君演壇ニ登ル〕

○鎌田榮吉君 唯今、委員長ノ御報告ニ依リマシテ此治安警察法改正案ノ經過ヲ承知イタシマシタ、モト此法律ハ女子ノ權利ノ一部分ヲ奪ツテ居ルモノデアルト本員ハ考ヘマスノデ、例ヘバ女子ニ選舉權ヲ與ヘルト云フヤウナ積極的ノ問題トハ事變ハリマシテ、女子ニ向ツテ政社ニ加入スルコトガ出來ナイ、或ハ政談演説ニ關スルコトガ出來ナイト云フコトヲ殊更ニ禁止スルト云フ理由ハ萬々無イコト考ヘルノデアリマス、成ルホド此女子ノ美德、淑徳ヲ貴ブコトハ本員ト雖モ如何ニモ御同感デアリマシテ、必シモ婦人ガ政治ニ狂奔スルトカ、或ハ戸外ノ事ノミニ奔走シテ少シモ家庭ノ事ニ努メナイナドト申スコトハ甚ダ宜シクナイコトト本員モ考ヘルノデ、併ナガラ是ハ人々觀ル所デアリマシテ、全ク此德教、德風即チ風教上ノ問題デ、成ルベク婦人ハ優美ニ育テヌケレバナラヌ、或ハ人々妻タル者ハ内助ニ盡サヌケレバナラヌト云フコト全ク關係ノ無イコトト思フ、又今日此禁止ヲ廢シマシタガ爲ニ、女子ガ俄ニ政談演説ヲシタリ、政談演説ヲ聽キ、或ハ其他政社ニ出入シテ狂奔スル者ガ有ルカト申セバ、ソレハ決シテ事實ニ於テハ無イノデ、無イガ故ニ此禁止法ガ在ツタカラ、云ツテモ何モ差支ナイデヤナナイカト、斯ウ簡

單ニ申セバ、ソレマデアリマスケレドモ、成ルベク此人ノ行動ノ自由ヲ束縛シナイト云フコトガ憲政ノ趣意デアリマスカラシテ、徒ニ女子ハ政社ニ出入スルコトハ出來ナイ、政談ヲナスコトガ出來ナイト云フコトノ法令ヲ設ケテ置クコトハ甚ダ面白クナイト云フコトヲ御考モアルカモ存ジ演説トカ申セバ兎角官民ノ衝突甚シク、政府ヲ顛覆スルトカ種々熱狂ナル騒ヲシタコトガゴザイマス、其際ニ政府ハ往々此法律ヲ設ケテ成ルベク政治ニ關スル所ノ範圍ヲ狹クシヤウト云フコトヲ務メタ、例ヘバ學校教員ハ政治ニ關スルコトハ出來ナイ、或ハ教導職ハ政治ニ關スルコトハ出來ナイ、女子ハ出來ナイ、未成年者ハ出來ナイ、成ルベク範圍ヲ縮メタ所ノ其精神ガ矢張リ今日マデ因襲シテ、矢張リ此法文ニモ遺ツテ居ルコトヲ務メタ、例ヘバ學校教員ハ政治ニ要求ニ從ツテ是等ノ箇條ハ除キマシタ方ガ穩當デアラウト考ヘマスノデ、成ルホド未成年者ハ此政治ニ關スルコトヲ禁ズルノハ、是ハ當然ノコトデ、未ダ獨立ノ考ノ無イ者、一箇ノ人間ト成ラナイ所ノ者デアリマシテ、此國家ノ政治ニ喙ヲ容ル所ノ資格ハ無イ、是ハ即チ全體ノ害ニモナリ又本人ノ爲ニモ宜シクナインデアリマスガ、婦人ト未成年者ハ常ニ同一視スルト云フ考ハ是ハ成ルベク速ニ除キタインデ、例ヘバ「婦人子供ノ如キ」或ハ「婦女子ノ如キ」トカ云フ言葉ヲ以テ總テ婦人ヲ以テ小兒ト同様ナ者デアル、又婦人ハ無能力ナ者デアルト云フ觀念ハ因襲ノ久シキ、餘リ人ハ感ジマセヌガ、之ガ爲ニ餘ホド大ナル所ノ害ヲ總テノ點ニ於テ爲シテ居ルコトト感ジマスル、又或論者ノ如ク、唯此家庭若クハ風俗上婦人ノ政治ニ關スルコトノ如キ、如何ニモ面白クナイト云フ感ジカラ申スト云フト、詰リ見テ不愉快デアル、如何ニモ穩當デナイ、斯ウ云フ様ナコトデアリマスレバ、例ヘバ婦人ガ煙草ヲ喫ムト云フコトモ誠ニ面白クナイト云ハナケレバナラヌ、婦人ガ馬ニ乗ルト云フコトモ是ハ日本ノ習慣デハ甚ダ面白クナイト云ハナケレバナラヌ、若シ是等ノ點隨分出來テ來ナケレバナラヌ、ケレドモマサカニサウ云ウコトヲ爲サウト云フコトハ論者ト雖モ之ヲ爲サウト云フマデノ勇氣ハ無イ、唯ダ政治…政治モ是ハ日本ノ習慣デハ甚ダ面白クナイト云ハナケレバナラヌ、若シ是等ノ點ヲ以テ總テ婦人ノ行動ノ自由ヲ禁止スルト云フコトナラバ、婦人未成年者ハ乘馬スルコトヲ得ズト云フ様ナ法文モ困ル、自轉車ニ乘ツテ飛ンデ歩イテ困ルト云フノト少シモ變ツタコトガ無イトシテ見レバ、婦人ノ自轉車ニ乗リ馬ニ乗ルコトヲ禁ゼザル以上ハ、政治ニ奔走スルト言ヘバ隨分困ルカ知ラヌ、ソレモ馬ニ乗ツテ飛ンデ歩イテ君ハ少シク政治ト云フコトニ付イテ誤解サレテ居ルト云フ私ハ嫌ガアルカト思ハレル、能ク其委員方ノ御話モ承リマセヌケレドモ、例ヘバ兎角オ轉婆ノト云フコトニ付イテハ特ニ婦人ノ關スルコトヲ禁ジヤウト云フノデアリマスケレドモ、此政治ナルモノハ男子ニ利害ノ關係ヲナスガ如クニ婦人ニモ等シク利害ノ關係ヲ持ツテ居ルモノデ、例ヘバ先刻來此議場ニ上リマシタ所ノ租稅

ノ問題ノ如キ、又其他總テ此政治上ノコトハ等シク男子婦人、男女兩性ニ關係シタ、其間ニ於テ何等ノ等差モ無イ、又總テ婦人ハ男子ニ從フモノデアル、夫ニ依ツテ婦人ノ考ハ代表サレテ居ルモノデアルト云フ御考モアルカモ存ジマセヌケレドモ、婦人ニシテ一家ノ戸主トナツテ居ルコトモアリマシテ、婦人ガ少シモ男子ニ讓ラザル所ノ責任ヲ持ツテ居ルト云フコトハ日本ノ法律ニ於テ認メラレテ居ルノデアリマス、然ラバ此婦人ノ痛苦ヲ感ズルコトハ男子ト少シモ變ハラナイ、婦人ガ政治上已レノ枉屈ヲ訴ヘムトスレバ隨分自ラ政治上ニ喙ヲ出シ、又ハ政社ニ加入スルト云フコトノ必要ガアルカモ知レナイ、何カ政治トカ政談トカ申セバ、先年此自由黨或ハ改進黨ナドト盛ニ政黨ノ組織サレマシタ時分ニ隨分此官民ノ間、衝突ヲ起シ、或ハ其際ニ婦人モソレニ向ツテ隨分盛ニ運動シタト云フ、如何ニモ日本ニ政治運動ノ珍シイ時、又政治ト云フモノハ何カ一種世間一般ノ人民ノ生活上カラシテ離レタ所ノ問題デアルカノ如ク人ガ感想シテ居ツタ時代ノ考ガ此人々ノ頭ヲ支配シテ居ルカト思ハレル、日々食フ所ノ食物、著ル所ノ著物モ悉ク皆政治ニ關係セザルコトハ無イ、飲ム所ノ酒、喫ム所ノ煙草、穿ク所ノ下駄、悉ク政治ニ關係ガ無イコトハナイ、婦人ニシテ之ニ向ツテ自己ノ考ヲ述ベルコトガ出來ナイ、又ソレニ對スル所ノ考ヲ聽クコトガ出來ナイト云フコトガアリマシタナラバ、如何ニモ日本國ノ婦人ナルモノハ日本國民ニシテ國民タルダケノ十分ナル權利ヲ享有シテ居ラナイト云フ、誠ニ悲慘ナ有様ニ居ルモノト言ハナケレバナラヌ、ソレハ如何ニモ反對論者諸君ノ言ハルル如ク、婦人ガ政治ニ熱狂シテハ困ル、詰リ申セバ家ノ細君、家ノ娘ガ政談演説ヲシテ困ルト云フコトニナルト、私ドモ御同感デ或ハ困ルカモ知ラヌ、或ハ昨年貴ツタ御嫁ガ今年頻ニ政治ニ奔走スルト言ヘバ隨分困ルカ知ラヌ、ソレモ馬ニ乗ツテ飛ンデ歩イテシテ見レバ、婦人ノ自轉車ニ乗リ馬ニ乗ルコトヲ禁ゼザル以上ハ、政治ニ關スバコトヲ禁ジナイト云フコトハ當然デアル、ドウゾ此點ニ付イテハ、委員諸婦人ハイケナイモノデアル、斯ウ一言ニシテ斷言シテ仕舞フ、政治ノコトト關係スルカラ是ガオ轉婆ダト速断スル譯ニ行カヌ、又兎角此等ノコトニ關係シテ心ヲ勞スル者ハ子供ノ育テ方ガ疎ニナル、或ハ夫ノ援ケ方ガ甚ダ粗ニナル

ナドト云フコトヲ申スガ、眞ニ此一家ノ主婦トシテ、一家ノ細君トシテ、又婦人自ラガ一家ノ戸主トナツテ、人ノ妻トナツテ眞ニ此完全ナル婦人タラムトスルニハ、又眞ニ此子女ヲ教育スル上カラ申シタナラバ、ドウシテモ幾分カ政治ノ思想ガ婦人ノ頭腦ニナケレバ出來ナイコトデアル、自分ノ育テル所ノ息子ハ何デアル、必ズ丁年ニ達スレバ社會ニ出デ、又選舉權ヲ有スル所ノ男子トナラナケレバナラヌ、今日ノ制度ニ於テモ其通りデアリマス、然ルニ其母タル者ガ選舉トハ如何ナルモノダ、議會トハ如何ナルモノダ、憲法ガ此國ニ有ルカ無イカ分ラヌト云フヤウナ母ガ、是ガ則チ賢母ト云フコトガ出來マセウカ、是ガ則チ眞ニ自分ノ子ヲ教育スル所ノ資格アル者ト言ヘマセウカ、決シテ私ハ是等ノ者ハ成ルホド昔ノ人ノ考ニシタナラバ婦人ハソレ等ノコトハ知ラナクトモ宜シイ、家ニ居ッテ、オマンマヲ炊イテ居レバ宜シイ、或ハ著物ヲ縫ッテ居レバ宜シイ、斯ウ言フカモ知ラヌ、併ナガラ日本ノ婦人ハ決シテ斯ノ如キモノデハナイ、日本ノ婦人ハ古來、國家ノコトヲ常ニ杞憂スル所ノ頭ヲ有ッテ居ルノデアル、殊ニ此久シイ數百年以來、士族トカ申スヤウナ階級ノ者ハ無論ノ話、又士族以下ノ三民、農工商共ニ日本ノ婦人ハ則チ國家ノ事ヲ憂フル所ノ精神ヲ有ッテ居ル、是ガ則チ大和魂デアル、先刻委員長ノ御報告ニ據ルト委員ノ或ル諸君ニハ日本ハ男子ガ大和魂ニ富ンデ居ル爲ニ今度ノ戰爭ニモ勝ッタノデアルト言ハレタ、此大和魂ハドヨニアルカト言ヘバ即チ家庭ニアル、此家庭ナルモノハ何デアルカト言ヘバ、即チ重モニ婦人ノ圈内ニアル、婦人ガ國ヲ憂フルト云フ精神ガ無カタナラバ、決シテ日本國民ニ大和魂ヲ有ッテ居ルト云フコトハ出來ナイ譯デアリマス、諺ニモ則チ此專制ノ國ニ於テハ專制者ノ外ニ國ヲ愛スル者ハ無イト云フコトヲ言ヒマスガ、日本ノ文運ノ進歩シ、又強國ト戰ッテモ能ク戰捷ヲ得ルト云フハ何デアルカト云フト、四千萬ノ國民悉ク國ヲ憂ヘ、四千萬ノ國民悉ク國ヲ負擔スルト云フ愛國ノ念ガ深イカラデアル、此愛國ノ念ノ深イコトハ全ク男子女子ノ區別ナク皆國家ヲ憂ヘルト云フ其赤心ガ充満シテ居ルガ爲デアル、此國家ヲ憂ヘルト云フコトハ何デアルカト云フト、政治思想ヲ有スル爲ト云フコトハ男子モ女子モ異ナラヌ、若シ此國ガ亡ビ此國ガ敗ケタナラバドウシヤウ、此國ガ衰ヘタナラバドウシヤウ、國ノ爲ナラバ自分ノ困難ヲ忍ンデ自分ノ愛スル子供ヲ殺シテモ盡サヌケレバナラヌト云フノハ、則チ婦人ガ常ニ皆此政治思想ヲ有ッテ居ルカラデアリマス、然ルニ幾更ニ法律ヲ以テ此政治ニ關スルコ

トヲ禁ズル、婦人ニ限ッテ政治ニ干與スベカラズト云フコトノ謂ハレハ何レニアリマセウカ、是ハ全ク一時唯ダ社會ノ紛争ヲ防ガムガ爲メ、モット極端ニ言ヘバ當局者ガ成ルベク自分ノ苦難ヲ逃レムガ爲ニ政治ニ關スル者ノ範圍ヲ狭クシヤウト云フ精神ニ出デタノデアル、併ナガラ今日ニ至ッテ見ルト云フコト、斯ノ如キ政治上ニ急激ナル運動ヲ爲ス者モ無ク、之ヲ許シタカラト言シテ直ニ明日カラ婦人ガ政治ノ爲ニ奔走スルナドト云フコトハ無論ナイコトデアル、何モナイコトニ唯大人ノ自由ヲ・・成ルタケ行爲ヲ束縛スルト云フコトハ除キタイモノデアリマスカラシテ、必ズ此選舉權ヲ婦人ニ與ヘルト云フ積極的ノコトト同視セズシテ、是等ノ禁止ヲ除去スルト云フコトニハ諸君ト共ニ贊成イタシタイト本員ハ考ヘマスカラ簡単ニ一言イタシマシタ

○伯爵廣澤金次郎君 委員會デ否決シマシタガ、私ハ否決論者ノ一人デアリマスガ、今贊成論ガアリマシタカラ已ムヲ得ズ反對ノ意見ヲ述ベタイト思ヒマスガ、宜シウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

〔伯爵廣澤金次郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵廣澤金次郎君 唯今、鎌田君ヨリ本案贊成ノ意見ヲ述ベラレマシタニ依ツテ、委員會ノ否決ノ意見ヲ發表シナケレバナラヌ場合ニ立至リマシタ、實ハ年長者ノ關君ニ是非御演説ヲ請ハウト申シマシタケレドモ、是非私ニヤレト云フコトデ、已ムヲ得ズ年少者ノ私ガ關君ノ代理ヲスル者ト御考ヲ願ヒマス、唯今鎌田君ハ婦人モ男子モ國家ノ政治思想ヲ有ツト云フコトハ、男子女子ヲ問ハズ國民皆有タネバナラヌト云フヤウナ御議論デアリマシタ、サウシテ鎌田君ノ言ハレルニハ、日本ノ婦人モ國家ヲ憂ヘルト云フコトハ男子ト異ナリシハナイト云フ御議論デアリマシタ、此點ニ於テハ私モ無論御同論デアル、日本ノ婦人ニ致シマシテモ國家ヲ憂ヘルト云フコトハ是ハ當然デアリマス、併ナガラ婦人ノ役ト云フモノハ、直接ニ政治等ニ干與スルノガ婦人ノ役目デハ無イト考ヘルノデアリマス、婦人ハ即チ家ニ在ツテ家ヲ治メ、サウシテ夫モシクハ息子・・・男子ヲシテ政治ニ當ラシメテ其政治ニ間違ヒヲ生ゼザルヤウニスルガ、婦人ノ役目ダラウト考ヘマス、今鎌田君ハ婦人ニ政談演説ヲ許ス、若クハ政談演説ノ傍聽ヲ許ス、又ハ政社ニ加入スルコトヲ許シテモ何モ家庭ニ於テ影響ハセヌト言ハレマシタガ、成ルホド直接家庭ニ紊亂ヲ來

タスト云フコトハアリマスマイ、併ナガラ今日、日本デ誇ル所ノモノハ何デアルカト言ヘバ、則チ日本婦人ノ固有ノ淑徳デアラウト考ヘルノデアリマス、既ニ外國人スラ彼ノ言ハバ女尊男卑トモ申シテ宜シイ英米等ニ於キマシテモ此三十七八年ノ戰爭以來、日本ハ如何ニシテ斯ク愛國心ガ過大ナルカト云フコトヲ研究シタ結果、是ハ日本ノ男子ノミナラズ、日本ノ女子モ大ニ興カッテ功アルト云フコトヲ外國人スラモ認メテ居ルノデアリマス、而シテ其外國人ハ如何ナル所ニ此ノ愛國心ヲ發動シタニ付イテ功ガアルカト云フニ、前ニ申シタ通り日本ノ婦人ノ固有ノ淑徳ノ然ラシムル所デアリマス、又鎌田君ノ言ハルニハ、此所ニ「女子及」ト云フ文字ヲ殊更ニ加ヘテ殊更ニ女子ノ政談演説ヲ許スヲ禁ズル必要ハ無イト言ハレマスガ、本員ハ之ヲ反対ニ考ヘルノデアリマス、ナゼナラバ「女子及」ト云フ字ヲ削除シマシテ、女子ニ公衆ノ會同スル政談集會ニ會同シ又ハ其發起人タルコトヲ許シマスレバ、女子ニ即チ政治ノ問題ニ付イテ政治ノ思想ヲ發表スルコトヲ許スノデアリマス、諸君如何デアリマセウカ、苟モ之ヲ發表スルノ自由ヲ許シタナラバ又之ヲ行フ權利ヲ與ヘルガ當然ノコトダラウト思ヒマス、故ニ斯ノ如ク改正ヲシテ女子ニ政談演説ヲ許シ政社ニ加入ヲ許スコトニナリマスレバ、第二ニ來ルベキモノハドウシテモ選舉權ノ擴張ト云フコトニナラナケレバナラス、サモナケレバ女子ニ政治思想ヲ與フルモ政治思想ヲ實行スルノ機ヲ與ヘナケレバ、如何ニ女子ト雖モ唯ダ空論ヲ吐クノミヲ以テ満足セヌト思ヒマス、併ナガラ諸君如何デアリマセウカ、女子ニ參政權ヲ與ヘルト云フノハ甚ダ危險ナ問題デハナイカト思ヒマス、是ハ今日如何ニ文明ヲ以テ誇ツテ居ル歐羅巴デスラ、女子ニ參政權ヲ與ヘルコトハ無イ、況シテ諸君、貴衆兩院ニ海老茶袴ノ議員ヲ見ルコトハ如何デアリマセウ、斯ノ如キコトヲセズトモ女子ハマダ盡スベキ所ガ十分他ノ方面ニアルダラウト思ヒマス、サウシテ又鎌田君ノ言ハルルニハ……

〔鎌田榮吉君論點ガ達ヒマス」ト述ブ〕

子供ノ教育ヲスルニ當ツテモ、子供ガ相當ノ年ニ達スレバ、ドウシテモ衆議院議員ノ選舉權モ得、又被選舉權モ得テ、相當ノ人物ヲ作ラナケレバナラヌ、付イテハ相當ナル思想ヲ母ナル者ガ持ツ必要ガアルト言ハレマスガ、ソレハ寧ロ父ノ職分デアラウト考ヘマス、母ハ他ノ方面ニ自分ノ子供ヲ教育シ、父ハサウ云フ方面ノ子供ノ教育ヲスル、ソレガ父母相須ツテ子供ヲ教育

スル道デアラウト考ヘマス、モウ一ツ鎌田君ガ言ハレマスガ、此所ニ「女子及」ト云フ文字ヲ殊更ニ入レテ女子ノ自由ノ行動ヲ禁止スルコトハ憲法上如何デアラウカト云フ御議論デアリマシタガ、他ノ法律ニモ女子ニハ資格ヲ與ヘヌモノガ幾ラモアリマス、何ゾ治安警察法ニノミ止マラムヤデアリマス、又如何ニ男女同權論ヲ主張シタ所ガ、或ル仕事ハ男子ノミニ限ル、又或ル仕事ハ女子ノミニ限ルト云フコトハ是ハ天然ノ然ラシムル所ト考ヘマス、故ニ他ノ法律ニモ女子ニハ特權ヲ禁ジタモノガアリマス、何ゾ此治安警察法ノミニ止マラムヤデアリマス、ソレデモウ會期切迫ノ際デアリマスカラ長イコトハ申シマセヌガ、詰リ本員ナドノ委員會ニ於テ之ガ否決ヲ主張シマシタノハ、婦人ノ斯ノ如ク政治上ノ集會ニ加入シ、若クハ政談演説等ヲ許シタ所ガ、餘リ功ハ無ク、寧ロソレ等ノコトニ女子ハ遠ザカッテ居ツテモ女子ハ他ニ盡ス道ガアルダラウト云フコトガ、先づ第一ノ理由デアリマス、其他委員諸君ノ御議論モアリ、甚ダ殘念ナノハ關君ノ御高論ヲ諸君ト共ニ拜聽スルコトヲ得ナイト云フコトデゴザイマスガ、關君ノ如キハ、チヨット申上ゲテ置キマスガ、日本ノ國本カラ論ゼラレテ、女子ハ斯ノ如ク政治上ニ干渉スベキモノデハナイ、之ニ干渉シタ者ハアル、即チ神功皇后ノ如キ女豪傑ヲ引證サレマシテ御議論ガアリマシタガ、斯ノ如キ女豪傑ガ出タ所ガ、其女豪傑ノ息子ガアツタナラバ人間ハ餘リ此世ニ役ニ立タヌ人間ヲ生ジタデアラウト云フ御議論モアツタノデ、是ハ關君カラ拜聽シタイト考ヘマスガ、關君ハ今日ハ演説ヲサレヌト云フコトデ年少ナル私ガ甚ダ不行届デアリマスガ、委員會ニ於テハ如何デアツタ云フコトヲ一言辯明シテ置キマス

○鎌田榮吉君 チヨット伺ヒマスガ、本案ト言ヒマスト……  
○議長(公爵德川家達君) 何デスカ、本案即チ衆議院送付案デアリマス、本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○鎌田榮吉君 チヨット伺ヒマスガ、本案ト言ヒマスト……  
○議長(公爵德川家達君) 少數ト認メマス、本案ハ否決セラレマシタ  
○議長(公爵德川家達君) 採決ヲ致シマス、本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔渡正元君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 渡君ハ……

○渡正元君 本員ハ此際緊急動議ヲ提出イタシマス、渡良瀬川沿岸地方特別地價修正法律中改正法律案ヲ議スル爲ニ議事日程ヲ追加サレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 渡君ノ動議ガ出マシタガ、賛成ト云フ御聲ヲ議長ガ伺ハナイ以上ハ問題ト致ス譯ニハ參リマセヌ

○男爵諫早家崇君 賛成

○男爵赤松則良君 賛成

〔其他「賛成」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 渡君ノ議事日程追加ノ動議ニハ賛成者ガゴザイマシタカラ問題ト致シマス、渡君ノ動議ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔分リマセヌ、モウ一應」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 渡君ノ動議ハ渡良瀬川沿岸地方特別地價修正法律中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ此際議スル爲ニ議事日程ノ追加ノ動議ト議長ハ承知シテ居リマス、渡君ノ動議ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵徳川家達君) 少數ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二十二、函館小樽兩港修築速成ニ關スル建議案、公爵二條基弘君外一名提出、會議  
函館小樽兩港修築速成ニ關スル建議案

右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也

明治四十年三月二十六日

發議者 公爵二條 基弘 男爵小澤 武雄  
賛成者 侯爵徳川 賴倫 外五十八名

貴族院議長公爵徳川家達殿

函館小樽兩港修築速成ニ關スル建議

函館港ハ其ノ位置津輕海峽ニ望ミ太平洋ト日本海トノ咽喉ニ當リ内外航路ノ要衝ニ立チ而カモ最古キ沿革ヲ有セル貿易港ナルノミナラス要塞所在地ニシテ大湊要港トハ實ニ呼應ノ間ニ在リテ軍艦ノ來泊スルモノ亦尠ナカラ

ス真ニ帝國北部ニ於ケル樞要ノ港タルハ歎々ヲ要セシテ明ナリ曩ニ函館區ハ其ノ一部改良工事ヲ施シタリト雖固ヨリ纔ニ其ノ一小部ニ止リ爾來我カ海運ノ發達ニ伴フモノニアラス殊ニ戰後南部權太ノ帝國ノ版圖ニ歸スルト同時ニ露領沿海洲及清韓兩國トノ航通俄ニ頻繁ヲ加ヘ又近來北太平洋通航ノ船舶ニシテ寄泊スルモノ其ノ數著シク増加シ來リ方サニ繫船面積ノ狹小ナルヲ訴フ謂フニ目下戰後國力ノ發展ハ函館港ノ修築一日モ緩フスヘカラサルモノアリ

小樽港近時ノ發達ハ真ニ北海道ノ一偉觀ニシテ明治三十八年ニ於ケル輸出入貨物ノ數量百七十餘萬噸ニ達ス是レ蓋小樽港ハ北海道ノ要津ニ當リ而シテ北海道拓殖事業ノ近年著シク進歩セルノ反映ニ外ナラス今ヤ經濟界ノ活動發展ニ伴ヒ北海道ノ事業界亦將ニ一新紀元ヲ劃セムトシ石炭木材製紙等ニ關スル大規模ノ企業計畫アルノミナラス其ノ他各般ノ事業相踵キテ起ラムトス政府カ今期議會ニ提出セル北海道各鐵道線ノ改良擴張ニ關スル工事漸次其ノ歩ヲ進メ又函館小樽間ノ鐵道國有ニ歸シテ其ノ設備整頓スルニ至ラハ小樽港ニ由リテ吞吐スル貨物ハ蓋數百萬噸ノ巨額ニ達スヘシ故ニ小樽港ノ修築ハ北海道各鐵道線ノ改良擴張ニ伴ヒ速ニ之カ完成ヲ計ラサルトキハ數年ヲ出テスシテ貨物港頭ニ堆積濱滯シテ鐵道事業ノ效果ヲ減損スル甚シキモノアルヤ必セリ隨テ又新ニ勃興セル企業ノ進運ヲ阻碍スルノ憂ナシトセス由テ政府ハ函館小樽兩港灣修築事業完成スルノ計畫ヲ立テ之レカ豫算ヲ次期ノ議會ニ提出セラレムコトヲ望ム

右建議候也

理由

函館港ハ帝國北部ニ於テ内外航路ノ要衝ニ立テル樞要ノ港ナルニ其ノ繫船面積狭小ニシテ西北ノ強風時ニ港内ニ激浪ヲ起シ海陸聯絡ノ施設ヲ爲スニ由ナク實ニ目下戰後國力ノ發展ニ伴ハサルノ缺點アリテ其ノ修築一日モ緩フスヘカラス

小樽港ハ明治三十年度政府ニ於テ始テ第一防波堤ノ築設ニ著手シ明治四十一年度ヲ以テ將ニ落成ヲ告ケムトスルモ僅々三分ノーノミニ過キス而シテ第二防波堤ノ完成ヲ遂ケサレハ前者防波堤ノ效力ヲ失フノミナラス港灣全面ノ設備ヲ缺ク依テ茲ニ建議案ヲ提出スル所以ナリ

〔男爵小澤武雄君演壇ニ登ル〕

○男爵小澤武雄君 諸君、戰後ノ經營トシテ北海道ノ開拓ノ進捗ヲ圖ルコト  
ハ諸君ト共ニ我ニガ希望スル所アリマスル、然ルニ四十年度ノ總豫算ヲ議  
スルニ當ツテ北海道ノ森林經營並ニ釧路留萌ノ築港ノコトハ否決ニナリマシ  
タ、併シ此釧路留萌ハ否決ニナリマシテモ、之ヲ委員會ニ於テ議セラルニ  
當ツテ函館及小樽港ノ如キハ隨分修築ヲスル必要ガアルト云フコトガ速記録  
ニ依ッテ諸君ノ意思ガ現ハレテ居ルヤウニ思ヒマス、ソレデ北海道拓殖ノ進  
捗ヲ希望シ、又小樽港函館港ノ如キ修築ノ必要アルト云フ意思ヲ此儘發表シ  
ナイノハ如何ニモ遺憾ニゴザイマスカラ、此時日ノ切迫シタルニ拘ラズ、茲  
ニ小樽函館兩港修築速成ニ關スル建議案ヲ提出シタ次第アリマス、デ此提  
出ノ理由ハ申上ゲタイコトモ澤山アリマスルケレドモ、モウ時刻モ迫ツテ居ル  
シ、且此建議案ニ大體ノコトハ載セテゴザイマスカラ、諸君モ御覽クダサ  
タト思ヒマス、是ガ建議ニナレバ意思ノアル所ハ政府デモ分ラウト思ヒマス  
カラ委シイコトハ略シマス、チヨット極内容ノ必要ナ所ダケ述ベテ見タイ、  
函館港ハ天然ニ相當ナ港灣デアリマスルガ爲ニ、是マデ餘リ修築ガシテナ  
イ、勿論此十餘年前ニ區費ヲ以テ、政府ノ補助ハ勿論得マシタ、其總計ハ八十  
萬圓ヲ以テ辨天臺場ヲ埋築ヲ致シ、サウシテソレヲ防波堤トナシ、且ツ彼所  
ニハ西北ノ風ノ爲ニ砂ガ非常ニ這入ツテ港ヲ埋メル譯デアリマスカラシテ、  
ソレヲ防グ爲ニ防砂堤ト云フモノヲ設ケテ居リマス、所ガ此工事ヲスルニ  
當ツテモ凡ソ十年間ヨリホカ此防砂堤ノ功能ガ無イ、若シソレヨリモ年所ヲ  
多ク經レバ自然ニ土砂ガ堆積シテ功能ヲ失フト云フ技師ノ說デアツカサウデ  
アリマスガ、今日既ニ十年餘ヲ經テソレガ爲ニ砂ヲ防グ方ノ防砂堤ガ甚ダ功  
能ヲ薄ウシ、爲ニ海面ガ年々ニ三寸若クハ四寸ヅツ淺クナッテ行クヤウナ有様  
ニナツテ居ル、且ツ防波堤モ是マデノ通リデハ不完全ナ爲ニ繫船ノ面積ト云フ  
モノガ四十何萬坪ヨリホカ無イノデアリマスガ、之ヲ修築ヲシテ防波堤ヲ延  
バシ、ソレカラ砂ヲ防グ方ノ防砂堤ヲ二箇所ニ設ケルト云フノ設計ニモナリ  
デゴザイマスル、是ダケノ面積ヲ保ツ必要ノアルコトハ本文ニ書イテゴザイ  
マスカラ申シマセヌガ、今マデ一向政府カラハ函館港ノ爲ニハ格別、力ヲ入  
レテゴザイマセヌ爲ニ、今日ニ至ッタ譯デゴザイマスルカラ、宜シク其函館  
港ノ現狀ヲ將來ニ維持シ、若クハ改良スルダケノ計畫ヲ政府ニ於テ立テラレ  
ムコトヲ希望スル次第アリマス、又小樽港ノ方ハ第一ノ防波堤ハ既ニ此四

十年度ヲ以テ悉皆落成ヲスルコトニナツテ居リマスガ、此第一ノ防波堤ノミ  
デハ小樽港ノ海面ノ凡ソ三分ノヨリカ此防波堤ノ功能ヲ蒙ルコトガ出來ナ  
ル、ソレデ此小樽港ノ今日ノ發達及將來ノコトハ此建議案ノ文言ニ讓リマシ  
テ茲ニハ略シマスルガ、唯ダーツ申シテ置カナケレバナラスコトハ、北海道  
ノ自然ノ發達ノミデナシニ此四十年度ニ於テハ北海道ノ小樽ヨリ岩見澤ヲ經  
テ砂川追分ニ至ル鐵道ノ複線工事ヲ政府ガ計畫シテ居ル、是ハ七箇年ノ間ニ  
完成スル計畫デアリマス、諸君モ御承知デアリマセウガ、第二ノ防波堤ハナ  
カノサウ速ニ出來ルモノデハナイカラ、ソレヲ長ク計畫セズニ置イテ鐵道  
ガ複線ニナツテ見マスト云フト、今日マデノ輸送力ヨリモ凡ソ三倍グラカハ  
増加スルト云フコトデアル、今日デサヘ小樽港ハ貨物ガ堆積シテ居ル有様デ  
アルノニ、此鐵道ノ複線工事ガ出來上ガツタ日ニハ非常ナコトニナル、所詮今  
日ノ儘デハ措カレナイ譯デアル、併シ政府モ第二ノ防波堤ヲ設計シナイ譯デ  
ハナイ、其計畫ニハナツテ居ルノデアリマスケレドモ、確カ其第二防波堤ノ  
半バヲ十一箇年間ニスルト云フ計畫ニナツテ居ツタヤウニ承ツテ居リマスル、ソ  
レデハ丁度此鐵道ノ複線工事ト伴ハナイ譯デアリマスルカラ、ドウカ此鐵道  
工事ニ伴ツテ小樽ノ港ヲ完全ニ使用シ得ルヤウナ計畫ヲ政府ガ取ッテ、サウシ  
テ此次ノ議會マテニ豫算デモ提出ニナルコトヲ希望スル譯ノ建議デアリマ  
ス、色ニ委シク申上ゲタイケレドモ、前ニ申シマシタ通り其時間ガゴザイマセ  
スカラ、此大體ニ於テハ既ニ御承知下サレテ居ルト存ジマス、ソレデ略シテ  
置キマス、ドウゾ宜シク御協贊ヲ願ヒマス  
○議長(公爵德川家達君) 採決ヲ致シマス、本建議案ヲ可トスル諸君ノ起立  
ヲ請ヒマス

○議長(公爵正親町實正君) 過半數ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○子爵會我祐準君 贊成  
〔其他「贊成」ト呼ブ者多シ〕

○伯爵正親町實正君 此際議事日程ヲ追加ニナリマシテ、國語及字音假名遣  
ニ關スル建議案ノ會議ノ續ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵會我祐準君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 議事日程ヲ追加シテ國語及字音假名遣ニ關スル建

議案ノ特別委員長ノ報告ヲ此際イタシタイト云フ正親町伯爵ノ動議ニハ贊成者ガアリマシタカラ採決イタシマス、正親町伯爵ノ議事日程追加ノ動議ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス、故ニ議事日程ハ追加セラレマシタ

國語及字音假名遣ニ關スル建議案  
右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年三月二十七日

右特別委員長

伯爵正親町 實正

貴族院議長公爵德川家達殿  
〔伯爵正親町實正君演壇ニ登ル〕

○伯爵正親町實正君 國語及字音假名遣ニ關スル建議案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報道申上ゲマス、勿論本日ハ時間モ經チマシタコトデアリマスカラ、成ルベク要領ダケヲ簡単ニ申上ゲマス、此委員會ハ今朝正副委員長ノ選舉ヲ行ヒマシテ、引續イテ審査ニ掛リマシタノデアリマス、何分會期切迫ノコトデアリマスカラ、成ルベク取急イデ審査ハ致シマシタガ、併ナガラ慎重ニ審査ヲ致シタ積リデアリマス、デ委員會ニ於キマシテハ、種々ノ質問、又討論モゴザイマシタ、此案ノ趣意ハ既ニ提出者諸君ヨリ先達テ來段々御述べニモナッテ、諸君モ十分御承知ノコトデアリマスカラ、別段申述ベル必要モ無カラウト思ヒマス、ソレデ委員會ニ於キマシテハ質問ノ末ニ於キマシテ、政府ハ提出者ハ此度ノ國語及字音假名遣ノ制定ニ付イテハ提出者ハ如何ニモ粗漏ニ咄嗟ノ間ニ決メタト云フヤウニ申サレルケレドモ、是ハ決シテサウ云フ譯デハナイ、餘ホド前カラ種々ノ國語調査會、又ハ高等教育會議等ノ如キ、有ラユル教育機關ニ諮詢ラシ、其意見ヲ徵シテ慎重ニ研究ヲシタ結果デアッテ、決シテ提出者ノ言ハレル如ク輕卒ニ咄嗟ノ間ニ決メタ譯デハナイ、故ニ先ヅ此邊ヲ以テ當局者ハ適當ノモノト考ヘルンデアル、故ニ此建議案中ニ於テ若シ此「不穩當ノ廉不少ト認ムルニ依リ官民現行ノ慣例ニ背カサル範圍内」云々ト云フ所ノ文字ヲ幾ラカ修正ヲ加ヘラレタナラバ、政府ハ之ニ同意イタサウト云フ

斯ウ云フ答辯デアリマシタ、併ナガラ提出者ハ此「官民現行ノ慣例ニ背カサル」ト云フノガ即チ此建議案ノ骨子デアルカラ、若シ之ヲ變更スルヤウデアルナラバ建議ヲスル必要ハ無イ、故ニ飽クマデモ此「官民現行ノ慣例ニ背カサル」ト云フコトハ存シテ置カナケレバナラヌト云フコトガ建議案提出者ノ意見デゴザイマシテ、ソコデ終リニ臨ンデ尙ホ文部大臣ノ出席ヲ求メマシテ、段々委員カラモ質問モ致シマシタガ、文部大臣ニ於カレマシテモ、政府委員ノ云フ御答モゴザイマシタンデ、ソレデ委員ニ於キマシテモ成ルベク官民現行ノ慣例ニ背カザル範圍内ニ於テ調査ヲシテ貰ヒタイ、併ナガラ文部大臣ノ述べラルル如ク成ルベク廣キ範圍ニ於テ意見ヲ徵セラルト云フコトナレバ、若シ其結果トシテ多少ノ現行ノ慣例ノ範圍外ニ涉ツテ採用サルルコトハ有ッテモゾレハ差支アルマイ、併ナガラ此「官民現行ノ慣例」ト云フコトハ成ルベク土臺トシテ能ク調査ヲサレタイト云フヤウニ意味デ本案ヲ決スルト云フコトニ決メマシタ、ソレデ尙ホ委員ノ希望ニ於キマシテハ、元々此度ノ政府ノ意見ト云フモノハ、今日ノ小學兒童ノ教科書等ニ於テ假名遣ガ煩雜ニナツテ兒童ノガ精神デアルラシイ、併ナガラ現在ノ有様ヲ見ルト寧ロ簡單ニアラズシテ却ツテ兒童ニ取ッテハ非常ニ複雜ナ思ヒヲサセルヤウニ思フカラ、其邊ハドウカサウナイヤウニ簡單ニナルコトハ我ニモ希望スルコトデアルガ、併ナガラ現行ノ有様デアルト寧ロ反對ノ結果ヲ來タシハシナイカト云フ恐レガアル爲ニ、斯ノ如キ建議案モ出スコトデアルカラ、其邊ハ當局ニ於テ審議ヲ盡サレタイ、右ノ意味ヲ以チマシテ此建議案ハ全會一致ヲ以テ可決ニナリマシタ、ドウカ滿場ノ諸君ニ於キマシテモ御贊成ヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○山川健次郎君演壇ニ登ル  
〔山川健次郎君演壇ニ登ル〕

○山川健次郎君 私ハ此建議案ニ對シマシテ反對イタシタイ考ヲ持ツテ居リマス、閉會ノ時期モ切迫シタ今日、長イコトハ申上ゲマセヌ、極簡單ニ申シマシテ諸君ノ御助カ力ヲ以テ此案ノ廢案ニナルコトヲ希望イタスノデアリマス、私ハ昨日不幸ニシテ會議ニ列シマセヌカツタニ依ツテ提出者ノ御演説ヲ聽

クコトガ出來マセヌデアリマシタガ、定メシ併ナガラ其御演説ノ趣意ハ提出者ノ一人タル所ノ伊澤君ノ過日ノ御演説ト大同小異ノコトト伺ッテ宜シカラウト存ジマス、ソレデ今委員長カラシテ縷々御述ベニナツタコトモアリマスルケレドモガ、要スルニ此議案ノ骨子ハ「官民現行ノ慣例ニ背カサル範圍内ニ於テ」ト云フノガ此骨子ト存ジマスガ、是ハドウ解クノデアリマセウカ、外ニ解キ方ハ私ハ無カラウト思フ、成ルホド委員長ハ餘ホド廣イ解釋ヲ取ツテモ宜カラウト云フヤウニ御説キニナリマシタケレドモガ、是ハ文字ニ書イタ以上ト云フモノハ、是ハツヨリ解キ方ハ無カラウト思フ、ソレハ國語ニ在ツテハ謂ハユル國學者ノ正シイト決メタ所ノモノガ即チ官民現行ノ慣例アル、即チ正シイト是マデ決メラレタ所ノモノヲ御指シニナルヨリ外、解釋ノ仕様ガ無カラウト思ヒマス、サウ致シマシタナラバ今後、國語ノ調査ト云フコトハ餘ホド困難ニナツテ來ルノデアリマス、即チ國學者ノ正シイト定メタ所ノモノト決マツテ仕舞ツタ以上ト云フモノハ、外ニ之ニ改良ヲ加ヘルト云フコトハ出來ナクナツテ來ル、明治二十三年二月二十一日ニ本院カラシテ國語調査ノ建議案ガ出タ時ニドウ云ウテアリマスカ、「我邦文字言語文章ノ錯雜難澁ナル世界其ノ比ラ見サル所ナリ」斯ウ云フ風ニアルカラシテ之ヲ取調べマシテ「改良ノ事タル國家ノ事業トシテ調査討究シ以テ實行ヲ期スヘキコト刻下ノ一大急務タルヲ信ス」ト書イテアル、即チ明ニ貴族院ハ此言語、文章、文字ト云フヤウナモノヲ改良シテ行クト云フコトヲ望マレタカラコソ、國語調査會ト云フモノガ出來タノデアル、併ナガラ今國語假名遣ト云フモノハ此建議ニ依ツテ決シテ仕舞フト云フコトニナルト、其調査スル範圍ガ非常ニ狹クナツテ、改良ト云フコトハ殆ド出來ヌコトニナルダラウ、サテソレナラバ現行ト言ハル所ノ國學者ノ正シイト定メタ假名遣ト云フモノ、又字音假名遣ト云フモノデ満足シテ居ツテ宜イデアリマセウカ、改良ヲ要スルノデアリマセウカ、伊澤君ナドハ今ノ通リデ結構ダト仰シャルノデアリマス、私ハ是ハ疑問チャナイカ、今ノ通リニシテ宜イノデアラウカ、例ヘバ「オ」ト云フ字音ヲ今デハ十三通リノ書キ方ガアル、是ダケヲ覺エナケレバナラヌ、本當ノ文字ヲ書クコトハ出來ナイト云フノデアル、ソレハ先ヅ正シイモノト從來決メテアルノデアリマスガ、其通リニシテ置イテ宜イノデアリマセウカ、又ハ改良ヲ加ヘテ、モウ少シ簡便ナ法ニシタ方ガ宜カラウカ、又ハ改正ヲヤルコトハ、ソレハイケナイ、今ノ通リノ方ガ宜イカ：：御承知ノ

如ク國語假名遣ト云フモノハ、モトドウ云フ所カラ出テ居リマスカ、詰リ奈良朝ノ發音ヲ用ヰテ現ハシタモノニ過ギナイノデアル、ソレデアルカラシテ奈良朝カラ平安朝ニナリマシテ其發音ノ差ト云フモノハ無クナツテ仕舞ツタ、ソコデ後世ノ學者ノ言フ平安朝ニ於テハ假名遣ガ秦レタト云フ、秦レタト云フノハ即チ見方ニ依ツテデアツテ、詰リ平安朝時代ニ發音ニ差ガ無クナツテ來タ、ニツノ「ヲ」「オ」ヤラニツノ「イ」「ヰ」ヤラ即チ發音ノ差ガ無クナツタ、爾來數百年ノ間、奈良朝デ發音ガ達ツタカラ、達ツタ字ヲ用ヰテ居ツタト云フコトヲ知ラヌデ居ツタ、徳川時代ニナツテ復古ノ學者ガ起ツテ來マシテ研究シタ結果トシテ、昔ハ發音ガ達ツタカラ違ツタ文字ヲ用ヰタト云フコトガ段々分ツテ、初メテ即チ國學者ノ言フ正シイ假名遣ト云フモノガ起ツテ來タ、併シ是ハ學者間ノ話デ、世上一般ニ於テ此正シイト云フ所ノ假名遣ヲ用ヰラレテ居ラナイ、御維新ニナツテドウデアリマスカ、御維新ニナツテ以後ト云フモノハ、徳川時代ニ於テハ謂ハユル正シイ假名遣ガ餘計使ハレテ居ルケレドモ、ソレデモマダ一部ニ止マツテ居ル、現在ドウデアリマスカ、現在ハ決シテ正シイト云フ假名遣ガ總テノ國民ニ依ツテ使用サレテハ居ラナイノデアル、現在アナタ方ガ日々數回御使ヒニナル所ノ電話帳ヲ御覽ニナツテモ分ル、ドウ書イテアリマス、ワ行ノ「ヰ」トア行ノ「イ」ト云フモノガ同ジニナツテ居ル、ト「ヲ」「オ」ト云フノデモ同ジコトデアリマス、或ハ「カ」ト云フノト「クワ」ナドモ亦一緒ニナツテ居ル、即チ正シイト云フ國語ノ假名遣ト字音ト云フモノトハ今デサヘモ行ハレテ居ラナイ、斯ウ云フ有様デアルノデアリマスルカラ、必シモ昔ノモノヲ存シテ其儘ニシテ行カネバナラスト云フコトハ無カラウト思フ、之ヲ改良シテ行カネバナラヌ、サウシタナラバモウ少シ簡便ナ方法ガ有ルデハアルマイカ、現在アナタ方ニ御子サンモ有リマセウガ、小學校へ行ツテ居ラシャル方ノ御讀ミニナルコトヲ御聽キニナツテモ分リマスルガ、彼ノア行ノ「イ」トワノ行「ヰ」ナドハ用ヰ方ニ依ツテ小サナ子供ガ苦シニデ居リマス所ヲ見マスルト實ニ憫然ニ堪ヘヌノデアル、私ドモハドウカシテ、モウ少し簡便ニシテ子供ノ爲ニ計ツテヤリタイモノデアル、御承知ノ如ク日本ノ文字ハ支那字ト假名ト有リマスルニ依ツテ、且又言文一致イタシマセヌニ依リマシテ、獨逸アタリデ六年ノ教育ヲ受ケマシタ者ノ學力ト日本デ六年受ケママセウカ、又ハ改良ヲ加ヘテ、モウ少シ簡便ナ法ニシタ方ガ宜カラウカ、又ハ改正ヲヤルコトハ、ソレハイケナイ、今ノ通リノ方ガ宜イカ：：御承知ノ如ク日本ノ文

即チ六年間ヤリマシタ所ガ何ノ本ヲ取ッテモ讀メルト云フ譯デハ決シテ無イノデアリマス、極簡單ナ簡易ナモノヨリ讀メナイ、ナゼデアルカト云フト、今申ス通リ言文一致デナイト云フコト、ソレカラ漢字ガ有ルト云フヤウナ、エライ負擔ヲ持ッテ居リマスカラ學力ガ進マヌノデアル、サウ云フ有様デアルカラシテ、何卒是ハ兒童ノ負擔ヲ少クシテヤリタイ、是非少シデモ宜イカラ各方面ノ兒童ノ負擔ヲ少クシテヤッタナラバ、幾ラカ其學力ノ進ムコトハ獨逸人ノ如ク簡單ニ學ブコトガ出來ヌニシテモ、多少幾ラカ簡單ニ學力ガ進ムト云フコトハアリハセヌカ、今度ノ戰ニ勝チマシタノハ初等教育ノ進歩ニ由ルト云フヤウナコトヲ西洋人ナドハ言ヒマスガ、殆ドソレハ間違ッテ居ルカ存ジマセヌケレドモガ、成ルホド露西亞ニ對シテハ日本ノ初等教育ガ進ンデ居リマセウ、併シナガラ獨逸ノ有様、佛蘭西ノ有様ト今、日本ヲ較ベマスルト云フト、文部大臣ガ此邊ニ居ラルノデアリマセウガ、學齡兒童ガ學校ニ行ッテ居ル數ニ於テハ世界ニ殆ド其比ヲ見マスマイガ、學齡兒童デ在學シテ居ル數ハ多イケレドモ、其內容ハ如何デアリマスカ、假名ト僅カナ字ギリシカ知リマセヌカラ、義務教育ヲ終リマシテモ、ソレハ本當ノ教育ヲ受ケタモノデ無イト云ウテ宜イ、サウ云フモノハ獨逸、佛蘭西デ六年ト八年ト教育ヲ受ケタモノト較ベマシタナラバ、ソレハナカノト較ベモノニモナラナイ、サウ云フ不祥ナコトヲ申スノデハアリマセヌケレドモ、サウ云フ國ト萬ガ一、戰デモアリマシタナラバ且又初等教育ハ軍人ノ勝敗ニ大ナル關係アリトシタナラバ、ドウ云フコトニナルカ、實ニ寒心ニ堪ヘヌノデアリマス、願ハクハ小學兒童ノ負擔ト云フモノヲドウカ輕クシテ戴キタイ、ソレニ付イテハ字音假名遣、國語假名遣ト云フモノヲモウ少シ簡單ニ願ヒタイ、昨年ノ文部省ノ高等教育會議ノ結果ト云フモノハ一步、讓リマシテ不穩當ト見マシテモ、私ハアレデ宜シカラウト思ヒマズルケレドモ、併シ一步讓リマシテ、アレデハイケヌニシマシタ所ガ從來ノ所デ以テ宜イ、改良スル餘地ガ無イ：改良スル餘地ハ大ニ有ラウト思フケレドモ、此建議案ガ通リマスレバ殆ド改良ノ餘地ガ無イト云フコトニナルノデアル、實ニ小學兒童ノ如キ：小學兒童ト云フモノハ即チ未來ノ國民デアル、即チ國民アツテノ國家デアリマスカラ、未來ノ國家ノ爲ニ甚ダ憂ヘマスノデアリマス、ドウゾ願ハクハ此案ハ諸君ノ御贊成ヲ得テ廢案ニ致シタイ、此提出諸君ノ國語ニ對シテ深ク注意ヲサレテ居リマスルノハ、私モ勿論御同感デハアリマスルケレドモ、斯様ニナリマスルト

云フト、國語ノ發達改良ト云フコトヲ大ニ妨ゲルト云フ、却ッテ提出者ノ御考ニ反對シタコトガ生ジテ來ハセヌカ、ドウゾ願ハクハ諸君ノ御贊成ヲ得マシテ此案ノ廢案ニナラムコトヲ希望イタシマス

○岡田良平君 チヨット意見ヲ述ベタウゴザイマス

### 〔岡田良平君演壇ニ登ル〕

○岡田良平君 諸君ノ既ニ御倦怠ノ場合ニ茲ニ意見ヲ述ベマスルノハ甚ダ不本意デゴザイマスルガ、唯今山川君ノ御演説モアリマシタシ、提出者ノ趣旨ノ貫徹シテ居ラヌト云フコトヲ虞レマスル故ニ、諸君ノ御許シヲ請ヒマシテ極簡單ニ提出者ノ趣旨ヲ申述ベタイト思ヒマス、唯今山川君ガ言ハレマスニハ「官民現行ノ慣例ニ背カサル範圍内ニ於テ」ト云フ條件ガ付イテ居ル以上ハ、少シモ國語調査ノ必要モ無ケレバ、國語ガ進歩發達スルト云フ餘地モナイノデアル、豫ネテ貴族院ニ於テ國語調査ノ建議ヲシタ趣旨ニモ背クデヤナイカト云フ如キ御意見デアツタヤウデアリマスガ、是ハ全ク左様ナ譯デハナカラウト思ヒマスルノミナラズ、山川君自カラガサウデナイト云フコトヲ明言セラレタト私ハ承リマシタ、即チ山川君ハドウ云フコトヲ仰シヤラレタカト云ヘバ、現今官民ノ用ヰテ居ル所ノ假名ハ一定シテ居ラヌ、電話ノ帳面ヲ見テモ様ニ書イテアル……實ニ其通リデアリマス、實ニ官民共ニ現今用ヰナル所以デアルノデアリマス、若シ是ガ一定シテ居ラバ勿論調査ノ必要モ何モナイノデアリマス、然ルニドレガ官民普通ニ用ヰテ居ルモノデアルトテ居ル國語ガ一定シテ居ラヌト云フコトガ、即チ今日此國語問題ノ最モ困難見テモ様ニ書イテアル……實ニ其通リデアリマス、貴族院ガ國語調査ノ建議ヲ出サレタノモ矢張リ其趣旨ニ外ナラヌノデアラウト思ヒマス、外國ノ言葉デ見ルト、例ヘバ英語デモ云フコトガ定マツテ居リマセヌ、ソレヲ調査シテ一定スルノガ最モ現在國語調査ノ急務ナノデアリマス、貴族院ガ國語調査ノ建議ヲ出サレタノモ矢張リ其リニモ書イテアルト云フコトハナイノデアリマスガ、不幸ニシテ我ガ國ニ於テハ一定シテ居リマセヌ、從ッテ之ヲ調査スルノ必要ガアル、調査シテ將來益、獨逸語デモ佛語デモ皆一定シテ居ル、電話ノ帳面ヲ見テモ二タ通リニモ三通りニモ書イテアルト云フコトハナインデアリマスガ、不幸ニシテ我ガ國ニ於テハ一定シテ居リマセヌ、從ッテ之ヲ調査スルノ必要ガアル、調査シテ將來益、改良發達シテ行ク必要ガアルノデアリマス、ソレデ此建議ヲ提出シタ趣旨ハ、現行ノ慣例ニ違ハザル範圍ニ於テ調査シテ實行シテ貴ヒタイト云フニ過ギヌノデアリマス、ソレデ山川君ハ現在ノ國語ガ甚ダ複雜デアルガ爲ニ小學兒童ガヒドク難儀ヲシテ居ルト云フコトヲ縷々御述ベニナリマシタ、其點

ニ於テハ我ニモ全ク御同感デアルノデアリマス、願ハクハ國語ト云フモノヲ成ルベク簡略ニ致シマシテ、小學校ニ於キマシテハ無益ナルコトニ時間ヲ費ヤスト云フコトヲ止メテ、成ルベク有用ナル事柄ニ時ヲ用ヰタイト云フコトハ、我ニ於キマシテモ山川君ト同様ニ深ク希望スル所デアリマス、サリナガラ輕卒ニ此假名遣ニ手ヲ付ケマスルト、必ズヤ反対ノ結果ヲ生ズル虞レガアリマス、即チ現ニ明治三十三年ニ文部省令ノ第二號表トシテ出シテアリマス所ノ字音假名遣ノ改正案ト云フモノハ、ドウ云フ結果ヲ生ジタデアリマセウカ、先刻山川君ハ或長音ヲ表ハス爲ニ十三通リノ書キ方ガアルト云フコトヲ御話ニナリマシタ、成ルホド十三通リヲ一々書キ分ケルト云フコドハ甚ダ困難ナコトニ相違ナイ、併シ明治三十三年ノ省令ノレヲ一定スルコトガ出來タデアリマスカ、如何デアリマスカ、明治三十三年ノ省令ト云フモノハ是ハ小學校ダケニ適用スル省令デアル、ソレ故ニ小學校デハ或ル一種ノ書キ方ヲシテ居リマスガ、其生徒ガ進ンデ中學校ニ行キマスレバ又別ノ書キ方ヲシテケレバナラヌ、世間ヘ出マスレバ世間デハ小學校デ教ヘラレタヤウナコトヲヤツテ居リマセヌカラ、又別ノ書キ方ヲシテケレバナラヌ、其結果ハドウナルカト申シマスレバ、以前ハ十三通リデアッタモノヲ更ニ棒引ヲ加ヘマシテ十四通リニシタト云フ結果デアリマス、ソレデ子供ノ負擔ガ輕クナリセウカ、決シテ輕クハナラヌ、小學校デ折角教ヘタコトヲ中學校ヘ行クト又直シテヤラナケレバナラヌ、斯様ナコトヲシテモ生徒ノ負擔ハ輕クナラヌノミナラズ一層重クナル、今回文部省ガ實行セムトシテ居ル所ノ、即チ昨年高等教育會議ニ諮詢シマシタ所ノ假名遣改正案ト云フモノハ一層甚シイノデアル、是ハ口語ニノミ適用スルモノデ文語ニハ適用セヌト云フ實ニ奇怪極マツタ假名遣デアリマス、口語ト申シマスト御承知ノ通りロデ言フ言葉、即チ言文一致體ノ文章デアリマス、言文一致體ノ文章ニハ此改正假名遣ヲ使用スル、サリナガラ文語、即チ文章體ノ文章ニハソレヲ使用シナイ、斯ウ云フ譯デアリマス、前ノ三十三年ノ改正案ハ兎ニ角、小學校ダケハアノ第二號表ノ假名遣ヲ用ヰタノデアリマスケレドモ、今度實行セムトシテ居ル案ハ、小學校ノ中モ口語體ノ文章ニハ或ル一種ノ改正假名遣ヲ用ヰ、文章體ノ文章ニハ舊來ノ假名遣ヲ用ヰル、斯ウ云フ譯デアリマス、同ジ讀本ノ中ニ文語體ノ文ト口語體ノ文相並ンデ有リマシタ場合ニハ二タ通リノ書キ様ガ出テ參ル、斯ウ云フ譯ニナル、斯ウ云フコト

ニ依ラ生徒ノ負擔ガ輕クナルモノデアリマセウカ、全ク是マデノ文章體ノ文ト云フモノハ廢棄シテ仕舞ヒマシテ、即チ舊來ノ假名遣ト云フモノヲ全ク止メテ仕舞ツテ、新シイ假名遣ヲ以テ統一スルト云フコトガ出來マスナラバ、或ハ生徒ノ負擔ガ輕クナルト云フ結果ガ起ツテ來ルデアリマセウ、然ルニ今度文部省ノ高等教育會議ニ諮詢シマシタ所ニ依ルト決シテサウ云フ譯デハナイ、口語體ノ文ニ於テハ改良ノ假名遣ヲ用ヰ、文語體ノ文ニ於テハ舊來ノ假名遣ヲ用ヰルト云フノデアリマスカラ、小學校ノ生徒ニ對シテ口語體ノ文、即チ今度改正ノ假名遣モ教ヘナケレバナラヌ、又舊來ノ假名遣モ教ヘナケレバナラヌ、是マデハ舊來ノ假名遣ヲ一ツ覺エレバ宜カッタノヲ、二重ニ教ヘルト云フコトニナリマスカラ、生徒ノ負擔ト云フモノハ舊ニ倍スルト云フコトニナル、殊ニ一二ノ甚シイ例ヲ取ツテ申セバ、「チ」ノ濁リト「シ」ノ濁リデアル、富士ノ山ノ「ジ」ト藤ノ花ノ「チ」デアリマス、是ハ鹿兒島トカ其他ノ或ル地方ニ於テハ生レナガラニシテ自ラ區別ヲ付ケルノデアリマス、生徒ガ皆知テ居ル、ソレデアリマスカラ「フヂノハナ」ト書ク時ニハ必ズ「チ」ニ濁リヲ附ケルコトニナツテ居ル、所ガ其生徒ガ學校へ行クト、口語體ノ文デハ「チ」ニ濁リヲ付ケタノデハイカヌ、「シ」ニ濁リヲ付ケタノヲ書ケト教師カラ教ヘラレル、生徒ハ骨ヲ折ツテ漸クソレヲ覺エマスト、今度ハ文語體ノ文章ヲ書ク時ニ、去年ハ斯ウ教ヘテ置イタガ文語體ノ文章ニ於テハ「シ」ニ濁リヲ付ケタノデハイケナイ、「チ」ニ濁リヲ付ケタノヲ書ケ、斯ウ云フヤウニ又教ヘルト云フヤウナ譯ニナル、實ニ複雜極マツタ國語ニ更ニ複雜ヲ増スト云フ結果ニナル、當局者ノ希望スル點、山川君ナドノ希望スル簡單ニシヤウト云フコトハ我ニハ全ク同意デアリマスガ、其目的トスル所ト手段トハ全ク背馳シテ居リマスルノハ我ニガ甚ダ遺憾ト考ヘル所デアリマス、或ハ斯ク申シマタナラバ、ソレハ何モ今度ノ改正ノ假名遣ハ此文語ノ方マデ及ボシタナラバスルト、此改正ノ假名遣ト云フモノハ非常ニ極端ナル改正デアリマシテ、是宣イデヤナイカ、之ヲ統一シタナラドウダト云フ御案ガ或ハ出ルカモ知レマセヌガ、是ハドウシテモ左様ニハ行カヌノデアリマス、ナゼイカヌト申シマスルト、此改正ノ假名遣ト云フモノハ非常ニ極端ナル改正デアリマシテ、是ハドウシテモ文語體ノ文ニ應用スルコトハ事實出來ナイ、若シ出來ルナラバ文部當局者ハ無論サウ云フ案ヲ立テタデアリマセウガ、ソレハドウシテモ出來ナイ相談デアル、ソレ故ニ我ニハ斯ノ如キ極端ナ改正ヲシナイデ今日官民普通用ヰテ居リマス所ノ習慣ニ違ハナイ範圍内ニ於テ相當ノ整理ヲシテ之

ヲ採用スルコトニ致シタイト云フコトヲ希望スルノデアリマス、慣用ノ習慣ニ官民慣用ノ習慣ニ違ハナイ範圍内ニ於テ整理ヲ致シマシタナラバ、ソレハ口語ニモ應用ガ出來マセウシ、文語ニモ應用ガ出來、小學校ニモ應用ガ出来、中學校ニモ應用ガ出來ル、サウシテ學校ノ以外ニモ應用ガ出來ル、サウ云フ風ニ致シマシテ始メテ國語ヲ簡易ニシテ生徒ノ負擔ヲ減ジ、國民ノ負擔ヲ減ズルコトノ結果ヲ得ルコトガ出來ヤウト思ヒマスガ、輕卒ノ案ヲ實行イタシマシタナラバ、却ツテ反對ノ結果ヲ生ズル虞ガアリマスル故ニ我ニ唯今出テ居リマスル如キ建議案ヲ提出イタシマシタ次第デゴザイマス、ドウゾ満場諸君ノ御贊成ヲ願ヒマス

○關義臣君 私ハ意見ヲチヨット述ベタウゴザイマスカラ、ソコヘ出テ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

〔關義臣君演壇ニ登ル〕

○關義臣君 私ハ此案ハ贊成者ニハナダテ居リマセヌガ、實ハ昨日議院ニ於キマシテ初メテ承知シタ位デ、發議者ノ交渉ヲ受ケタコトモアリマセヌ、併ナガラ大體之ニ贊成デアリマスルガ、先刻山川君ノ御説明ヲ承リマシテ、非常ニドウモ私ハ遺憾ニ思フ、ソレデ唯今岡田君カラ御説モアリマシタケレドモ、失禮ナガラ少シク私ノ意見デハ山川君ノ意見ニ對シテ、マダ足ラザル所ガアッタカノヤウニ思ヒマスカラ、甚ダ是ハ失敬デゴザイマスケレドモ……大體山川君ノ御意見ハ改良ヲセヌナラヌト云フ御趣意ニ伺ッタノデスガドウモ此……

〔子爵曾我祐準君〕關君ニチヨット御注意申シマス、御演説ガ長イト人ガ足ラヌヤウニナリマス、定足數ガ足ラヌヤウニナリマスト建議ガ成立セヌヤウニナリマスカラ、チヨット御注意シマス」ト述づ

宣シウゴザイマス、長クハゴザイマセヌ、チヨット順序ダケ……

〔子爵曾我祐準君〕「併シ角ヲ矯メテ牛ヲ殺サヌヤウニ願ヒマス」ト述

ブ」  
宜シウゴザイマス、ドウモ山川サンノ簡略ニヤラヌナラヌト云フ御趣意ハドウ云フコトカ私ニハ分ラナイ、固ヨリ言葉ヲ簡略ニスルコトハ出來ヌ、餘計アルモノヲ……五ツアルモノヲ……五ツヲ三ツニ簡略ニ行クヤウニナレバ宜ウゴザイマスガ、或ハ取違ヘルト文部省ノ三十三年デゴザイマスカ棒ヲ引イ

タヤウナコトカラ、又其後ニ「カ」「ハ」「ツ」デハイカヌカラ「カ」ヲ一ツニ削ルトカ、第一ニ「イ」「ヰ」、「エ」「ヱ」、「ジ」「ヂ」トアリマスノヲ、文部省デハ「イ」ト「エ」ト「ジ」ニ限ッタ、ソレデハ何モナラヌ、第一ニ例ヘバ興津ト云フ場所ナラ「オキツ」ト云フ「ツ」ハ即チ場所ノ「ツ」デアル

〔「簡単々々」「分ッタ」ト呼ブ者アリ〕

宜ウゴザイマス、アナタニ言フデヤナイ山川サンニ言フノダ、全體「ツ」ト「ズ」ト云フモノハ土臺、韻カラ違ウテ居ル、其「ツ」ヲ殘ラズ「ズ」ニシテ、ソレデ簡略ト云フ譯ニハナラナイ、一體此日本ノ十字ノ綴リヲ五ツニスルト云フコトハ逆モ出來ナイ、ソレデ「オ」ハ二ツデナケレバナラヌ、ソレヲ「オ」ヲ一ツニスルト例ヘバ「オケ」「ヲケ」ト云フ御兄弟ガアル、デ御兄様ノ方ハ億ノ方デ……「オクヤマ」ノ億ノ字デ、又弟御ノ弘計王、顯宗天皇ノ方ハ「チリヌルヲ」ノ「ヲ」デアル、所ガ「オクヤマ」ノ「オ」ト「チリヌルヲ」ノ「ヲ」トアルノ「オ」バカリ存スルヤウナコトニナッテハ後世「オケ」「ヲケ」ノ王ハ御一人ニ

ナッテ御兄弟ガ無イヤウナコトニナッテ仕舞フ、サウ云フコトヲ簡略ト云フノデハナイ、唯今ドナタカ藤ノ……岡田君ガ藤ノ御話ガアリマシタガ、富士ノ山ノ「フジ」ハ「フ」ノ字ト「シ」ニ濁リヲ打ッタ「ヂ」デアル、ソレヲ簡略ト云ウテ「シ」ヲ「ヂ」ノ字ヲ取ツテ仕舞フト云フト、日本ノ言葉ハドウナッテ仕舞フカ分ラナイ、一體此言葉ト云フモノハ今日初マッタノデハナク、神代カラ初マッタ、日本ノ言葉ハ御承知ノ通リ神代カラアリマス、八雲タツノ歌ヲ御覽ナスッテモ分リマスガ、決シテ跡デ出來タ言葉デヤアナイ、其文字ハ支那文字ヲ持ツテ來タ、日本ノ文字ガ亡ビタカラ承ケテ來タノデ決シテ是ハ奈良朝ニ出來タノデハナイ……付ケタノデハ決シテ無イノデアル、ソコノ其元祖カラ私ハ間違ハウカト思フ、又文部省ノ謂ハエル簡略ノ方デアリマスト官吏ト云フノト監理ト同ジャウニ思ハレルデスケレドモ、一體乾物ノ「カン」ノ字ト官吏ノ「クワ」ト云フ字トハ一緒ニハナラナイ、「カゾク」ト云フノモ此族籍ノ華族ノ「クワ」ト家ノ家族ノ「カ」トハ違フ、ソレデ「カ」ヲ一ツニシテ仕舞フコトハ出來ナイ、「火事」モ「カジ」トシテ、ソレヲ家ノ事ノ「家事」ト一ツニシテ仕舞フ、サ

ウ云フコトガ簡略ト云フコトハ出來ナイ、ドウシテモ日本ノ言葉ハ言葉デ置

イテ、ソレヨリ事柄ヲ少ウスルト云フコトデアラウト私ハ思ハレル、所ガド

ウモ其何カ文部省邊ノ話デハ、日本ノ假名遣ハ誠ニ面倒ナ文字ヲ澤山遣ハナ

ケレバナラヌ、ソレデ子供ガ覺エニクイ、ドウモ覺エニクイカモ知レナイ、

併ナガラ文字ガ長ウアルカラ少ク一ツニ纏メルト云フ、サウ云フコトヲ以テ

簡略ニシヤウト云フ話デアルト云フノハ飛ンデモナイ話デ、決シテ日本バカ

リデハナイ、英語ニシタ所ガ「聽取シ難シ」是ハ無用デ長イカラト云ツテ「ジ

エツチ」ヲ取ッテ仕舞フト云フコトハ出來ナイ、サウ云フ例ハ澤山アリマスルガ

ソレハ國ニ依ッテ違フ、ソレヲ日本ニ限ッテ言葉ガ長イカラ子供ノ耳ニ入り

易イ、子供ガ覺エ易イ言葉ニ短ウスル、言葉ヲ短ウスルノガ簡略ダナント云

フノハ飛ンデモナイ話デ、ソレデハ言葉ヲ爲スト云フコトハ出來ナイ、簡略

ニシタラ：：其邊ハ大層違ウテ居ルノデアル

〔「簡單」ト呼ブ者アリ〕

ソコデ餘リ簡單ト仰シャルカラ、私ハマダ材料ヲ持ッテ來タガ、コンナコトハ措キマセウケレドモ、略スルノ、簡單ニスルノト云フコトハ、甚ダ行キ違ウテ居ルカト思フ、アテ字ヲ持ッテ來テサウシテ略スルナント云フ話デヤ堪マリヤセヌ、決シテ弘法以前ハ支那字ヲ當テテ來テ、弘法ガ御承知ノ通リ歌ヲ作ツテソレガ五十音ニ適ウテ宜イト云フノデ行ハレテ來タノデ、幾ラ簡單

ダツテ字ヲ取ッテ仕舞ツテ五十音ヲ四十音ニシテ仕舞フトカ、三十五文字ニシテ仕舞ツタラ何ニモナリヤアセヌ、ドンナモノデモ山川君ハ簡略ガ宜イト言フケレドモ、子供ニ教ヘニクイト云フノハ失敬ナ言葉デ、二千五百年以來ノ子供デス、今ノ子供ハ馬鹿ニナリハシナイ、最モ今ハ洋學モヤラヌケレバナラヌ、日本ノ學問ハ日本ノ學問トシテ六年ノ中ニ、或ハ歐羅巴ノ學問ヲシテモ宜カラウケレドモ、少シモ日本ノコトヲ知ラズシテ、却ツテ日本ノハ片言ヲ教ヘテ置イテ西洋學ヲ早ウヤラニヤナラヌトカ、何トカカントカ言フノハ最モ間違ウテ居ル話デヤラウト思フ、私ハ此案ニハ大贊成デアリマスカラ、ドウゾ諸君御賛成ヲ願ヒタウゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 採決ヲ致シマス、本建議案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ請願ノ會議ニ移リマス、議事日程第二十三

ヨリ第四十一マデノ請願ハ東ネテ問題ト致シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

意見書案

郡村宅地ヘ組換ノ件

兵庫縣城崎郡豊岡町平民佐川恆太郎外千百六十七名呈出

右ノ請願ハ兵庫縣城崎郡豊岡町ハ但馬國第一ノ都會ナレトモ銀行業ヲ除クノ外商事會社ナルモノナク又產物ハ僅ニ柳行李アルノミニテ實ニ萎靡振ハサルノ地ナルニ拘ラス伊丹町篠山町飾磨町等ノ如き縣下著名ノ市街ヲ措テ我カ豊岡町ハ不相當ニモ明治三十二年市街宅地ニ編入セラレ其ノ法定地價ハ縣下第三ニ位シ事實上到底之ニ對スル租稅ノ負擔ニ堪フル能ハス生産力ヲ滅殺シ悲境ニ陥リツタルヲ以テ速ニ郡村宅地ニ組換ヘラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年月日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

鐵道速成ニ關スル件

新潟縣岩船郡村上本町士族漁業小暮清光外百九十四名呈出

右ノ請願ハ新潟縣新發田ヨリ山形縣鶴岡酒田ヲ經テ秋田縣秋田ニ至ル越羽沿岸鐵道ノ敷設ハ曩ニ豫定線ニ編入セラレタルモ其ノ敷設ノ時期未タ確定セス然レトモ該線路ノ敷設ハ實業ノ發展上及戰後經營上現下ノ最大急務ナルヲ以テ之力速成ヲ計ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年月日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

鐵道敷設線路調査ニ關スル件

秋田縣仙北郡大曲町平民農田口岩藏外十四名呈出

右ノ請願ハ秋田縣仙北郡大曲町及同郡長信田村ヲ經テ巖手縣西和賀郡澤内村大字猿橋附近ニ至リ竝同所ヨリ同縣盛岡市若ハ花卷町ニ達スル間ハ土地平坦ニシテ哩數渺ナク工事容易ナルノミナラス陸羽横斷鐵道線路トシテ最良ノモノナルニ依リ政府ニ於テ速ニ其ノ調査ヲ遂ケラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

北海道石狩川治水ニ關スル件

北海道樺戸郡月形村士族農海賀直常外二百九十六名呈出

右ノ請願ハ石狩川ハ沿岸地方ノ開拓ニ伴フ山林濫伐ノ結果頻年水害ヲ釀シツツアルニ今後北海道事業計劃案ノ實行セラルトキハ森林伐採面積二百二十萬町歩ニ及ヒ洪水ノ患ヒ益甚シキニ至ルヘキヲ以テ此ノ際適當ノ治水法ヲ制定セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

區裁判所民事事務復舊並刑事事務開始ノ件

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

德島縣板野郡撫養町平民吉成眞佐次外八十二名呈出

右ノ請願ハ德島縣撫養區裁判所ノ民事事務ハ明治三十五年七月三十一日德島區裁判所ノ取扱ニ移サレ單ニ不動產及商事ニ關スル登記事項ノミヲ取扱フコトト爲レリト雖土地遠隔交通機關ノ不備及經濟上其ノ他ノ關係ニ於テ不便利ナルノミナラス同區裁判所ハ十分獨立シテ民事事務ヲ取扱フニ足ルヲ以テ舊ノ如ク民事事務ヲ取扱ハシムルト共ニ尙刑事事務ノ取扱ヲモ開始セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

右ノ請願ハ長野縣更級郡中上田區裁判所管内ノ稻荷山町八幡村更級村桑原

區裁判所管轄區域變更ノ件

意見書案

長野縣更級郡稻荷山町長松木多賀以外三名呈出

村ノ地方ハ地勢交通經濟等ノ關係ニ於テ長野區裁判所ノ管轄ニ屬スル方人民ノ利便頗ル多キヲ以テ管轄區域ヲ變更セラレ且本郡中適當ノ箇所へ其ノ出張所ヲ新設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案  
長野縣更級郡稻荷山町長松木多賀以外六名呈出

右ノ請願ハ長野縣更級郡中上田區裁判所管轄ニ屬スル稻荷山、八幡、更級、桑原ノ一町三箇村ハ千曲川ヲ以テ兩斷セラルルヲ以テ洪水毎ニ交通遮斷セラルノミナラス地勢經濟等ノ關係ニ於テ不利不便甚シキニ依リ以上ノ一町三箇村ヲ長野區裁判所管轄區域ニ編入シ尙郡内唯一ノ商業地タル稻荷山町ニ區裁判所出張所ヲ新設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

區裁判所民事事務復舊並刑事事務開始ノ件

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案  
揖斐川支流杭瀬、牧田兩川改修ノ件

岐阜縣不破郡靜里村平民農鹿野文藏外百二十一名呈出

右ノ請願ハ杭瀬、牧田兩川ハ屈曲多ク河幅狹隘ニシテ且上流ニ於ケル幾多山嶽ノ溪水ヲ湊合シテ水量常ニ多ク若一朝出水ニ際スルトキハ關係地方數萬ノ人命財產ニ對シ慘害ヲ被ラシムルコト實ニ甚シク一日モ其ノ堵ニ安ムスル能ハサルニ依リ杭瀬、牧田兩川合流ノ地點ヨリ兩川竝相川ノ上流ヲ改修セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案  
渡良瀬川河身浚渫ノ件

柄木縣安蘇郡界村平民廻漕業山田四郎右衛門外十五名呈出

右ノ請願ハ足尾銅山ノ鑛業開始以來渡良瀬川ハ其ノ水源地ニ於ケル鑛屑ノ投棄毒土砂ノ崩落等ノ爲河身ノ埋塞甚シキヲ加ヘタル結果洪水頻繁トナリ利根、江戸兩川ニ影響シ其ノ浸水區域ハ益々擴張シ年年湛水ノ患ニ苦ムノ有様ナルヲ以テ廻漕業者ニシテ授托物品ヲ流失シ荷主ニ對スル辨償ノ爲損害ヲ被ルコト多ク又舟楫ノ便ヲ闕キタルニ依リ廻漕ニ從フ水夫ハ其ノ生業ヲ失フニ至リタルヲ以テ先ツ渡良瀬川ノ河身ヲ浚渫シ尙利根、江戸兩川ノ河身改修ヲ實行シテ荷物運搬ノ便ヲ計リ當業者ノ窮状ヲ救ヘレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

意見書案  
庄内川改修ニ關スル件

愛知縣西春日井郡庄村村長深見彌左衛門外十七名呈出

右ノ請願ハ庄内川ハ我國大河川ノ一ニシテ沙泥ノ堆積河底ノ隆起終始間断ナク一朝霖雨ノ至ルアレハ濁流氾濫堤塘ヲ決潰シ橋梁ヲ破壊スル等沿岸町村ノ慘害ヲ被ルコト年年益甚シ然ルニ本川ヲ改修シ水害ヲ除却スルニハ巨額ノ經費ヲ要シ到底地方民力ノ堪フル所ニアラサルヲ以テ速ニ國費ヲ以テ改修ノ工事ヲ施サレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案  
重要物產同業組合法改正ノ件

三重縣桑名町尾三勢濃鑄物鍋釜農具同業組合組長廣瀬與左衛門(二十通)呈出

右ノ請願ハ重要物產同業組合法ハ其ノ規定ニ不備不悉ノ點アル爲組合事業ノ進捗ヲ妨ヶ隨テ産業ノ發達ヲ阻害スルヲ以テ之ニ適當ノ改正ヲ施サレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案  
登記所新設ノ件

右ノ請願ハ青森縣西津輕郡稻垣村村長内則昭呈出  
右ノ請願ハ青森縣西津輕郡稻垣村ハ戸數九百餘人口六千二百餘ヲ有シ本郡

中届指ノ大村落ニシテ取引頻繁一箇年ノ登記件數約一千餘ニ達スルニ拘ラス其ノ事務ハ鯵ヶ澤區裁判所車力出張所ノ管スルトコロタリ而シテ本村ト車力間ニハ山田川アリテ春時ノ融雪秋季ノ淋雨ニ際シテハ河水氾濫シ冬季ニハ風雪途ヲ塞キテ人馬ノ往來ヲ杜絶スル等交通甚タ不便ナルニ依リ同村ニ登記所ヲ新設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ探擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案  
韓國横貫鐵道速成ノ件

韓國元山港西町元山居留民團民長島貢介外一名呈出

右ノ請願ハ韓國東海岸ノ貿易港タル元山ヨリ京釜線若ハ京義線ニ連絡シ京城或ハ平壤ニ出ツル横貫鐵道ヲ敷設シ以テ交通機關ノ完備ヲ計ルハ北韓ニ向テ我カ國ノ勢力ヲ扶殖スルニ必要ナルノミナラス軍備上ニ至大ノ便益ヲ與ヘ且日本海ニ於ケル貿易ノ發展ヲ促スモノニシテ對韓經營上及日露戰役ノ效果ヲ永遠ニ確保スル爲ニ當面ノ急務ナリト信スルヲ以テ政府ニ於テ之ヲ急設セラルカ又ハ民業ニ委ネテ相當ノ利益補給ヲ爲シ其ノ速成ヲ計ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ探擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案  
日露戰役ニ關スル個人損害救濟ノ件

右ノ請願ハ請願人等ハ多年韓國城津ニ居留シ我カ商權ヲ伸張シ勢力ヲ扶殖スヘキ目的ヲ以テ商業ニ從事セシニ日露開戰ノ爲多年ノ辛苦經營ニ成レル事業及財貨ハ之ヲ灰燼ニ歸シ僅ニ身ヲ以テ免レタルノミニシテ今ヤ再ヒ起

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案  
小坂鑛山被害地田畠宅地山林原野特別地價修正ノ件  
秋田縣北秋田郡長木村平民農近藤專助外二百三十七名(三通)呈出

右ノ請願ハ陸中國小坂鑛山ハ近年事業擴張シ銅鑛ノ製煉日ニ盛ナルニ伴ヒ無量ノ亞硫酸瓦斯空中ニ飛散シ草木ノ發芽發育ヲ妨ケ且田園ヲ荒蕪セシメ五穀稔ラサル有様ニテ徒ラニ鑛業ノ犠牲ニ供セラレ永住ノ地ヲ去ルノ止ムナキニ至レルヲ以テ政府ニ於テ速ニ實狀ヲ調査シ鑛毒豫防ニ關スル除害設備ヲ命セラレ又田畠宅地山林原野特別地價修正ノ法律ヲ制定セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ探擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案  
益鳥保護ノ件

千葉縣山武郡豊海村平民農小倉篤呈出

右ノ請願ハ害蟲ノ農業ニ及ホス損害ハ頗ル莫大ナルニ依リ常ニ蟲類ヲ餌トスル鳥類ヲ利用シ害蟲ヲ驅除スルハ良策ナルヲ以テ各府縣内數箇所ニ於テ各種ノ鳥類ヲ捕獲シ其ノ胃部ヲ解剖シテ益鳥害鳥ノ別ヲ明カニシ益鳥保護ノ爲狩獵法ヲ改正シ以テ農業ノ發展ニ資セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ探擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

登記所新設ノ件

静岡縣小笠郡西方村村長榛葉忠藏外三名呈出

右ノ請願ハ掛川區裁判所管内静岡縣小笠郡西方村字堀之内ハ東海道鐵道堀之内停車場ノ所在地ニシテ交通益々頻繁トナリ近年登記件數非常ニ増加シ登記所ノ必要ヲ生シタルヲ以テ之ニ要スル敷地建物ハ管内町村ヨリ寄附スヘキニ依リ請願人等ノ地方ヲ一區域トシ堀之内へ登記所ヲ新設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院

法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也  
明治四十年 月 日 貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

右ノ請願ハ當静岡縣引佐郡西濱名村ハ人口多ク海陸交通ノ便ヲ有シ夙ニ郵便局學校銀行等ノ設ケアリ殊ニ諸種ノ產物ニ富メルヲ以テ大小ノ商工業家軒ヲ列ネ取引頻繁ナルノミナラス今ヤ益々各種事業ノ勃興ニ伴ヒ電信ニ依リテ用務ヲ辨スルモノ日ニ多キヲ加フルノ狀態ナルモ既設電信局ヘハ何レモ二三里ヲ隔ルカ或ハ水路ニ依ラサルヘカラス其ノ不便利ハ時勢ノ進運ニ伴ハサルノ甚シキモノナルニ依リ速ニ西濱名村ノ中心タル三ヶ日ニ電線ヲ架設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

電線架設ノ件

静岡縣引佐郡西濱名村銀行員田中儀平外七十二名呈出

右ノ請願ハ當静岡縣引佐郡西濱名村ハ人口多ク海陸交通ノ便ヲ有シ夙ニ郵便局學校銀行等ノ設ケアリ殊ニ諸種ノ產物ニ富メルヲ以テ大小ノ商工業家軒ヲ列ネ取引頻繁ナルノミナラス今ヤ益々各種事業ノ勃興ニ伴ヒ電信ニ依リテ用務ヲ辨スルモノ日ニ多キヲ加フルノ狀態ナルモ既設電信局ヘハ何レモ二三里ヲ隔ルカ或ハ水路ニ依ラサルヘカラス其ノ不便利ハ時勢ノ進運ニ伴ハサルノ甚シキモノナルニ依リ速ニ西濱名村ノ中心タル三ヶ日ニ電線ヲ架設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

三ト思ヒマスガ、此際御質問ニナツタラ如何デゴザイマス  
○田中芳男君 チヨット委員長ニ御尋ね致シタウゴザイマスルガ、此三十三ノ案ハ至ッテ簡単デゴザイマスカラ少シク分リ兼ネマスガ「重要物産同業組合法ハ其ノ規定ニ不備不悉ノ點アル爲組合事業ノ進捗ヲ妨ケ」云々トアリマスガ、果シテ斯様ナ不都合ガ其請願人ノ方ノ書面ニ委シク書イテアリマスカ、

ソレヲ承リタイ、是デハ唯ダ不備ト云コトガ書イテアルダケデスガ、定メテ請願者ノ方デハ其不備ノ點ヲ擧ゲテアルト思ヒマスガ、若シ擧ゲテアリマスルナラバ其邊ヲ伺ヒタウゴザイマス

○三宅秀君 御答ヲ致シマス、是ハ兩三回前ニモ同ジャウナ件目デ本院ヲ通過イタシテ居リマスルノデアリマス、其時ニハ意見書ガ或ハ之ヨリ少シ冗長ニ書イテアリマシタカ知リマセヌガ、其時ニハ御質問ガゴザイマセヌデ、今日却ツテ御質問ガアルト云フヤウナ譯デゴザイマス、本員モ委シク存ジテ居リマセヌガ、唯此重要物産同業組合法ハ色ニノコトニ地方裁判所ノ方ニ關係ヲ持ツテ居ルノダサウデアリマス、サウシテ例ヘバ此過怠金ヲ取立テル時分ニハ裁判所カラ取立テラルルト云フ譯デ、裁判所ガ始終此コトニ就イテ關係ヲシカラ取立ヲスルヤウニシテ欲シイト云フヤウナコトデアリマス、又此組合ニ這入リマスル者ト組合ニ這入リマセヌデモ宜イヤウニナツテ、強制スル所ノ方ガ缺ケテ居ルト思ヒマス、ソレ故ニ若シ必要デアルナラバ是非強制シテモ組合ニ這入ラナケレバナラスト云フヤウナ特例ヲ設ケテ其缺點ヲ補ツテ貰ヒタイト云フコトデアリマス、又組長ガ會議ヲ致シマスル時分ニハ組長ガ原案ヲ執行スル、不當ノ決議ヲ致シマスル時分ニハ組長ガ原案ヲ執行スル所ノ權力ヲ添スルヤウニナツテハ甚ダ不都合デアル、ソレ等ノ所ヲ能ク考ヘテ組合ヲ保護シテ貰ヒタイト云フ、斯ウ云フコトニ心得テ居リマス、未ダ其他ニモ一二箇條アツカモ知レマセヌガ先ヅサウ云フ……

○議長(公爵德川家達君) 議事日程ノ第三十三ヨリ第三十七マデノ請願ハ請願委員長ノ報告通リテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト」呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 伊集院子爵ニ申上ゲマスガ第三十八ノ請願ニ就イテ御質問ガゴザイマスカ

○子爵伊集院兼知君 左様デゴザイマス  
○議長(公爵德川家達君) 此際願ヒマス

○子爵伊集院兼知君 委員長ニ御尋不致シマスガ、御意見書案ニ書イテアリマスルコトハ簡短ニ「胃部ヲ解剖シテ」ト書イテゴザイマスガ、私ハ實ハ請願書ヲ拜見シタノデアリマス、其中ニ今ノ現行狩獵法ハ不備ノ點ガアル、ソレハ其中ニ鶴及鳥馬、雀及頬白、是ダケハ有益鳥デアルニモ拘ラズ保護シテ無イノデアル、ソレカラ未ダ其他ニモ有益鳥ガアルデアラウカラ、ドウソ其胃部ヲ解剖シテ之ヲ能ク取調ベテ、現行法ノ保護鳥ノ中ニ入レテ貰ヒタ、斯ウ云フ請願デアルヤウニ本員ハ考ヘマスルガ、請願委員會デハ如何ニ御決議ニナツタノデゴザイマスカ

○三宅秀君 御答イタシマス、前會ノ時ニハ頻ニ鳥ノ名ヲ御調べデアリマシタカラ、本日ハ委員長モ十分、鳥ノ名ハ調べテ居リマス、唯今御質問ノアリマシタル如クニ鶴ニ雀ニ鳥馬ニ頬白デゴザイマスカ、其四ツノ鳥ヲ請願者ハ根ヨク屢々捕獲イタシマシテ、サウシテ不十分ナガラモ自分デ解剖ヲシテ見タ、胃部ヲ解剖シテ見タ所ガ隨分蟲ヲ始終捕ツテ居ル、穀類ノ方へ害ヲ與ヘルヨリハ寧ロ蟲ヲ始終食ベテ居ルヤウデアル、自分ノ不束ナ研究ニ依ツテモ斯ウ云フヤウニナツテ居ルカラ、尙ホ此外ニハ研究ヲシタラ益鳥ノ種類ガ澤山アルデアラウカラ其益鳥デアルカ無イカト云フコトヲ此ノ上一層研究ヲシテ、サウシテ延イテ狩獵法ノ改正ニ及ボサレタイト、斯ウ云フ風ノコトデアリマス、ソレ故ニ研究ヲ主トシテ居リマスル方ノ事デアリマスレバ、政府ヘ参考ノ爲ニ送付スルハ宜カラウト云フ委員會ノ決議デ採擇スベシト決シマシタノデアリマス

○子爵伊集院兼知君 今、委員長ノ御辯明ハ此鳥類ハ害蟲ヲ除クノデアルト云フヤウニ仰シヤリマシタケレドモ、本員ガ承ツテ居リマスル所ニ依リマスルト、鶴ハ是ハ別段害ハセヌ鳥デアル、益鳥トハ言ヘナイ鳥デアル、害鳥トモ益鳥トモ能ク分リマセヌガ、雀ノ如キモノハ全然害鳥デアルト云フコトデゴザイマス、ソレモ此請願デ見マスルト、益鳥ニ入レテ吳レト云フヤウナ請願ニ私ハ取りマスノデ、是ハ私ハ感服セナイ請願ト思ヒマス

〔三宅秀君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 三宅君ハ何デスカ

○三宅秀君 唯今ノ益鳥ノコトニ付イテ……  
○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス  
○三宅秀君 是ハ自分一個ノ考デ、例ヘバ雀ハ害鳥デアルト言ヒ來ツテ居ル、

ソレハ穀類ヲ啄ムカラ害鳥デアルト云フガ、鳥類ハ腹一バイ喰ハシテモ亦蟲ヲ捕ル方ノ益ガアルカラシテソレヲ害鳥ト看做サズシテ益鳥ノ方ニシタラ宜カラウト云フ自分一個ノ考ガアル位デ、自分一個ノ考デサヘモ其位デアルカラ、成ルベク此事ハ研究シテ、モチット研究シテ見タラ案外ニ是マデ法律デ決マツテ居リマスルガ害鳥ガ益鳥ニ變ズルヤウナ事ガアルカモ知レヌカラ、其研究ヲシテ見タラ宜カラウト云フ請願者ノ意思ノヤウニ解釋イタシテ居リマス、ソレ故ニ採擇ヲ致シタ譯デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 伊集院子爵ニ伺ヒマスガ、伊集院子爵ハ第三十八ハ採擇スペカラズト言フ御意見デアリマスカ

○子爵伊集院兼知君 左様デゴザイマス、斯ノ如キ不完全ナ請願ハ採擇シナイ方ガ宜カラウト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ第三十八ノ請願ダケノ採決ヲ致シマセウ、第三十八ノ益鳥保護ノ請願ハ請願委員長ノ報告通リ採擇スペシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 多數ト認メマス、議事日程ノ第三十九ヨリ第四十  
一マデノ請願ハ請願委員長ノ報告通リ採擇イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、御報告ヲ致スコトガゴザイマス

〔太田書記官長朗讀〕

本月二十八日貴族院ニ於テ帝國議會閉會式執行被 仰出候此段及通牒候也

明治四十年三月二十七日

内閣總理大臣 侯爵西園寺公望

貴族院議長公爵徳川家達殿

○議長(公爵徳川家達君) 是ニ於テ散會ヲ告ゲマス

午後四時三十五分散會